

# 上越市総合体育館等大規模改修工事

(上越市総合体育館、渡り廊下、上越勤労身体障害者体育館)

上越市

図 面 目 録

番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	縮 尺
	建築工事						上越勤労身体障害者体育館棟			外構工事
共01	図面目録	—	総41	【改修前・後】1階展開図(3)	1/100、1/50	動01	設計概要・外部仕上表	—	外01	外構工事特記仕様書(その1)
共02	建築改修工事特記仕様書(その1)	—	総42	【改修前・後】1階展開図(4)	1/50	動02	内部仕上表	—	外02	外構工事特記仕様書(その1)
共03	建築改修工事特記仕様書(その2)	—	総43	【改修前・後】1階展開図(5)	1/50	動03	【改修前・後】1階平面図	1/100	外03	改修外構図(1)
共04	建築改修工事特記仕様書(その3)	—	総44	【改修前・後】1階展開図(6)	1/100、1/50	動04	【改修前・後】中2階平面図	1/100	外04	改修外構図(2)
共05	建築改修工事特記仕様書(その4)	—	総45	【改修前・後】1階展開図(7)	1/100、1/50	動05	【改修前・後】R階平面図	1/100	外05	【改修後】77'ロ-子庇廻り外構図
共06	建築改修工事特記仕様書(その5)	—	総46	【改修前・後】1階展開図(8)	1/100	動06	【改修前】立面図	1/100	外06	外構図詳細図
共07	建築改修工事特記仕様書(その6)	—	総47	【改修前・後】2階展開図(1)	1/100	動07	【改修後】立面図	1/100	外07	レベル図
共08	【改修前】案内図・配置図	1/300	総48	【改修前・後】2階展開図(2)	1/50	動08	断面図	1/100		
共09	仮設計画図	1/300	総49	【改修前・後】2階展開図(3)	1/50	動09	【改修前・後】1階天井伏図	1/100		
	上越市総合体育館、渡り廊下棟		総50	【改修前・後】2階展開図(4)-1	1/100	動10	【改修前・後】矩計図(1)	1/10、1/50		
総10	【改修前・後】設計概要・外部仕上表	—	総51	【改修前・後】2階展開図(4)-2	1/100	動11	【改修前・後】矩計図(2)	1/10、1/50		昇降機設備工事
総11	【改修前・後】内部仕上表(1)	—	総52	【改修前・後】2階展開図(4)-3	1/100	動12	【改修前】1階平面詳細図	1/10、1/50	昇01	昇降機設備工事特記仕様書(その1)
総12	【改修前・後】内部仕上表(2)	—	総53	【改修前・後】2階展開図(4)-4	1/100	動13	【改修後】1階平面詳細図	1/10、1/20、1/50	昇02	昇降機設備工事特記仕様書(その2)
総13	【改修前・後】内部仕上表(3)	—	総54	【改修前・後】3階展開図(1)-1	1/100	動14	【改修前・後】展開図(1)	1/50	昇03	【改修後】エレベータ詳細図(1)
総14	【改修前・後】1階平面図	1/200	総55	【改修前・後】3階展開図(1)-2	1/100	動15	【改修前・後】展開図(2)	1/50	昇04	【改修後】エレベータ詳細図(2)
総15	【改修前・後】中2階平面図	1/200	総56	【改修前・後】3階展開図(1)-3	1/100	動16	【改修前・後】展開図(3)	1/50	昇05	【改修後】エレベータ詳細図(3)
総16	【改修前・後】2階平面図	1/200	総57	【改修前・後】3階展開図(1)-4	1/100	動17	【改修前・後】展開図(4)	1/50		
総17	【改修前・後】3階平面図	1/200	総58	【改修前・後】1階建具案内図	1/200	動18	【改修前】展開図(5)	1/100		
総18	【改修前・後】R階平面図	1/200	総59	【改修前・後】2階建具案内図	1/200	動19	【改修後】展開図(6)	1/100		
総19	【改修前】立面図	1/200	総60	【改修前・後】3階建具案内図	1/200	動20	【改修前・後】1階建具案内図	1/100		
総20	【改修後】立面図	1/200	総61	建具表(1)	1/100	動21	【改修前・後】中2階建具案内図	1/100		
総21	【改修前・後】断面図	1/200	総62	建具表(2)	1/100	動22	建具表(1)	1/100		
総22	【改修前・後】1階天井伏図	1/200	総63	建具表(3)	1/100	動23	建具表(2)	1/100		
総23	【改修前・後】2階天井伏図	1/200	総64	建具表(4)	1/100	動24	突き出し排煙窓 詳細図	1/2、1/20		
総24	【改修前・後】3階天井伏図	1/200	総65	建具表(5)	1/100	動25	【改修前・後】詳細図	1/20、1/30		
総25	【改修前・後】矩計図(1)	1/50	総66	建具表(6)	1/100	動26	体育用具施設図面(1)	1/3、1/8、1/100		
総26	【改修前・後】矩計図(2)	1/50	総67	上部排煙窓詳細図	1/15、1/4	動27	体育用具施設図面(2)	1/5、1/30		
総27	【改修前・後】1階平面詳細図	1/50	総68	下部突出し窓詳細図	1/15、1/4	動28	体育用具施設図面(3)	1/10、1/30、1/100		
総28	【改修前・後】1階便所廻り平面詳細図	1/30	総69	断熱パネル詳細図	1/20、1/4	動29	体育用具施設図面(4)	1/2、1/5、1/30		
総29	【改修前・後】1階多目的便所平面詳細・展開図	1/50、1/30、1/20	総70	【改修前】部分詳細図	1/30、1/20、1/10、1/5					
総30	【改修前・後】2階男子・女子便所平面詳細図	1/30	総71	【改修後】部分詳細図(1)	1/20、1/3					
総31	【改修前】階段室B平面・断面詳細図	1/50、1/10	総72	【改修後】部分詳細図(2)	1/20、1/10					
総32	【改修後】階段室B平面・断面詳細図	1/50、1/30、1/10	総73	【改修後】部分詳細図(3)	1/30、1/20					
総33	【改修前・後】階段室A平面詳細図	1/50	総74	体育室壁面部分詳細図	1/50					
総34	【改修前・後】階段室A展開図	1/50	総75	【改修前・後】家具詳細図	1/20					
総35	【改修前・後】階段室C平面詳細図	1/50	総76	室名札リスト	—					
総36	【改修前・後】階段室C展開図	1/50	総77	体育用具施設図面	1/100					
総37	【改修前・後】アプローチ庇平面・断面詳細図	1/50	総78	喫煙所撤去・【改修前・後】屋上上屋詳細図	1/50					
総38	【改修前・後】渡り廊下平面・断面詳細図	1/50								
総39	【改修前・後】1階展開図(1)	1/100								
総40	【改修前・後】1階展開図(2)	1/100、1/50								

<b>工事名称</b> 上越市総合体育館等大規模改修工事		令和3年2月(全120枚)	
<b>工事概要</b>			
1. 工事場所	上越市木田目地内	2. 敷地面積	8064.11㎡
3. 工事内容 総合体育館：屋上及び庇の防水改修、堅樋(内樋)改修、外壁仕上げ改修、カーテンウォール改修等 1階エントランス廻り77㎡改修での改修、UD対応での改修、シャワー室の改修 EV入替え改修、空調、照明改修に伴う老朽化での仕上げ改修等 勤労身体障害者体育館：屋上及玄關庇の防水改修、外壁仕上げ改修、カーテンウォール改修等 老朽化に伴う内部改修、堅樋(内樋)改修			
4. 工事種目(建物概要)			
建物名称	工事種別	構造	階数
上越市総合体育館	改修	RC造(一部S造)	3階
渡り廊下	改修	RC造	1階
77㎡庇	改修	RC造	1階
上越勤労身体障害者体育館	改修	RC造	1階
延べ面積(m²)	消火令別表第一	備考	
4928.60㎡	(7)		
26.51㎡	(7)		
108.15㎡		延床面積対象外	
997.79㎡	(7)		

**仕様書**  
I 共通仕様

- 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標仕」という。 )により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標仕」という。)による。
- 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
  - 「工事請負契約書」を「上越市財務規則(昭和46年4月29日上越市規則第35号)別記(第173条関係)建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。 )に読み替える。
  - 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
  - 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
  - 「請負者」を「受注者」に読み替える。
- 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
  - 1章 1.1.2用語の定義の(7)、(t)及び(+)
    - 1章 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)
    - 1章 1.4.4材料の検査等の(1)
    - 1章 1.7.1工事検査の(2)及び(3)
  - 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。
    - 1章 1.1.2 用語の定義の(c)
    - 1章 1.7.2 技術検査

号	項目	置き換え後の改修標仕の規定
1章 一般共通事項		
(1) 1.1.2	用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者を用いる。
		(t)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書を用いる。
(1) 1.4.2	材料の品質等	(1)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。(ただし、②に係る検査を除く。) <ol style="list-style-type: none"> <li>①工事の完成(約款第32条)</li> <li>②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条)</li> <li>③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条)</li> <li>④契約の解除時における出来形部分(約款第47条)</li> <li>⑤必要があると認めたとときの臨時検査(約款第49条)</li> </ol>
		(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(一般社団法人公共建築協会)契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 <p>なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。</p>
(1) 1.4.4	材料の検査等	(1)工現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(4)に該当する場合はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合</li> <li>(4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合</li> </ol>
		(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第47条及び第49条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。</li> </ol>

<b>II 特記仕様</b>																					
<ol style="list-style-type: none"> <li>項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。</li> <li>特記事項は、○印の付いたものを適用する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</li> <li>○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</li> </ul> </li> <li>特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。</li> <li>製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。</li> </ol>																					
<b>章 項目</b>	<b>特記事項</b>																				
① 各章	① ① 工事実績情報サベイス(CORINS)への登録 2 概成工期	※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4] ※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1.2.1]																			
	3 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ~ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査																			
④ 品質計画等	④ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ○地区の区分に応じた風速(Vo(m/sec)) ○30・32 ○地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ○多雪地域の指定 積雪区分 建造物第1455号別表(30)																			
	⑤ 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。																			
⑦ 発生材の処理等	⑦ 発生材の処理等	10追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12]																			
	8 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。																			
⑨ 施工数量調査の方法	⑨ 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1.5.2]																			
	⑩ 技能士	[1.6.2] <table border="1"> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・77㎡防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ○塗膜防水工事業業 ○シール工 防水工事業業 ○左官 ○建築板金(内外装板金作業)</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>○左官 ○タイル張り ○塗装(建築塗装作業) ○樹脂接着剤注入施工</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>○サッシ施工 ○ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>○建築大工 ○左官 ○塗装(壁装作業) ○内装仕上げ施工 (○ガラス系床仕上げ ○ボード仕上げ ○鋼製下地工事) ・タイル張り</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>○塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工</td> </tr> <tr> <td>環境配慮改修工事</td> <td>・防水施工(77㎡防水工事業業) ・ガラス施工 ・造園</td> </tr> <tr> <td>ブロック・ALC等工事</td> <td>・ブロック建築 ・ALC等工事</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石材施工(石張り施工)</td> </tr> </table>	適用工事種別	技能検定の職種	防水改修工事	・77㎡防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ○塗膜防水工事業業 ○シール工 防水工事業業 ○左官 ○建築板金(内外装板金作業)	外壁改修工事	○左官 ○タイル張り ○塗装(建築塗装作業) ○樹脂接着剤注入施工	建具改修工事	○サッシ施工 ○ガラス施工	内装改修工事	○建築大工 ○左官 ○塗装(壁装作業) ○内装仕上げ施工 (○ガラス系床仕上げ ○ボード仕上げ ○鋼製下地工事) ・タイル張り	塗装改修工事	○塗装(建築塗装作業)	耐震改修工事	・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工	環境配慮改修工事	・防水施工(77㎡防水工事業業) ・ガラス施工 ・造園	ブロック・ALC等工事	・ブロック建築 ・ALC等工事	石工事
適用工事種別	技能検定の職種																				
防水改修工事	・77㎡防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ○塗膜防水工事業業 ○シール工 防水工事業業 ○左官 ○建築板金(内外装板金作業)																				
外壁改修工事	○左官 ○タイル張り ○塗装(建築塗装作業) ○樹脂接着剤注入施工																				
建具改修工事	○サッシ施工 ○ガラス施工																				
内装改修工事	○建築大工 ○左官 ○塗装(壁装作業) ○内装仕上げ施工 (○ガラス系床仕上げ ○ボード仕上げ ○鋼製下地工事) ・タイル張り																				
塗装改修工事	○塗装(建築塗装作業)																				
耐震改修工事	・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工																				
環境配慮改修工事	・防水施工(77㎡防水工事業業) ・ガラス施工 ・造園																				
ブロック・ALC等工事	・ブロック建築 ・ALC等工事																				
石工事	・石材施工(石張り施工)																				
11 見本施工	11 見本施工	※実施する [1.6.5]																			
	⑫ 化学物質の濃度測定	10追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1.6.9]																			
⑬ 完成図等	⑬ 完成図等	[1.8.1~1.8.3] 下記のものを作成し提出する。 ※設計図の図面目録と同一の図面一式 ※施工図一式 ※建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) 下記による作成方法、提出部数とする。 ※図面は原図サイズにて製本し、 ※完成図 2部 ※施工図 1部 提出(表紙及び背表紙(可能な場合に限り)に工事名、受注者名を入れること) ※CADで作成した図面はデータ化し電子媒体にて提出する。 ※説明書はファイルに綴り ※2部 ・部 提出 ・その他監督員が指示した図面等 ・ 図 部 提出																			
	⑭ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																			
⑮ 工事完成写真	⑮ 工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1部																			
	⑯ 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部 10追加特記 6「工事区分表」による。																			
⑰ 設備工事との取合い	⑰ 設備工事との取合い																				

仮設工事	① 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル ・防音シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲:																								
	② 監督員事務所等	・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ ㎡程度を設ける。 [2.4.1] ・仮設事務所の中に監督員用空間を ㎡程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ○保護帽 2ヶ ○雨具 2着 ○長靴 2足 ○安全帯 2組																								
工事用水	③ 工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償)																								
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償)																								
仮設建物等	⑤ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。																								
	⑥ 足場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、 [2.2.1] 同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ※枠組足場(設置範囲: ・工事に必要な範囲 ・ ) 内部足場 ○単管足場 ○枠組足場 ○脚立足場 ○移動足場																								
養生	⑦ 養生	既存部分の養生 ※ビニールシート、合板等 [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニールシート等 [2.3.1] 備品等の移動 [2.3.1] ※監督員の指示による施設内移動とする。(対象備品の移動先は、図示による) ・行わない																								
	8 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※軽量鉄骨</td> <td>※せつこうボード(※9.5)</td> <td>厚さ( )</td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>・木造</td> <td>・合板(※9)</td> <td>厚さ( )</td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・単管</td> <td>・防炎シート</td> <td>厚さ( )</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>合板張り程度</td> <td>厚さ( )</td> <td>・片面</td> </tr> </table>	種別	下地	仕上げ材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	※A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード(※9.5)	厚さ( )	※無し	※B種	・木造	・合板(※9)	厚さ( )	・片面	・C種	・単管	・防炎シート	厚さ( )	・無し	仮設扉	※木製扉	合板張り程度	厚さ( )
種別	下地	仕上げ材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																						
※A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード(※9.5)	厚さ( )	※無し																						
※B種	・木造	・合板(※9)	厚さ( )	・片面																						
・C種	・単管	・防炎シート	厚さ( )	・無し																						
仮設扉	※木製扉	合板張り程度	厚さ( )	・片面																						
防水改修工事	③ ① 施工数量調査	[1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 調査範囲 屋根、庇等の防水改修工事の対象となる既存コンクリート面、タイル面等 調査内容 ひび割れの幅及び長さを屋根面等に図示する。 浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。 部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。 ※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。 <table border="1"> <tr> <th>工法種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保証期間</th> </tr> <tr> <td>○ウレタン塗膜防水</td> <td>工法 総合体育館本屋屋上</td> <td>10年間</td> </tr> <tr> <td>○ウレタン塗膜防水</td> <td>工法 渡り屋根、庇</td> <td>10年間</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>工法</td> <td>10年間</td> </tr> </table>	工法種別	施工箇所	保証期間	○ウレタン塗膜防水	工法 総合体育館本屋屋上	10年間	○ウレタン塗膜防水	工法 渡り屋根、庇	10年間	・	工法	10年間												
	工法種別	施工箇所	保証期間																							
○ウレタン塗膜防水	工法 総合体育館本屋屋上	10年間																								
○ウレタン塗膜防水	工法 渡り屋根、庇	10年間																								
・	工法	10年間																								
③ ② 防水の保証等																										
3 アスファルト防水	③ ① アスファルト防水	[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3~表3.3.10] <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種別</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水工法の種別</th> </tr> <tr> <td>保護防水</td> <td>・P1B ・P1B1・T1B1 ・P2A1 ・P2A</td> <td>・B-1 ・B-2 ・B1-1 ・B1-2 ・A1-1 ・A1-2 ・A-1 ・A-2</td> </tr> <tr> <td>露出防水</td> <td>・M4C ・P0D・M3D ・P0D1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・C-1 ・C-2 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 仕上げ塗料塗り ※有り(・シールド・カー) 使用量は製造所標準仕様</td> </tr> <tr> <td>屋内防水</td> <td>・P1E・P2E</td> <td>・E-1 ・E-2</td> </tr> </table>	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水工法の種別	保護防水	・P1B ・P1B1・T1B1 ・P2A1 ・P2A	・B-1 ・B-2 ・B1-1 ・B1-2 ・A1-1 ・A1-2 ・A-1 ・A-2	露出防水	・M4C ・P0D・M3D ・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・C-1 ・C-2 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 仕上げ塗料塗り ※有り(・シールド・カー) 使用量は製造所標準仕様	屋内防水	・P1E・P2E	・E-1 ・E-2												
	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水工法の種別																							
保護防水	・P1B ・P1B1・T1B1 ・P2A1 ・P2A	・B-1 ・B-2 ・B1-1 ・B1-2 ・A1-1 ・A1-2 ・A-1 ・A-2																								
露出防水	・M4C ・P0D・M3D ・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・C-1 ・C-2 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 仕上げ塗料塗り ※有り(・シールド・カー) 使用量は製造所標準仕様																								
屋内防水	・P1E・P2E	・E-1 ・E-2																								
③ ② アスファルト防水		アスファルトの種類 ※3種 [3.2.2][3.3.2] ・二重ドレンの設置(・P0D工法・P0D1工法) [3.2.5] ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4C工法、M4D1工法) [3.2.6] ・粘着層付改質77㎡防水用 厚さ(mm) ※1.5以上 [3.3.2] ・改質77㎡防水用 厚さ(mm) ※3.0以上 [3.3.2] ・断熱材(屋根保護又は露出防水断熱材) [3.3.2] 厚さ(mm) ※25 材質 屋根保護防水断熱工法 ・押出法※リフレフォーム断熱材3種bA57層付き(JIS A 9521 建築用断熱材) 材質 屋根露出防水断熱工法 ・ビーズ法※リフレフォーム断熱材 ・押出法※リフレフォーム断熱材 ・硬質ウレフォーム断熱材(2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの) ・※リフレフォーム断熱材 ・77㎡断熱材																								

防水改修工事	③ ③ アスファルト防水	乾式保護材の材料 [3.3.2] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕様</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>・押出成型シート板(窯業系A種)</td> <td>※I類</td> <td>※15 × × × × × ×</td> </tr> <tr> <td>・金属複合板</td> <td>※II種</td> <td>※12 × × ×</td> </tr> </table>	種類	仕様	材料	・押出成型シート板(窯業系A種)	※I類	※15 × × × × × ×	・金属複合板	※II種	※12 × × ×															
	種類	仕様	材料																							
・押出成型シート板(窯業系A種)	※I類	※15 × × × × × ×																								
・金属複合板	※II種	※12 × × ×																								
④ 改質77㎡シート防水		[3.1.4][表3.1.1][3.4.2][3.4.3][表3.4.1~表3.4.3] <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種別</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種別</th> <th>シートの厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">密着工法</td> <td rowspan="2">・M4AS</td> <td>・AS-T1</td> <td>下層用 ※2.5以上 ・上層用 ※3.0以上</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2 ・AS-J2</td> <td>※3.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">絶縁工法</td> <td rowspan="3">・M3AS ・POAS</td> <td>・AS-T3</td> <td>下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4 ・AS-J1</td> <td>※3.0以上 ・※1.5以上</td> </tr> <tr> <td>・AS-J3</td> <td>※2.0以上 ・※3.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断熱工法</td> <td rowspan="2">・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td>・AS1-T1</td> <td>下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上</td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td>下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※2.0以上</td> </tr> </table>	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	シートの厚さ(mm)	密着工法	・M4AS	・AS-T1	下層用 ※2.5以上 ・上層用 ※3.0以上	・AS-T2 ・AS-J2	※3.0以上	絶縁工法	・M3AS ・POAS	・AS-T3	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上	・AS-T4 ・AS-J1	※3.0以上 ・※1.5以上	・AS-J3	※2.0以上 ・※3.0以上	断熱工法	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上	・AS1-J1	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※2.0以上
防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	シートの厚さ(mm)																							
密着工法	・M4AS	・AS-T1	下層用 ※2.5以上 ・上層用 ※3.0以上																							
		・AS-T2 ・AS-J2	※3.0以上																							
絶縁工法	・M3AS ・POAS	・AS-T3	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上																							
		・AS-T4 ・AS-J1	※3.0以上 ・※1.5以上																							
		・AS-J3	※2.0以上 ・※3.0以上																							
断熱工法	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※3.0以上																							
		・AS1-J1	下層用 ※1.5以上 ・上層用 ※2.0以上																							
5 合成高分子系	③ ① 合成高分子系	[3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~表3.5.3] <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種別</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・POX工法</td> <td>・S-F1(※1.2)</td> <td>POX工法</td> <td>二重ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S4S工法</td> <td>・S-F2(※2.0) ・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)</td> <td>・設ける ・設ける</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S工法</td> <td>・S-F1(※1.2) ・S-F2(※2.0)</td> <td>・設ける</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ ② 合成高分子系</td> <td rowspan="2">③ ② 合成高分子系</td> <td>・M4S工法</td> <td>・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)</td> </tr> <tr> <td>断熱工法</td> <td>・S1-F1(※1.2) ・S1-F2(※2.0) ・S1-M1(※1.5) ・S1-M2(※1.5) ・S1-M3(※1.5) ・S-C1(※1.0)</td> </tr> </table>	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	備考	・POX工法	・S-F1(※1.2)	POX工法	二重ドレン	・S4S工法	・S-F2(※2.0) ・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)	・設ける ・設ける		・S3S工法	・S-F1(※1.2) ・S-F2(※2.0)	・設ける		③ ② 合成高分子系	③ ② 合成高分子系	・M4S工法	・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)	断熱工法	・S1-F1(※1.2) ・S1-F2(※2.0) ・S1-M1(※1.5) ・S1-M2(※1.5) ・S1-M3(※1.5) ・S-C1(※1.0)		
	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	備考																						
・POX工法	・S-F1(※1.2)	POX工法	二重ドレン																							
・S4S工法	・S-F2(※2.0) ・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)	・設ける ・設ける																								
・S3S工法	・S-F1(※1.2) ・S-F2(※2.0)	・設ける																								
③ ② 合成高分子系	③ ② 合成高分子系	・M4S工法	・S-M1(※1.5) ・S-M2(※1.5) ・S-M3(※1.2)																							
		断熱工法	・S1-F1(※1.2) ・S1-F2(※2.0) ・S1-M1(※1.5) ・S1-M2(※1.5) ・S1-M3(※1.5) ・S-C1(※1.0)																							
⑥ 塗膜防水	⑥ ① 塗膜防水	仕上げ塗料塗り (S-F1、S1-F1、S-M1、S1-M1の場合) ・シールド ・カー 新規防水層の使用分類 ※非歩行 ・軽歩行 [3.5.2] 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・ [3.5.4] プレキャストコンクリート部材下地 [3.5.4] 目地処理(接着工法) ※図示 入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) ・行う(幅 mm程度)																								
	⑥ ② 塗膜防水	[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2] <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種別</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種別</th> <th>仕上げ塗料塗り</th> </tr> <tr> <td>○POX</td> <td>勤労身体障害者体育館</td> <td>※X-1 ○X-2</td> <td>・シールド</td> </tr> <tr> <td>○L4X</td> <td>総合体育館本屋屋上</td> <td>*註 ※X-1 ○X-2</td> <td>・カー</td> </tr> <tr> <td>○S3X</td> <td>渡り屋根、庇</td> <td>※X-1 ○X-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td></td> <td>※Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td></td> <td>※Y-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>*註 総合体育館本屋屋上の種別は層間接着用プライマー塗布の上り防水材塗り2回/仕上げ塗料塗りとする。 ・二重ドレンの設置 (POX工法の場合) [3.2.5] ・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去(L4X工法の場合) [3.2.6] ・保護層 ・設ける (P1Y、P2Y工法の場合) [3.6.3]</p>	防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り	○POX	勤労身体障害者体育館	※X-1 ○X-2	・シールド	○L4X	総合体育館本屋屋上	*註 ※X-1 ○X-2	・カー	○S3X	渡り屋根、庇	※X-1 ○X-2		・P1Y		※Y-2		・P2Y		※Y-2	
防水改修工法の種別	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り																							
○POX	勤労身体障害者体育館	※X-1 ○X-2	・シールド																							
○L4X	総合体育館本屋屋上	*註 ※X-1 ○X-2	・カー																							
○S3X	渡り屋根、庇	※X-1 ○X-2																								
・P1Y		※Y-2																								
・P2Y		※Y-2																								
⑦ 脱気装置	⑦ ① 脱気装置	[3.3.3][表3.3.8][表3.3.9][3.4.3][表3.4.2][表3.4.3][3.5.3][3.6.3] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕様</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>○平面部脱気型</td> <td>※製造所標準仕様(立上り型)</td> <td>※77㎡鋳造製</td> </tr> <tr> <td>・立上り部脱気型</td> <td>※製造所標準仕様</td> <td>○スチール製</td> </tr> </table>	種類	仕様	材料	○平面部脱気型	※製造所標準仕様(立上り型)	※77㎡鋳造製	・立上り部脱気型	※製造所標準仕様	○スチール製															
	種類	仕様	材料																							
○平面部脱気型	※製造所標準仕様(立上り型)	※77㎡鋳造製																								
・立上り部脱気型	※製造所標準仕様	○スチール製																								
※設置数量は製造所指定数量による。																										

備考	<b>第一・護国共同企業体</b>		総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称
			第106046号	基本・庭園・構造物・設備	上越市総合体育館等大規模改修工事	上越市総合体育館、渡り廊下、上越勤労身体障害者体育館
			(有)第一設計総合事務所	(有)第一設計総合事務所		建築改修工事特記仕様書(その1)
			管理建築士:一級建築士登録 第106046号	齊藤 博	齊藤 博	
						縮尺 A1版 A3版 整理分類番号 図面番号
						年 月 日 令和3年2月 浄・厨・外・空 共2 階78
						合計枚数 120枚

③ シーリング
防水改修工事
⑨ とい
10 アルミ製笠木
④-1 ① 施工数量調査
外壁改修工事共通事項
2 外壁改修の保証等
④-2 ① ひび割れ部改修工法

④-1 ① ひび割れ部改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事
② 欠損部改修工法
4-3 1 既存モルタル塗りの撤去
2 ひび割れ部改修工法
3 欠損部改修工法
4 浮き部改修工法

④-1 ① ひび割れ部改修工法
④-2 ① ひび割れ部改修工法
④-3 1 既存モルタル塗りの撤去
2 ひび割れ部改修工法
3 欠損部改修工法
4 浮き部改修工法

④-1 ① 既存タイル張りの撤去
2 ひび割れ部改修工法
3 欠損部改修工法
④ 浮き部改修工法
5 タイル張り
6 目地改修工法

④-1 ① 既存タイル張りの撤去
2 ひび割れ部改修工法
3 欠損部改修工法
④ 浮き部改修工法
5 タイル張り
6 目地改修工法
④-2 ① 既存塗膜等の除去及び下地処理
② 下地調整

④-3 ① 仕上げ塗材
2 外壁用塗膜防水材塗り
⑤ ① 改修工法
2 見本の製作等
3 防犯建物部品
④ アルミ製建具
⑤ 網戸
⑥ 樹脂製建具
⑦ 鋼製建具

④-3 ① 仕上げ塗材
2 外壁用塗膜防水材塗り
⑤ ① 改修工法
2 見本の製作等
3 防犯建物部品
④ アルミ製建具
⑤ 網戸
⑥ 樹脂製建具
⑦ 鋼製建具

5	⑧ 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量建具を含む)	簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6] 鋼板類の種類 [5.5.3] ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カー鋼板 ・ステン鋼板
	9 ステンレス製建具	簡易気密型ドアの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1] ・S-4 ・S-5 ・S-6
	⑩ 木製建具	かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16.7.2) ふすまの種類 ・I類 ・II類 (表16.7.3) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3) ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10)
	⑪ 建具用金具	マスキー ・製作する(本) ※製作しない [5.7.4] 鍵札数量 ※錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・
	⑫ 自動ドア開閉装置	自動ドアの開閉機構 [5.8.3][表5.8.4] 開閉方法 引き戸用検出装置の種類 ※スイッチングドア ・電子マツスイッチ ・マツスイッチ ※光線(反射)センサー ・スイッチングドア ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トレスイッチ
	13 自閉式上吊り引戸装置	※適用する(適用建具及び適用位置は図示による) [5.9.1]
	14 重量シャッター	外部に面するシャッターの耐風圧強度( ) N/m <sup>2</sup> [5.10.2] 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1] 二重フェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を取付けた電動シャッターの [5.10.2] 設置箇所 ・図示 障害物感知装置を取付けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける(設置箇所: ) 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.10.2]
	15 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部手動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度( ) N/m <sup>2</sup> [5.11.2] スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.11.2] 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 [5.11.3] 形状 ※インターロック形 ・オーバードライブ形 [5.11.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.11.2] シャッターケース 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 [表5.11.2]
	16 オーバーヘッドドア	[5.12.2][5.12.3][表5.12.1] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バラス式 ・スイングード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板(SUS304) ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイブリッド形 ・バーチャル形
	⑬ ガラス	耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125 [5.12.2] 下記以外は、建具表による [5.13.2] ・合わせガラス 特性による種類 ※II-1類 ①強化ガラス 材料板ガラスによる種類 特性による種類 ・フロート強化ガラス III類(曲面はI類) ・型板ガラス ②熱線吸収板ガラス 材料板ガラスによる種類 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン ・熱線吸収網入り磨き板ガラス ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 耐熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・熱線反射ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面 ・外面 ・フロートガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス ・内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ・倍強度ガラス
	⑭ ガラス留め材	材料板ガラスによる種類の名称 色調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・
	備考	[5.13.2][表3.7.1] 建具の種類 種類 アルミニウム製及び樹脂製 ・シーリング材 ※がスカート(FIX部はシーリング材) 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材

5	19 ガラスロック積み	ガラスロック [5.13.5] 寸法(mm) 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ※無し ※無し ※無し 壁用金属枠及び補強材 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ・標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 シーリング材料 下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1] シーリング材の種類 被着体の組合せ 記号 主成分による区分 耐久性による区分
	20 ガラス用フィルム	名称 種類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 95%以上 品質 JIS A 5759による
	① 基本要品質	[6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤の揮発量の放出量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。
	② 改修範囲	①既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ②図示の範囲 ③天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3] ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ④図示の範囲 ⑤天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3] ※既存のまま ⑥図示の範囲
	③ 施工数量調査	[1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ①内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、ブラス、ボード等の面 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を壁面等に図示する。 モルタル、タイル、ブラスの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。 仕上げ材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。 ②カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材 調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地組の強度、腐朽状況を調査する ③改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)の調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ④設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。 ⑤欠り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したのについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。
	④ 既存床の撤去及び下地補修	①ビニルシート等の撤去 [6.2.2] ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) ②合成樹脂塗りの床の材の除去工法 [6.2.2] ・機械的除去工法 ・目荒工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6.2.2]
	⑤ 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9] ※図示 ・[4.4.9]モルタル塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレスを張る。 ・図示
	6 木下地等	表面仕上げ [6.5.1][表6.5.2] 表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
	備考	総括・一級建築士 第106046号 担当事務所長 基本・電気・構造・設備 (有)第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博

6	6 木下地等	「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2] 品名 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 ・下地用針葉樹製材 ※2級 ※A種 ・B種 ・造作用針葉樹製材 ・小節上 ※A種 ・B種 ・小節以下 ・A種 ・広葉樹製材 ※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2] 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 ・ ( ) ・適用する ※A種 ・B種 造作材の場合 ・適用しない (※A種 ・B種) ・樹種のうち杉は、上越地域産材を使用する(24追加特記による) 造作用集成材等 [6.5.2] 品名 規格・品質 心材の樹種 化粧単板の樹種 見付け材面数 ・造作用集成材 ※1等 ・2等 ・A種 ・B種 ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等 ・ ・化粧ばり構造用集成材 ・1等 ・2等 ・ 直交集成材 [6.5.2] 品名 強度等級 種別 接着性能(使用環境) 樹種 ・異等級構成直交集成材 ・A種 ・A種 ・B種 ・B種 ・C種 ・同一等級構成直交集成材 ・A種 ・A種 ・B種 ・B種 ・C種 合板等 [6.5.2] 品名 板厚 接着の程度 樹種 防虫処理 ・普通合板 ※5.5mm( )2 ※1類 ・2類 ・ラワン ・適用する ・構造用合板 ※12mm ・ ・特類 ※1類 ・適用する ・化粧ばり構造用合板 ・ ・特類 ※1類 ・適用する ・天然木化粧合板 ・ ( )1類 ・2類 ・ナラ ・適用する ・天然木化粧合板フロア材 ( )12mm ・釘留め工法 ・ナラ ・
	⑧ 合板等	合板等 [6.5.2] 品名 板厚 接着の程度 樹種 防虫処理 ・普通合板 ※5.5mm( )2 ※1類 ・2類 ・ラワン ・適用する ・構造用合板 ※12mm ・ ・特類 ※1類 ・適用する ・化粧ばり構造用合板 ・ ・特類 ※1類 ・適用する ・天然木化粧合板 ・ ( )1類 ・2類 ・ナラ ・適用する ・天然木化粧合板フロア材 ( )12mm ・釘留め工法 ・ナラ ・
	9 防腐・防蟻処理	防腐処理 ※行う(適用範囲 ※改修標仕6.5.5(1)による) (図示) [6.5.5] 防蟻処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5] 防腐・防蟻剤はホルムリド等を含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。 防腐・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4
	⑩ 軽量鉄骨天井下地	屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2] ※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による 下地材の間隔(mm) 施工箇所 野縁受、吊りボルト、インサート 野縁 中央部 周辺部 野縁 ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない [6.6.4] あと施工アークの引抜き試験 ・行う ・行わない [6.6.4] 屋外の場合の試験 荷重 ・400N 箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示 ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 [6.6.4] 屋外の天井の補強 ※図示 ・改修標仕6.6.4(11)による [6.6.4]
	⑪ ビニル床シート張り	[6.8.2] 種類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm) ※発泡層のないもの ※FS ・ ※無地 ・マフ柄 ※2.0 ※発泡層のあるもの ・HS ※柄物 ・無地 ・2.0,2.8 ・ 工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所) [6.8.3]
	⑫ ビニル床タイル張り	[6.8.2] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※コンクリート床タイル K T ※2.0 ・単層ビニル床タイル T T ・ ・複層ビニル床タイル F T ・ ・置敷きビニル床タイル FOA ・ ・薄型置敷きビニル床タイル FOB ・
	備考	総括・一級建築士 第106046号 担当事務所長 基本・電気・構造・設備 (有)第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博

6	13 帯電防止床タイル張り	[6.8.2] 種類 厚さ(mm) 性能 ・コンクリート床タイル ※2.0 ・ 体積抵抗値(JIS K 6911による) ・ホモジニアスビニル床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下、又は、 ・ 漏洩抵抗値(JIS A 1454による) ・ 1.0×10 <sup>10</sup> Ω未満
	⑬ 誘導用、注意喚起用床材	視覚障害者用タイル [6.8.2] 適用箇所 種類 寸法(mm) 形状 屋内 ・塩化ビニル系 ※300×300 ・ プロックタイル ・レジンコンクリート系 ※300×300 ・ JIS T 9251 ・磁器又はセラミックタイル ・ による 屋外 ・コンクリート系 ※300×300×60 ・300×300×30 ・磁器又はセラミックタイル ・300×300×30
	⑭ ビニル幅木	高さ(mm) ※60 ・75 ・100 ・325 [6.8.2]
	16 カーペット敷き	・織じゅうたん [6.9.1][6.9.2][表6.9.1] 種別 織り方 パイル形状 帯電性 色・柄等 ・A種 ・ウルトアカベットの ・カットパイル 人体帯電圧 ※単一色(無地) ・B種 ・ダブルフェースカーベットの ・ループパイル ※3KV以下 ・柄物(標準品) ・C種 ・7axisスターカーベットの ・カット、ループ併用 ・
	⑮ タフテッドカーペット	[6.9.2][6.9.3][表6.9.2] パイル形状 パイル長(mm) 工法 帯電性 ・カットパイル ※5.0~7.0 ・ ※全面接着工法 人体帯電圧 ・ダブルフェースループ ※4.0~6.0 ・ ・グリッド工法 ※3KV以下 ・レベールループパイル ※4.0 ・カット、ループ併用 ・
	⑯ タイルカーペット	[6.9.2] 種別 パイル形状 電気抵抗値(Ω) 施工箇所 ※第一種 ※ループパイル ※適用しない ・ カットパイル ・10 <sup>9</sup> Ω以下
	17 合成樹脂塗床	[6.10.3][表6.10.4~表6.10.8] 種別 仕上げの種類 ・弾性ウレタン樹脂塗床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防汚) ・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚) ・薄膜型塗床
	⑰ フローリング張り	[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1~表6.11.6] 品名 樹種 等級・種別 板厚 工法 仕上げ塗装 ・フローリングボード1等 ・なら ・1等 ※15 ・釘留め工法 ・塗装品 ・ 接着工法 ・無塗装品 ・フローリングブロック1等 ・なら ・1等 ※15 ・モルタル埋込工法 ・ ・ 接着工法 ・ ・天然木化粧複合フローリング ・ ・A種 ・ ※釘留め工法 ・ 塗装品 ・ ・B種 ・ 接着工法 ・ 無塗装品 ・C種 ・ ・複合フローリング(大型積層型) ・かば ※18 ※のりくぎ併用 ・ 塗装品 現場塗装仕上げ ・行う(塗料: ) ・行わない [6.11.6]
	19 畳敷き	[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1] 適用箇所 畳の種類 改修標仕表6.5.10による床組 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(※K-III) ( ) ※ポリプロピレン床下地 ・C種 ・D種(※K-III) ( )
	⑱ セッコウボード <sup>①</sup> その他のボード <sup>②</sup> 張り	[6.13.2][表6.13.1] 種類 厚さ(mm) ・規格等 ・硬質木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・けい酸カルシウム板 タブ2(無石綿) ・ロックウール化粧吸音板 ※フラットタイプ(※9.0 ・12.0 ( )) ・凹凸タイプ(※12.0 ・15.0) ((個)不燃) ・せっこうボード <sup>①</sup> ( )9.5(準不燃) ( )2.5(不燃) ・不燃積層せっこうボード <sup>②</sup> 9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トランパツ模様) ・シーリングせっこうボード <sup>①</sup> ( )9.5(準不燃) ( )12.5(準不燃) ・強化せっこうボード <sup>②</sup> ( )2.5(不燃) ( )15.0(不燃) ・化粧石膏ボード <sup>①</sup> ( )9.5(準不燃) ・普通合板 表板の樹種 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ※図示 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない ・4.0 ・6.0
	備考	整理分類番号 図面番号 ① 構・電・衛 共04 ② 浄・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚



8-2 耐震 改修 工事	1 コンクリートの類別及び強度、品質	レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 普通コンクリートの設計基準強度 ※普通コンクリートの強度は構造標準図による コンクリートの仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種	[8.1.3][表8.1.1] [8.1.3][8.1.4] [8.1.4][表8.1.5]	2 鉄骨製作工場	・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の4第5項1に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた ㈱日本鉄骨評価センター又は ㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	[8.1.5]	3 施工管理技術者	※適用する	[8.1.6]	4 鉄筋の種類	種類の記号 呼び名(mm) ・SD295A ・D16以下 ・SD345 ・D19以上 ・	[8.2.1][表8.2.1]	5 溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ) 鉄線の径または呼び(mm) ※100×100 ※6.0 ・	[8.2.2]	6 あと施工アーカーの材料	あと施工アーカーの材料 ・金属拡張アーカー ※接着系アーカー カマの種類 ※有機系	[8.2.4]	7 セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シライトセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種( ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱 7 d 352J/g以下 28 d 402J/g以下	[8.2.5][表8.2.3]	8 骨材の品質	アーカー反応性による区分 ・A ※B (コンクリート中のアーカー総量Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> )	[8.2.5]	9 混和材料の種類	※混和剤 ・混和材(※JIS A 6202による膨張材 ( ))	[8.2.5]	10 型枠	スラブの材料、規格等 ・図示	[8.2.7]	11 鋼材	鋼材の材質 種類の記号 適用箇所 規格等 ・SS400 ※JIS規格による ・SN400B ※JIS規格による ※JIS規格による	[8.2.8][表8.2.7]	12 高力ボルト	高力ボルトの適用 ※トルネード形高力ボルト・JIS形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8.2.9]	13 モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス材 ・現場調合形 無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10] ※圧縮強度試験は、公的機関で行う。 ブリーディング ・練混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下 無収縮性 ・材齢 7日：収縮しない 圧縮強度 ・材齢 3日： N/mm <sup>2</sup> 以上 ・材齢 28日： N/mm <sup>2</sup> 以上 コンクリート ・J <sub>4</sub> ロードによる流動時間 8±2秒 ・供試体は、JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの円柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。 ・図示による。	[8.2.12] [8.2.12] [8.2.10]
-----------------------	--------------------	---	--	----------	---	---------	-----------	-------	---------	---------	--	-----------------	--------	---	---------	---------------	---	---------	-----------	--	-----------------	---------	---	---------	-----------	-------------------------------------	---------	-------	-------------------	---------	-------	---	-----------------	----------	---	---------	----------------	--	----------------------------------

8-2 耐震 改修 工事	14 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.00×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による ・ 継手工法 継手方法 呼び名(mm) 適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・	[8.2.13] [8.2.13] [8.24.6]	15 鉄筋の継手	継手工法 継手方法 呼び名(mm) 適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・	[8.3.4]	16 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所 改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm) 柱・梁・壁及び庇などの外気に接する打放し面 ※1/0 ・	[8.3.5][表8.3.6]	17 打増し壁に用いるコア材	現場打ちコンクリートの打増し部に用いる既存部とのコア材の種類 ※「6 あと施工アーカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 ・図示	[8.3.7]	18 圧接完了後の試験	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	[8.3.8]	19 あと施工アーカーの施工	穿孔孔の埋込み配管等の探査方法 ※電磁波レーダー法 ・電磁誘導法 ・X線法	[8.12.4]	20 あと施工アーカーの施工確認試験	※全数の打音検査 ※引抜き耐力試験 範囲 ※改修標仕8.12.7による ・補強壁1枚あたり3本(梁下・柱・床(または梁上)各1本)以上 確認強度 ※あと施工アーカーの確認強度は構造標準図による	[8.12.7]	21 鉄骨の工作図	高力ボルト及び普通ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による ・図示	[8.13.2]	22 鉄骨工作仮組	※行う	[8.13.10]	23 開先形状	※鉄骨工事技術指針による ・図示	[8.15.4]	24 スカラップ	※図示による ・監督員の指示による	[8.15.7]	25 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う	[8.15.12]	26 錆止め塗料	※工場1回塗り、工事現場1回塗り ・工場2回塗り 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(塗装範囲：※図示 ・ 塗料種別： ( ) ※行わない 上記以外 ※改修標仕8.17.2(1)による ・図示 塗料種別 ※A種 ・B種	[8.17.2]~[8.17.4]
-----------------------	--------------	--	----------------------------------	----------	--	---------	---------------	---	-----------------	----------------	--	---------	-------------	-------------------------------	---------	----------------	--	----------	--------------------	---	----------	-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	---------	---------------------	----------	----------	----------------------	----------	-----------	-------------------------	-----------	----------	--	-------------------

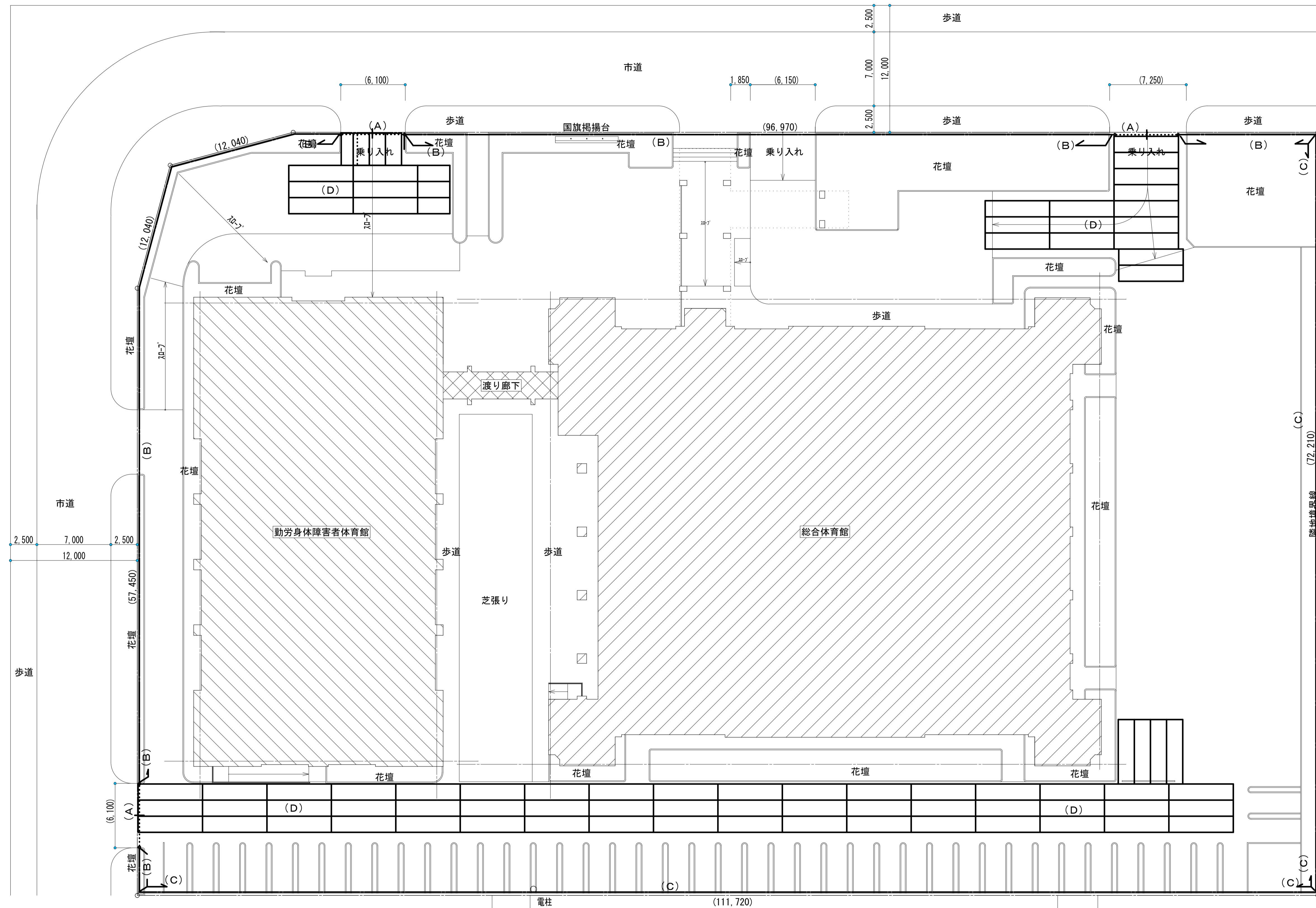
8-2 耐震 改修 工事	27 耐火被覆	[8.18.2] 種別 所要性能及び適用構造区分 耐火材吹付け ・乾式吹付けロックール ・半乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・ 耐火板張り 耐火材巻付け ・5mm張りモルタル塗り 耐火塗料 耐火性能 ※建築基準法の規定に基づく所定の性能を有すること。 [8.18.3] 28 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合 摩擦面の処理 ※プラスト処理 ・りん酸塩処理 [8.20.5] 29 既存コンクリート面の目荒し 目荒らしの程度 ※柱・梁面 打継ぎ面の15~30%程度 ※増打ち壁増設 既存壁打継ぎ面の10~15%程度 ※平均深さ2~5mm(最大5~7mm)程度の凹部を施す ・監督員の指示による [8.21.3] 30 増設・補強工事のコンクリートの打込み 工法の種類 ※流し込み工法 ・圧入工法 [8.21.8][8.23.5] 31 柱補強 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材料等を埋込む ・図示 [8.23.5] 32 スリットの施工 幅 ※30mm~50mm程度 ・長さ ※300mm以上 [8.25.2] 形状 ※完全スリット(※既存鉄筋切断・既存鉄筋を本残す) ・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す) 撤去部の補修 ・撤去材と同一材 ※無収縮モルタル(圧縮強度30N/mm <sup>2</sup> 以上)	[8.18.2] [8.20.5] [8.21.3] [8.21.8][8.23.5] [8.23.5] [8.25.2]	9-2 環境 配慮 改修 工事	9 ① 石綿含有建材の処理 [9.1.1] 石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 ・ ・ 貸与資料 ・ ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法 材料名 定性分析方法 定量分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-3または JIS A 1481-2 JIS A 1481-4 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 石綿粉じん濃度測定 ○行う ○行わない 測定時期、場所及び測定点 適用測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数(各処理作業室ごと) 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・( )点 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・( )点 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・( )点 測定4 粉じん吸入口 ○(1)点 測定5 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) 1m/s以下の位置各1点 ・( )点 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ○(1)点 測定7 処理作業後 処理作業室内 ・( )点 測定8 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ○(1)点 測定方法 ○自動測定器による測定 測定名称 測定方法 測定4 粉じん相対濃度(ゲージ法粉じん)計、ハネリカクター、繊維状粒子自動測定器(リアイムライノモーター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 シンプルフィルタ径径(mm) 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min) 測定4 測定5 25 5 30 測定 ・ 測定 ・ 47 10 120 測定 ・ 47 10 240 測定 ・	[9.1.1] [9.1.1] [9.1.1] [9.3.3] [9.3.3] [9.3.3] [9.3.4] [9.4.2] [9.4.2] [9.5.2] [9.5.3] [9.6.3] [9.6.3] [9.6.4] [9.7.2]
-----------------------	---------	--	--	-----------------------------	---	---

9 環境 配慮 改修 工事	① 石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等ばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(平成26年3月31日付け 技術上の指針公示第21号) ・石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版] 平成30年3月(厚生労働省) ・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設労働災害防止協会) ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6(環境省水・大気環境局大気環境課) ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について(平成29年5月30日付け 環水大発第1705301号)	[9.1.3] [9.1.4] [9.1.5]	② 石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ※改修標仕9.1.3による。	[9.1.3]	③ 石綿含有保温材料等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による湿润化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。 ※9.1.3 [石綿含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。	[9.1.4]	④ 石綿含有成形板の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で閉となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類 材料名 使用部位 厚さ(mm) 備考 長尺塩ビシート(特殊含) 仕上表による 2.0,2.8,3.5 ビニル(A)材 仕上表による 2.0 岩綿吸音板 仕上表による 9.0 軟質石綿板 仕上表による 6.0 化粧石膏ボード 仕上表による 9.0 フレキシブル板 仕上表による 6.0 ※上記以上にアスベスト含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。	[9.1.5]	⑤ 除去した石綿等の処分等	除去した石綿等の処理 [9.1.3][9.1.4][9.1.5] ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	[9.1.3][9.1.4][9.1.5]	6 断熱アーカー防水改修	[9.2.3] 工法の種類 施工箇所 ・P1B1 ・P2A1 ・POD1 ・T1B1 ・M3D1 ・M4D1	既存外壁材の撤去 ・行う ・行わない 下地面の清掃 ・行う ・行わない 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 ※4.1.4 [外壁改修工法の種類]による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を 改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ 通気層 ・設ける(厚さ： mm) ・設けない 外装材の外壁への取付け ・図示 ・	[9.3.3] [9.3.3] [9.3.3] [9.3.4] [9.4.2] [9.4.2] [9.5.2] [9.5.3] [9.6.3] [9.6.3] [9.6.4]	8 ガラス改修	本特記仕様 5 建具改修 17 ガラスによる	[9.4.2]	9 断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 ・ヒートセツ法 ・リフレフォーム断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ○押出法 ・リフレフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・ポリイソシアヌレート断熱材 断熱材現場発泡工法の材料 ※A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。吹付け厚さ mm	[9.5.2] [9.5.3] [9.6.3] [9.6.3] [9.6.4]	10 屋上緑化改修	工法 ※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標仕1.2.2[施工計画]で定める。 かん水装置 ・設置する(図示による) ・設置しない 既存保護層等の撤去 ・行う ・行わない 枯補償及び枯損処理 ※引渡しの日から1年間 ・年間 ・年月日まで	[9.6.3] [9.6.3] [9.6.4] [9.6.3] [9.6.4]	11 透水性アーカー舗装改修	既存舗装の撤去 舗装撤去箇所 再利用する層	[9.7.2]
---------------------------	-------------	---	-------------------------------	---------------	------------------------	---------	----------------	---	---------	--------------	---	---------	---------------	--	-----------------------	--------------	---	--	---	---------	------------------------	---------	-----------	---	---	-----------	---	---	----------------	--------------------------	---------









配置図 S=1/200

- 仮設凡例
- (A) クロスゲート W6.0×H4.5m (3ヶ所)
  - (B) 成形鋼板 H2.0m (H鋼鋼、単管ハ<sup>1</sup>/<sub>4</sub>支柱等) (169m)
  - (C) ガードフェンス H=1.8m (170m)
  - (D) 敷鉄板敷 1524×6096(3048)×t22 (76枚 (7枚))

備考	第一・護国共同企業体	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称	縮尺	整理分類番号	図面番号
	(代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博	第106046号 第一設計総合事務所 齊藤博 印	基本・意匠・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤博 印	上越市総合体育館等大規模改修工事	上越市総合体育館・渡り廊下・上越勤労身体障害者体育館 仮設計画図	A1版 1/200 A3版 1/400	年月日 令和3年2月	共9 総78 合計枚数 120枚

設計概要

一般事項		改修建築物概要 (総合体育館、渡り廊下)				改修工事概要 (総合体育館、渡り廊下)				外壁劣化部の改修内容		アスベスト ㊟ 無	
工事名称	上越市総合体育館等大規模改修工事	構造	RC造一部S造 (屋根部分)	階数	地上3階建て	外部		内部		・ひび割れ部改修	シール工法(一液性ポリウレタン樹脂)		
工事場所	新潟県上越市木田地内	最高の高さ	22.620 m	最高の軒高	21.800 m	○	・屋上、渡り廊下屋上、77㎡F底防水改修	○	・2、3階77㎡(観覧席)の空調機器の新設と照明的な確保に伴う老朽化を含む改修	(ひび割れ巾0.2mm以上)			
(建築基準法関連)						○	・雨樋 (内樋含む) の改修	○	・1階柔剣道場、卓球場の空調機器の新設と照明的な確保に伴う老朽化を含む改修	・浮き部改修	アンカービーニング部分に、樹脂注入工法 集塵付ドリル及びHEPAフィルター付掃除機		
建物用途	体育館	敷地面積	8,064.11 m <sup>2</sup>			○	・外壁劣化劣化面の補修及び改修	○	・2階放送室・大会本部室を会議室に用途変更し仕上を改修	・付着物清掃	水洗い工法(水圧15Mpa)		
工事種別	大規模改修	総合体育館				○	・1階コート建具の雨漏り、建具不具合の改善の改修	○	・2階放送室・大会本部室を会議室に用途変更し仕上を改修	・シール工 撤去(表面に吹付材あり)	手工具(カッター) 集塵付(HEPAフィルター付)掃除機		
都市計画区域の別	都市計画区域内 市街化区域	1階床面積	1,853.41 m <sup>2</sup>			○	・北側コート建具の雨漏り、建具不具合の改善の改修	○	・2階放送室・大会本部室を会議室に用途変更し仕上を改修	・鉄筋露出部分	現場錆び止め、アルカリ付与剥塗布、樹脂樹脂補修		
用途地域	第一種住居地域	2階床面積	2,217.41 m <sup>2</sup>			○	・屋外広場 (渡り廊下北側) の身障者用駐車場の設置による改修	○	・1階コート建具の雨漏り、建具不具合の改善の改修	・躯体欠損部分	樹脂樹脂補修		
防火地域	指定なし	3階床面積	857.78 m <sup>2</sup>			○	・中庭の空地部分の有効活用のための改修			※劣化部分数量は施工数量調査により調査となるが、設計では仕上げ改修面積あたり・ひび割れ部改修0.1m/m <sup>2</sup> ・浮き部補修0.2m/m <sup>2</sup> 、鉄筋露出部分0.1ヶ所/m <sup>2</sup> ・躯体欠損部補修0.1ヶ所/m <sup>2</sup> を想定とする。			
その他の地域地区	指定なし	渡り廊下面積	26.51 m <sup>2</sup>			○	・東側駐車場への劣化改修のための改修			※その他、劣化部の電気設備・機械設備工事に関する改修を行う。			
		77㎡F底面積	108.15 m <sup>2</sup>										
		※77㎡F底は延べ床面積対象外		工事対象外 述べ床面積	0.00 m <sup>2</sup>								
		延床面積	4,955.11 m <sup>2</sup>	工事対象 述べ床面積	5,063.26 m <sup>2</sup>								
		建築面積	2,433.47 m <sup>2</sup>										

外部仕上表

工事部位	範囲・場所	現況	改修工法			備考	工事部位		
			現況のまま	撤去	下地			仕上	
屋根 (体育館)	本屋根	環境対応型汎用塗膜防水X-1工法 (平成24年改修) 下地: ALC版t=125の上へ「アクリル樹脂」を塗り替える	78脱気筒 (23ヶ所)		高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)	既存防水層の上環境対応型汎用塗膜防水仕上 (非歩行、標準17コート仕上) (10年保証) 【新設】 (既存防水層は鳥害部補修 (9箇所想定)、種別・工法は層間接着用「アクリル」塗布の上への防水材塗り 2回+仕上げ塗料塗り仕上 「アクリル」製脱気筒 (23ヶ所) 増設り用	コケリ1300角平板 (82ヶ所) 移設及び再設置 屋上点検口廻り上屋 (詳細図による) 【撤去・新設】	本屋根	屋根 (体育館)
	渡り廊下・77㎡F底	「アクリル」脱出し防水 下地: 樹脂塗り			高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度) 下地処理: 全面樹脂樹脂塗り	環境対応型汎用塗膜防水X-1工法 (非歩行、標準17コート仕上) (10年保証) 【新設】 「アクリル」製脱気筒 渡り廊下2ヶ所、風除室1ヶ所、77㎡F底4ヶ所 【新設】		渡り廊下・77㎡F底	
「アクリル」立上り	本屋根	環境対応型汎用塗膜防水X-2工法 (平成24年改修済み) 下地: ALC版t=125の上へ78脱気筒防水材付「アクリル」を塗り替える 防水押え水切りH=60程度、防水端部「アクリル」押え		防水押え水切り一時的取外し 「アクリル」5×10	高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)	既存防水層の上環境対応型汎用塗膜防水仕上 (非歩行、標準17コート仕上) (10年保証) 【新設】 (既存防水層は鳥害部補修 (4箇所想定)、種別・工法は層間接着用「アクリル」塗布の上への防水材塗り 2回+仕上げ塗料塗り仕上 水切り押え再取付け、「アクリル」MS-2 (5×10) 【新設】		本屋根	「アクリル」立上り
	渡り廊下・77㎡F底	「アクリル」脱出し防水 下地: 樹脂塗り、水切り押え止、防水端部「アクリル」押え		「アクリル」脱出し防水層 水切り押え、「アクリル」10×15	高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度) 下地処理: 全面樹脂樹脂塗り	環境対応型汎用塗膜防水X-2工法 (非歩行、標準17コート仕上) (10年保証) 【新設】 目地「アクリル」MS-2 10×15 【新設】		渡り廊下・77㎡F底	
「アクリル」天端 (あこ)	本屋根	PC笠木H=250かぶせ押え PC笠木目地「アクリル」	PC笠木					本屋根	「アクリル」天端 (あこ)
	渡り廊下・77㎡F底	笠木及びあこ 防水樹脂塗り			高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度) 下地処理: 全面樹脂樹脂塗り	環境対応型汎用塗膜防水X-2工法 (非歩行、標準17コート仕上) (10年保証) 【新設】 端部止め: 78脱気筒 M=50×50×1.7「アクリル」工法 (78㎡F底EXP. JbH=下はFB=50×12.0端部止め) 渡り廊下EXP. JbH=下防水端部「アクリル」MS-2 10×10 【新設】	78製EXP.JbH=H580程度 (屋根-屋根 7775×50用)、「アクリル」MS-2 15×10 【撤去・新設】 (屋根は地盤沈下による躯体ずれにより加工品)	渡り廊下・77㎡F底	
RD	体育館	改修RD (9) 100φ用 (2ヶ所)、建物四隅 (想定) 75φ用 (8ヶ所)		一時取外し		改修RD (9) 100φ用、75φ用再取付け (30ヶ所)		体育館	RD
	渡り廊下・77㎡F底	鋼鉄製RD (3) 100φ-渡り廊下 (2ヶ所)、77㎡F底 (5ヶ所)、同 (9) 100φ-同底 (1ヶ所)		スリット、中皿、四隅新り共		改修RD (3) 100φ用: 渡り廊下 (2ヶ所)、77㎡F底 (5ヶ所)、同 (9) 100φ用同底 (1ヶ所) 【新設】 (下地樹脂調整共)		渡り廊下・77㎡F底	
雨樋	体育館	屋根表ヨコ引きVP100φ防露材巻き (一部75φ)、軒樋VP150φ防露材巻き		樋及び防露材及び支持金物		ヨコ引きVP100φ防露材巻きt=25 (一部75φ)、軒樋VP150φ防露材巻きt=25 【新設】 支持金物共		体育館	雨樋
	渡り廊下・77㎡F底	軒樋SGP100A OP		樋及び支持金物		屋根表ヨコ引き: 蛇腹加工品勾配対応 (38ヶ所) 軒樋SGP100A及び支持金物、SOP塗り 【新設】		渡り廊下・77㎡F底	
軒裏	体育館「アクリル」上部	小口磁器タイル打込下地PC版					「アクリル」用L=H1150×75×5×7 (四隅) 【撤去】 取付穴埋め処理: 樹脂補修	体育館「アクリル」上部	軒裏
	体育館一般部	NFt=6 目張りシロ 吹付 一部「アクリル」 下地 LGS25 漏り縁塩ビ製 (想定)		2F便所下部、配管工事部 (天井伏居参照)		西側: 設備配管部縦雑入タイル板替えt=6、下地調整の上外装薄塗材E 漏り縁塩ビ製 【新設】 南北、東側: 外層薄塗材E塗替え 【新設】		体育館一般部	
	渡り廊下・77㎡F底	吹付「アクリル」 (樹脂系) 下地: コケリ打放し		「アクリル」改修部は建具表による	南北、東側下地処理: カチオン系調整材塗 高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)、劣化部補修 (9ヶ所等)、おむすび(1.2kg/m)吹付	渡り廊下: 複層塗材RE (777系) 凹凸仕上 【新設】 77㎡F底: 複層塗材RE (777系) ロータ仕上 【新設】		渡り廊下・77㎡F底	
開口部廻り	建具等	「アクリル」タイル、78脱気筒、スリット、換気「アクリル」及びびん「アクリル」 「アクリル」タイル等「アクリル」10×15程度		「アクリル」タイル等「アクリル」10×15程度 建具改修部は建具表による		「アクリル」タイル等「アクリル」MS-2 10×15程度 【新設】		建具等	開口部廻り
	外壁、柱型、梁型	体育館「アクリル」上部 四隅777部 (階段室)		「アクリル」吹付面30目地「アクリル」20×10程度 「アクリル」吹付面「アクリル」15×10程度	「アクリル」面: 高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度) 「アクリル」用洗剤による水あか等汚れ除去処理 (外壁「アクリル」面特殊洗剤 (株) ミヤキ「ピカソ」同等品以上とする。)	「アクリル」面30目地「アクリル」: PC部MS-2、コケリ部PS-2 20×10程度、好目地「アクリル」: PC部MS-2、コケリ部PS-2 15×10程度 【新設】 「アクリル」面保護塗料塗り: 「アクリル」一液性吸収防止材仕上 (2回塗)	設備関係小扉: 下地調整OP塗替 (250×500) 3ヶ所、換気「アクリル」 (78) 既存のまま (設備)	体育館「アクリル」上部 四隅777部 (階段室)	
1.2階部分		吹付「アクリル」 (樹脂系) 下地: コケリ打放し		階段室上軒裏「アクリル」貼撤去	「アクリル」面浮き (樹脂系) 下地「アクリル」: 「アクリル」 (1.0kg/m) 階段室上軒裏: 樹脂樹脂補修	階段室上軒裏: 複層塗材RE (777系) 凹凸仕上 吹付面: 高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)、劣化部補修 (9ヶ所等)、おむすび(1.2kg/m)吹付	中庭側入口: 喫煙室囲い (詳細図による) 【撤去】、ベンチ、すのこ板 【工事対象外】、空調設備「アクリル」列 【機械設備撤去】	1.2階部分	
	渡り廊下全面 77㎡F底全面	吹付「アクリル」 (樹脂系) 下地: コケリ打放し		FL位置30目地「アクリル」20×10程度	高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)、劣化部補修 (9ヶ所等)、おむすび(1.2kg/m)吹付	複層塗材RE (777系) 凹凸仕上、「アクリル」PU-2 30目地20×10程度 【新設】	中庭側入口: 塩ビ乾拭きマット敷450角 手摺SUS製42.7φ新設 (軒裏は地盤沈下による躯体ずれにより加工品) 防風・防雪目隠し壁 【撤去・新設】 館名板W650×H1,300程度 (塩ビ樹脂製) 撤去、W600×H2450 (樹脂製) 新設	渡り廊下全面 77㎡F底全面	
地覆	体育館・渡り廊下全面 (中庭側床)	吹付「アクリル」 (樹脂系) 下地: コケリ打放し 中庭側床: 100角磁器タイル貼り 下地樹脂塗り (1通り柱面まで)		中庭側床: 仕上撤去	高圧水洗浄 (水圧15Mpa程度)、劣化部補修 (9ヶ所等)、おむすび(1.2kg/m)吹付	複層塗材RE (777系) 凹凸仕上 【新設】 中庭側床: 100角磁器タイル貼り 下地樹脂塗り (20ヶ所 勾配調整)	柔剣道場、卓球場外部廻り 床下換気口H450×H150 (16ヶ所) 水切り防水樹脂補修仕上 【新設】 側、上面は外壁吹付に同上	体育館・渡り廊下全面 (中庭側床)	地覆
	77㎡F底	床: 100角磁器タイル貼り 下地樹脂塗り 土間タイルt=120勾配1/70		床仕上下地撤去 土間タイル撤去	現況砕石敷き上増し敷 (勾配調整1/38)	床: 100角磁器タイル貼り 下地樹脂塗り 土間タイルt=150勾配1/38	ゴムマット敷500×3450程撤去 (SUS枠共)、グレンツ 産750×500撤去新設、複層塗材RE、歩行用手摺SUS製42.7φ新設	77㎡F底	

※地覆の77㎡F底部分の床関係の改修は外構工事に区分する。  
※犬走りについては外構工事に含む。外構図参照。

備考	第一・護國共同企業体		総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称	縮尺	A1版 A3版	整理分類番号	図面番号
	(代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士: 一級建築士登録 106046号 齊藤博	第106046号 第一設計総合事務所 齊藤博 (印)	基本・(意匠)・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤博 (印)	上越市総合体育館等大規模改修工事						

内部仕上表														
階	室名	改修内容	床	塗装	巾木	塗装	障壁及び壁	塗装	柱型・梁型	天井	天井高	廻り縁	備考	室名
1	風除室	現状	J-L7H敷き 下地：防水E6H塗塗り 57φコナリt=150		御影石（稲田）水磨き H=110				柱型：コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）	岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0	3.000	塩ビ製		風除室
	改修	F3	f2 f1	B2				W12	柱型：水洗いの上、可とう形改修塗材E【新設】0→2回塗 下地処理：微弾性77F-(1.0kg/m)吹付	DR張t=9 下地：LGS19型+GB-R張t=9.5 77F受下地は部分詳細図による	2.890	塩ビ製【新設】	自動ドア巻込み防止手摺：57φ/742φ新設	
1	コナリ室A	現状	土足部：100φ磁器タイル 下地E6H塗塗り 内履部：特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り 57φコナリt=150		土足部：御影石（稲田）水磨き H=110 内履部：コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）		コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）		柱型：同 左	岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0	4.000 4.110 土間部	塩ビ製	下足箱(木製)及び電話台(木製)及び化粧板(3方格タイル)25×40、掲示板900×H1800(2ヵ所)撤去 案内板900×H1500、本日の予定表板1100×H900、月間行事板(木製)1100×H900 撤去 風除室西側床土手摺は撤去、すのこ板、57φ下足箱(工事対象外)	コナリ室A
	改修	F3 F2	f2 f1 f5	B2 B9			W12 W11	柱型：同 左	DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5	4.000	塩ビ製【新設】	下足箱(木製)新設、木製付飾り新設(詳細図による)新設、77φ吹付け及び巻込み機(工事対象外) コナリ室新設(詳細図による)案内板新設(1200×H1500、57φ)宣言板1300×H600取外し、再取付 歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設		
1	ホール	現状	特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り		コナリ打放し目地切り 吹付け（7714系）（77A'込含有）		コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）		柱型：同 左	岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0 化粧吸音板張t=9(木製) 下地：GB-R張t=9.5 (H24年 1通廊軸及E軸廻り改修済)	4.000 下がり天井2.350 (床下)	塩ビ製	SCB(OP塗塗り)	ホール
	改修	F2 F3	f5 f2	B9			W12	柱型：同 左	DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5(換気、配管工事のみ) ※塗装は全面	4.000	塩ビ製【新設】	SCB(SOP塗替え) 床系板(77φタイル貼) 新設 絵画用タイル(L=2m)及び77φ用自在タイル2ヵ所新設 歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設 下足箱(木製)新設(家具詳細図による)		
1	廊下(A)	現状	特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り 57φコナリ用長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り、コナリ		コナリ打放し目地切り 吹付け（7714系）（77A'込含有）		コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）			岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0	2.600	塩ビ製		廊下(A)
	改修	F2	f5	B9			W12			既存のまま	2.600	既存のまま	歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設	
1	廊下(B)	現状	特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り		コナリ打放し目地切り 吹付け（7714系）（77A'込含有）		コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）			化粧吸音板張t=9(木製) 下地：岩綿吸音板張t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	(2.590)	塩ビ製		廊下(B)
	改修	F2	f5	B9			W12			既存のまま	(2.590)	既存のまま	歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設	
1	廊下(C)	現状	特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り 57φコナリ用長尺塩ビシート貼t=2.8 下地E6H塗塗り、コナリ		コナリ打放し目地切り 吹付け（7714系）（77A'込含有）		コナリ打放し 吹付け（7714系）（77A'込含有）			化粧吸音板張t=9(木製) 下地：岩綿吸音板張t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	(2.590)	塩ビ製		廊下(C)
	改修	F2	f5 f1, f2	B9			W12			既存のまま	(2.590)	既存のまま	歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設	
1	事務室	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		E6H塗塗り 外壁側/下地：ドブt=50	VP	柱型：同 左	岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0	2.600	塩ビ製	受付机撤去(開口幅拡大部躯体撤去) SCB(OP塗塗り)、ブライド(縦型) 出入口開口巾拡大部躯体撤去	事務室
	改修	F2	f5	B2	VB H=60	W4	E6H薄塗補修	EP-G W4	柱型：同 左	DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5(換気、空調配管のみ) ※塗装は全面	(2.569)	既存のまま	受付机新設(上部タイル及び照明機)付付き、0-04新設(詳細図による) SCB(SOP塗替え)、ブライド(縦型) 取外し再取付	
1	医務室	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		E6H塗塗り 外壁側/下地：ドブt=50	VP		岩綿吸音板張t=9(77A'込含有) 下地：GB-R張t=9.0	2.600	塩ビ製	SCB(OP塗塗り)、カーペット(ベック)用、カーペット(縦型)用、ブライド(縦型) 甲板：77φブライド(TB)t=25、3インチ 壁：77φ貼下地：GB100の上E6H	医務室
	改修	F2	f5	B2	VB H=60	W4 W6	E6H薄塗補修 空調機撤去部、E6H金ゴテ仕上 下地：開口廻り77φ打放しの上、コナリH24-SL18打放し	EP-G EP-G		DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5(換気のみ)	2.600	既存のまま	SCB(SOP塗替え)、カーペット(ベック)用(既存のまま、カーペット)用(取外し再取付) 甲板：既存のまま、3インチ 壁：既存のまま	
1	柔剣道場	現状	77φt=15特殊張り UC塗装品 下地耐水77φ合板t=12		77φ H=60	OSW	E6H塗塗り	VP	柱型：化粧合板t=6下地77φ合板t=9 H=2.100 柱型(H=2.100以上)・梁型：E6H塗塗り	GB-D張t=9.0(77A'込含有) GB-D張t=9.5(木製) 下地：GB-D張t=9.0(H24年F-6間改修済)	4,000(3,940) 下がり天井2.350 (階段前)	塩ビ製	木製面格子、移動間仕切り、WCB(OP塗塗り) カーペット、カーペット	柔剣道場
	改修	F1	f4	UC B6	現状の仕上 巾木下 縦衝材 77φ×100×18	OSW 塗替	W4	E6H薄塗補修	EP-G W6	柱型：現状の仕上 H=2.100	UC C2 C4	4,000 下がり天井2.350	塩ビ製【新設】	木製面格子、移動間仕切り(建具表による) WCB(SOP塗替え)、0-04新設
1	卓球場	現状	77φt=15特殊張り UC塗装品 下地耐水77φ合板t=12		77φ H=60	OSW	E6H塗塗り	VP	柱型：化粧合板t=6下地77φ合板t=9 H=2.100 柱型(H=2.100以上)・梁型：E6H塗塗り	GB-D張t=9.0(77A'込含有) GB-D張t=9.5(木製) 下地：GB-D張t=9.0(H24年A-6間改修済)	4,000(3,940) 下がり天井2.350 (階段前)	塩ビ製	木製面格子、WCB(OP塗塗り) カーペット、カーペット	卓球場
	改修	F1	f4	UC B6	現状の仕上 巾木下 縦衝材 77φ×100×18	OSW 塗替	W4	E6H薄塗補修	EP-G W6	柱型：現状の仕上 H=2.100	UC C2 C4	4,000 下がり天井2.350	塩ビ製【新設】	木製面格子、移動間仕切り(建具表による) WCB(SOP塗替え)、0-04新設
1	器具庫A・B → 器具庫1・2	現状	コナリ直均し		E6H塗塗り H=60		コナリ打放し			コナリ打放し	57φ下 (4.850)			器具庫A・B → 器具庫1・2
	改修		既存のまま		既存のまま		既存のまま			既存のまま	57φ下 (4.850)			
1	間仕切り納庫	現状	コナリ直均し		E6H塗塗り H=60		コナリ打放し			コナリ打放し	57φ下 (4.850)			間仕切り納庫
	改修		既存のまま		既存のまま		既存のまま			既存のまま	57φ下 (4.850)			
1	体力相談室 → 会議室1	現状	77φt=9下地E6H塗塗り		77φ H=60	OSW	VC張 下地E6H塗塗り(外壁側/ドブt=50)			化粧吸音板張t=9(木製) 下地：岩綿吸音板張(77A'込含有)t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	(2.590)	塩ビ製	木製網、SCB(OP塗塗り)、カーペット カーペット撤去 窓下：空調機付(設備)	体力相談室 → 会議室1
	改修	F1	f4	UC B6	現状の仕上	OSW 塗替	既存のまま			DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5	2.600	塩ビ製【新設】	木製網既存のまま、SCB(SOP塗替え)、カーペット取外し再取付、カーペット新設 窓下：空調機付(設備)撤去跡は77φ新設(建具表による)	
1	ミーティングルーム(A)	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		VC張 下地E6H塗塗り(外壁側/ドブt=50)		柱型：同 左	化粧吸音板張t=9(木製) 下地：岩綿吸音板張(77A'込含有)t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	(2.590)	塩ビ製	SCB(OP塗塗り)、カーペット カーペット撤去 窓下：空調機付(設備)	ミーティングルーム(A)
	改修	F2 F3	f5 f2	B2	VB H=60	W2	既存のまま ②通り壁のみVC貼り撤去の上鏡面タイル(縦分割)貼り 下地30φタイルt=12.0(LGS25)	W2	柱型：同 左	DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5+9.5(換気のみ)	(2.590)	塩ビ製 【2連側新設】	SCB(SOP塗替え)、カーペット取外し再取付、カーペット新設、2連側WCB(SOP)及び引分けカーペット新設 窓下：空調機付(設備)撤去跡は77φ新設(建具表による)	
1	ミーティングルーム(B)	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		VC張 下地E6H塗塗り(外壁側のみ)ドブt=50)			化粧吸音板張t=9(木製) 下地：岩綿吸音板張(77A'込含有)t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	(2.590)	塩ビ製	SCB(OP塗塗り)、カーペット、77φ(木製) カーペット撤去 窓下：空調機付(設備)	ミーティングルーム(B)
	改修	F2 F3	f5 f2	B2	VB H=60	W2	既存のまま ④通り壁のみVC張り撤去の上77φタイル用壁紙貼り 下地調整	W2		DR張t=9 下地：GB-R張t=9.5+9.5(換気のみ)	(2.590)	塩ビ製 【4連側新設】	SCB(SOP塗替え)、カーペット取外し再取付、カーペット新設、77φ(木製)既存のまま 窓下：空調機付(設備)撤去跡は77φ新設(建具表による)	
1	男・女子更衣室	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		E6H塗塗り	VP	柱型：同 左	女子：GB-D張t=9.5 男子：GB-D張t=9.5(木製) 下地：GB-D張t=9.0 (H24年 改修済)t=9は77A'込含有	女子2.600 男子(2.590)	塩ビ製	出入口開口巾拡大部躯体撤去	男・女子更衣室
	改修	F2	f5	B2	VB H=60	W4 W11	E6H薄塗補修 出入口脇壁：GB-R張t=12.5+9.5下地 LGS50	EP-G EP-G W4	柱型：同 左	女子：GB-D張t=9.5 男子：GB-D張t=9.5 下地：GB-R張t=9.5 (換気のみ)	女子2.600 男子(2.590)	既存のまま	女子更衣室、ベビーカー用及び77φ新設、おむつ交換台新設 歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ新設	
1	物置 → 物置1	現状	KT(A)貼t=2.0 下地E6H塗塗り		VB H=60		E6H塗塗り	VP	柱型：同 左	GB-D張t=9.5(木製) 下地：GB-D張t=9.0 (H24年 改修済)t=9は77A'込含有	(2.590)	塩ビ製	カーペット(出入口開口含む)撤去	物置 → 物置1
	改修	F2	f5	B2	VB H=60	W4 W3	E6H薄塗補修 間仕切り壁：GB-R張t=12.5+9.5 下地LGS100	EP-G EP-G W3	柱型：同 左	GB-D張t=9.5 下地：GB-R張t=9.0 (間仕切り変更部のみ 天伏による)	(2.590)	既存のまま	出入口開口新設(建具表による)	

※注 記 各室の室名札は撤去し新設とする。(仕様は室名リストによる)

※特記なき天井下地は軽量鉄骨天井下地とする。

塗装記号凡例		記号凡例										下地処理記号 凡例											
VP	塩化ビニル樹脂タイルタイル	AL	77A製	RC造	鉄筋コナリ造	KT	コナリ/御影石	DR	ドブ/化粧吸音板	TB	77φ/ドブ	床	F1	現状仕上	巾木	B1	現状仕上	障壁	W1	現状仕上	天井	C1	現状仕上
EP	合成樹脂タイルタイル	S	77A製	S造	鉄骨造	KT(A)	ビニル(77A'込含有)	F	77φ/ドブ	WCB	木加工タイルタイル		F2	現状仕上 撤去・新設		B2	現状仕上 撤去・新設	柱型	W2	現状仕上 撤去・新設		C2	現状仕上 撤去・新設
EP-G	つや合成樹脂タイルタイル	SUS	77A製304	W造	木造	FS	複層ビニルシート	NF	軟質石綿板(77A'込含有)	SCB	77φ加工タイルタイル		F3	現状仕上・下地共 撤去・新設		B3	現状仕上・下地共 撤去・新設		W3	現状仕上・下地共 撤去・新設		C3	現状仕上・下地共 撤去・新設
SOP	合成樹脂調合タイル	SGP	配管用炭素鋼管	OB	コナリドブ	HS	発泡ビニルシート	0.8FK	77φ加工タイル板				F4	現状仕上 清掃		B4	モルタル面 RB種		W4	モルタル・プラスチック面 RB種(コナリ面)		C4	モルタル・プラスチック面 RB種
	(※既存図から改修前はOP)	VP	硬質塩化ビニル管	LGS19	軽量鉄骨天井 19型	VB	ビニル巾木	化粧0.8FK	化粧タイル加工板	PS-2	77φタイル系		F5	現状仕上の上カバー工法又は新設		B5	ボード部 RB種		W5	ボード部 RB種		C5	ボード部 RB種
OSW	木材タイルタイル	DP	77φ	LGS65	軽量鉄骨壁下地 65型	GB-R	石膏ボード	DS	両面77φ繊維強化タイル板	MS-2	変成タイルタイル		f1	コンクリート		B6	木部 RB種		W6	木部 RB種		C6	現状仕上・一時取外し・再取付
UC	1波形タイル樹脂タイル	RD	ドブタイル			GB-S	防水石膏ボード	GB、(GM)	77φタイルボード、(77φタイル)				f2	モルタル		B7	現状仕上・下地共撤去・新設 LGS新設		W7	現状仕上・下地共撤去・新設 LGS新設		C7	現状仕上・下地共撤去・新設 LGS新設
WP	木材保護塗料塗塗り					GB-F	強化石膏ボード	SF	押出法77φタイル				f3	木床組		B8	現状仕上・下地共撤去・新設 直貼り(GL)工法		W8	現状仕上・下地共撤去・新設 直貼り(GL)工法		C8	現状仕上の上カバー工法及び新設
						GB-D	化粧石膏ボード(15φタイル模様)	VC	ビニル壁紙				f4	塗装 RB種 3種ケレン		B9	現状仕上の上カバー工法及び新設		W9	現状仕上の上カバー工法及び新設			
													f5	エポキシ樹脂モルタル及びびバテ補修 不陸調整 ※F5による処理は仕上材積表面積の1/4を想定とする。		B10	仕上・下地共新設		W10	現状仕上の上下地・仕上調整 直貼り(GL)工法			
																			W11	仕上・下地共新設			
																			W12	現状仕上の上カバー工法及び新設			
																				G2	現状仕上 撤去 新設		
																				G3	モルタル・プラスチック面 RB種		

備考	第一・護國共同企業体				総括・一級建築士				担当事務所長				工事名称				図面名称				縮尺				整理分類番号				図面番号			
	(代表) (有) 第一設計総合事務所				第一〇六〇四六号				(基本)・意匠・構造・設備				上越市総合体育館等大規模改修工事				上越市総合体育館・渡り廊下				A1版 A3版				総11 総78							
	管理建築士一級建築士登録 第一〇六〇四六号 齊藤博				齊藤博 (印)				齊藤博 (印)				齊藤博 (印)				【改修前・後】内部仕上表 (1)				年月日 令和3年2月				合計枚数 120枚							

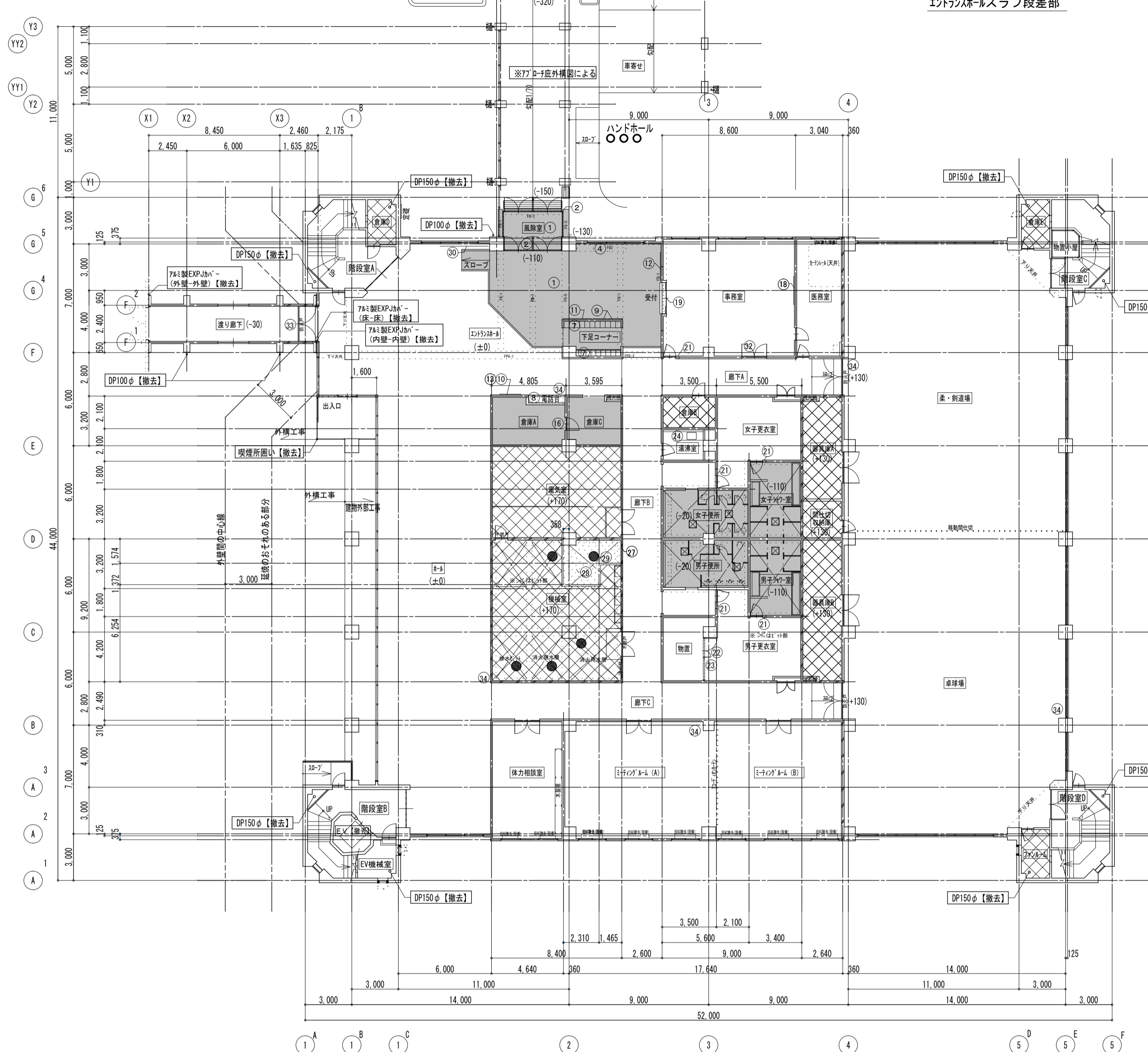
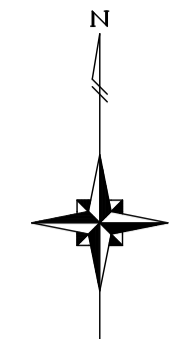
内部仕上表																											
階	室名	改修内容	下開地盤	床	塗装	下開地盤	巾木	塗装	下開地盤	腰壁及び壁	塗装	下開地盤	柱型・梁型	天井	塗装	下開地盤	天井高	廻り縁	備考	室名							
																					下開地盤	下開地盤	下開地盤	下開地盤	下開地盤	下開地盤	下開地盤
1	男・女子シャワー室	現況		47角磁器質タイル貼リ 下地タイル塗り コケリ→F57 t=150						100角半磁器質タイル貼リ 下地タイル塗り				NF貼t=6		VP	2,400	塩ビ製	甲板、笠木、行方ブロー(TB)t=25、シャブース、SUS板(21.7φ、シャブーフチH=1,750) 撤去 洗面台、足洗場撤去、床下点検口撤去及びタテ穴埋め	男・女子シャワー室							
	→ 同シャワー室	改修	F3	f2 f1	FS貼t=2.0 下地タイル塗りt=27 357上合成樹脂発泡材t=50+コケリ→F57 t=100(巾=100角×3.2φ (段差解消)	B8 (B10)	VB H=60 下地: GB-S貼t=12.5(既存のタイルにGL工法とする) 間仕切壁: 床コケリ→立上げH=300 下地同じ	W8 塩ビ W11	GB-S貼t=12.5(※註: 既存の下地タイルにGL工法とする) 間仕切壁: GB-S貼t=12.5 下地: LGS100 5(巾)型: 同上 下地: 7折合板(347 1)t=12.0 LGS50	EP-G				C7	0.8FK貼t=6 目透張り LGS19型	EP	2,400	塩ビ製【新設】	洗面台(設備工事)、出入用タイル、タテ、目隠しシャブース、床下点検口450角 新設 脱衣用ベンチ 甲板、タイル化粧タイル、タテ、タテ壁 LGS50+7折合板(347 1)t=12下地化粧0.8FK貼t=6仕上 新設 歩行者用扉: 半扉貫通型40φ新設	→ 同シャワー室							
	→ 男・女子脱衣室	改修	F3	f2 f1	HS貼t=2.8 下地タイル塗りt=27 357上合成樹脂発泡材t=50+コケリ→F57 t=100(巾=100角×3.2φ (段差解消) (2)設置部は357のままで	B8 (B10)	VB H=60 下地: GB-S貼t=12.5(既存のタイルにGL工法とする) 間仕切壁: 床コケリ→立上げH=300 下地同じ	W8 塩ビ W11	GB-S貼t=12.5(※註: 既存の下地タイルにGL工法とする) 間仕切壁: GB-S貼t=12.5 下地: LGS100	EP-G					C7	0.8FK貼t=6 目透張り LGS19型	EP	2,400	塩ビ製【新設】	ベンチ、脱衣用ベンチ用ベンチ 新設 シャブーフチ 新設(建築工事)	→ 男・女子脱衣室						
	→ 男・女子身障者用シャワー室	改修	F3	f2 f1	HS貼t=2.8 (浴室用) 下地タイル塗り、タイル防水 357上合成樹脂発泡材t=50+コケリ→F57 t=100(巾=100角×3.2φ (段差解消) 排水溝: W120 タイル塗上(勾配調整)下地タイル防水	B10	HS貼t=2.8 下地: 床コケリ→立上げH=300 タイル防水上げ タイル塗り	W11	樹脂製浴室用壁装材t=9下地透湿・防水シート GB-S貼t=12.5 LGS100(躯体阻LGS50)						C7	樹脂製浴室用天井材t=9下地透湿・防水シート GB-S貼t=9.5 LGS19型		2,400	付属風圧機【新設】	排水溝:SUSプレート、シャブーフチ 新設 シャブーフチH=1.750及びタテ新設 L型=400、L=800、L型900+1400手摺男女各1ヶ所 同下地補強新設	→ 男・女子身障者用シャワー室						
	男・女子便所	現況			長尺塩ビシート貼t=2.0 下地タイル塗り						100角半磁器質タイル貼リ 下地タイル塗り				NF貼t=6		VP	2,400	塩ビ製	トリアース、甲板: 行方ブロー(TB)t=25、タテ壁: GB100下地タイルの上タイル貼 撤去 床下点検口450角	男・女子便所						
	→ 改修	F3	f2	FS貼t=2.0 下地タイル塗り (t=48)	B8	VB H=60 下地: 化粧0.8FK貼t=6+GB-S貼t=12.5(既存のタイルにGL工法とする)	W8 塩ビ	化粧0.8FK貼t=6+GB-S貼t=12.5 (※註: 既存の下地タイルにGL工法とする、一部タイル撤去部は詳細図-3A) 便器廻り壁: 同上 LGS50の上同下地新設 100角半磁器質タイル貼リ 下地タイル塗り							C7	GB-D貼t=9.5 LGS19型(野線開閉変更)		2,400	塩ビ製【新設】	トリアース、甲板: タイル化粧タイル+タイル、新設、変身鏡(女子のみ) 新設 タテ壁: LGS50+7折合板(347 1)t=12下地化粧0.8FK貼t=6仕上 新設 床下点検口450角(原則既存穴再利用) L型、1型手摺下地補強、大便器タテ穴埋め処理 流し台L=1,800、吊戸棚L=1,200、木切棚L=1,200、ワグアード 撤去							
	湯沸室	現況			長尺塩ビシート貼t=2.0 下地タイル塗り										NF貼t=6		VP	2,400	塩ビ製		湯沸室						
	→ 改修	F2	f5	FS貼t=2.0 下地調整	B8	VB H=60 下地: GB-S貼t=12.5(既存のタイルにGL工法とする)	W8 塩ビ	GB-S貼t=12.5(GL工法)(※註: 既存の下地タイルにGL工法とする)							C7	GB-D貼t=9.5 LGS19型(野線開閉変更)		2,400	塩ビ製【新設】	【参考】IMAX T10AはタテH=1800+タテ、1H1口、水切り棚L=1,200(1段) 新設 甲板: タイル化粧タイル+タイル、タテ壁: LGS50+GB-S t=12.5下地EP-G							
	倉庫A → 自販機コーナー	現況			KT(A)貼t=2 下地タイル塗り			VB H=60			タイル塗り				VP			2,520	塩ビ製	出入口新設部躯体撤去	倉庫A → 自販機コーナー						
	→ 改修	F2	f5	HS貼t=2.0 下地調整	B2 (B10)	VB H=60 (出入口扉壁: GB-R貼t=12.5+9.5下地の上とする)	W4 W11	タイル薄塗補修 出入口扉壁: GB-R貼t=12.5+9.5下地							EP-G EP-G	W4	柱型: 同 左	EP-G	C2	DR貼t=9 下地: GB-R貼 t=9.5	2,510	塩ビ製【新設】	コケリ撤去及び倉庫Cの既存自販機移設(工事対象外) R=1-目隠し新設(詳細図による)				
倉庫B	現況			KT(A)貼t=2 下地タイル塗り			VB H=60			タイル塗り				VP			2,400	塩ビ製		倉庫B							
→ 改修				既存のまま			既存のまま			既存のまま									既存のまま		既存のまま						
倉庫C → 下足置場	現況			特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地タイル塗り						コケリ→打放し				VP				2,590	塩ビ製		倉庫C → 下足置場						
→ 改修	F2	f5	HS貼t=2.8 下地調整							水洗いの上、可とう形改修塗材E【新設】0.7-2回塗 下地処理: 吸水性7.5(1.0kg/m)吹付 壁裏裏部: GB-R貼t=9.5+12.5(LGS50) 仕上げは上記に準ずる	W12 W11	水洗いの上、可とう形改修塗材E【新設】0.7-2回塗 下地処理: 吸水性7.5(1.0kg/m)吹付 壁裏裏部: GB-R貼t=9.5+12.5(LGS50) 仕上げは上記に準ずる												2,590	既存のまま	下足箱(木製WP)新設床、壁固定金具止め(家具詳細図による)	
倉庫D・E	現況			KT(A)貼t=2 下地タイル塗り						コケリ→打放し				VP				2,577下 (2,300~2,680)	塩ビ製		倉庫D・E						
→ 改修				既存のまま			既存のまま			既存のまま										既存のまま		既存のまま	種: 外部仕上による。				
電気室	現況			防塵塗料塗り 下地タイル塗り 目地切り 軽量コケリ→押え H=170						種: タイル塗り H=2,100 壁: リンシ吹付 H=2,100以上								2,577下 (4,850)	塩ビ製		電気室						
→ 改修				既存のまま			既存のまま			既存のまま										既存のまま		既存のまま					
機械室	現況			タイル塗り 目地切り 軽量コケリ→押え H=170						種: タイル塗り H=2,100 壁: GB貼t=20 H=2,100以上								2,577下 (4,830)	塩ビ製		機械室						
→ 同機械室	改修			既存のまま	B10		多目的(1)間-間仕切: 床コケリ→立上H=100 消火タテ 置場間-間仕切: 床コケリ→立上H=100	W11	種: 既存のまま 種: 既存のまま 多目的(1)間仕切: F貼t=6.0+GB-F 2重貼t=21-21 消火タテ 置場間仕切: GB-F 2重貼t=12.5+12.5(両面) 下地: GB貼t=50(24K)充填LGS100														出入口新設部躯体撤去	→ 同機械室			
→ 一部多目的便所	改修	F3	f2	FS貼t=2.0 下地タイル塗り 軽量コケリ→押え撤去 (ベタ調整)	B2 B10	VB H=60 下地: 化粧0.8FK貼t=6.0+GB-R貼t=12.5 (機械室間-間仕切: 床コケリ→立上H=300の上同下地)	W11 W2 W2	化粧0.8FK貼t=6.0+GB-R t=12.5 下地LGS100新設 種: 化粧0.8FK貼t=6.0+GB-R貼t=12.5(躯体阻LGS50)新設 壁: 種に同上															2,400	塩ビ製【新設】	甲板: タイル化粧タイル+タイル、タテ壁: 7折合板t=12+化粧0.8FK貼t=6仕上 新設 タテ壁撤去 357穴埋め L型手摺下地補強 床下点検口450角新設	→ 一部多目的便所	
→ 一部多目的便所前通路	改修	F3	f2	HS貼t=2.8 下地タイル塗り 軽量コケリ→押え撤去 (ベタ調整)	B2 B10	VB H=60 下地: GB-R貼t=12.5 (機械室間-間仕切: 床コケリ→立上H=300の上同下地)	W11 W2 W2	GB-R貼t=12.5 下地LGS100新設 種: GB-R貼t=12.5(躯体阻LGS50)新設 壁: 種に同上																2,400	塩ビ製【新設】	出入口躯体撤去部: タテ壁3方新設	→ 一部多目的便所前通路
EV機械室 → 物置2	現況			防塵塗料塗り 下地タイル塗り						種: タイル塗り H=1,200 壁: GB貼t=20 H=1,200以上								2,577下 (2,320~2,680)	塩ビ製		EV機械室 → 物置2						
→ 改修	F5			防塵塗料塗替え						種: タイル薄塗補修 壁裏裏部: タイル金タテ仕上(GB撤去跡)														2,577下 (2,340~2,700)	EP	GB撤去の上タイル薄塗仕上	防油塩: 防塵塗料塗替え 種: 外部仕上による。
770-L	現況			タイル塗り 目地切り						種: タイル塗り H=2,100 壁: GB貼t=20 H=2,100以上								2,577下 (2,320~2,680)	塩ビ製		770-L						
→ 改修				既存のまま			既存のまま			既存のまま										既存のまま		既存のまま	種: 外部仕上による。				
8-A・B	現況			特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地タイル塗り			VB H=60			タイル塗り				VP				2,400 2,390	塩ビ製		8-A・B						
→ 改修	F2	f5	HS貼t=2.8 下地調整	B2	VB H=60	W4	タイル薄塗補修																	2,400 2,390	既存のまま	8-A: 岩綿吸音板張t=9(77x1仕含有) 下地: GB-R張t=9.0 8-A: 化粧吸音板張t=9(部-工法) 下地: 岩綿吸音板(A)t=9+GB-R張t=9.0 (H24年 改修済)	既存のまま
廊下	現況			特殊長尺塩ビシート貼t=2.8 下地タイル塗り			VB H=60			タイル塗り				VP				2,400	塩ビ製		廊下						
→ 改修	F2	f5	HS貼t=2.8 下地調整	B2 (B10)	VB H=60 (壁裏裏部: GB-R貼t=12.5+9.5下地の上とする)	W4 W11	タイル薄塗補修 壁裏裏部: GB-R貼t=12.5+9.5(LGS50) 仕上げは上記に準ずる																	2,400	既存のまま	岩綿吸音板張t=9(77x1仕含有) 下地: GB-R張t=9.0 化粧吸音板張t=9 下地: GB-R張t=9.0(H24年B通付近改修済)	既存のまま
8-AC・D	現況			KT(A)貼t=2 下地タイル塗り			VB H=60			タイル塗り				VP				2,390	塩ビ製		8-AC・D						
→ 改修	F2	f5	HS貼t=2.0 下地調整	B2	VB H=60	W4	タイル薄塗補修																	2,390	既存のまま	GB-D張t=9.5(部-工法) 下地: GB-D張t=9.0 (H24年 改修済) t=9は77x1仕含有	既存のまま

※注 記 各室の室名札は撤去し新設とする。(仕様は室名リストによる) (1)機械室間-1時間耐火間仕切壁: 吾野耐火タイル(標準)程度 FP060NP-0077  
(消火タテ)置場間-1時間耐火間仕切壁: 吾野耐火タイル(標準)程度 FP060NP-0174 ※特記なき天井下地は軽量鉄骨天井下地とする。

塗装記号凡例	記号凡例	下地処理記号 凡例																	
VP	塩化ビニル樹脂タイルタイル	AL	7x8型	RC造	鉄筋コンクリ造	KT	コケリ→タイル	DR	タイルタイル	TB	行方ブロー	床	F1: 現況仕上のまま F2: 現況仕上 撤去・新設 F3: 現況仕上・下地共 撤去・新設 F4: 現況仕上 清掃 F5: 現況仕上の上カバー工法又は新設	巾木	B1: 現況仕上の上のまま B2: 現況仕上 撤去・新設 B3: 現況仕上・下地共 撤去・新設 B4: モルタル面 RB種 B5: ボード部 RB種 B6: 木部 RB種 B7: 現況仕上・下地共撤去・新設 LGS新設 B8: 現況仕上・下地共撤去・新設 直貼り(GL)工法 B9: 現況仕上の上カバー工法及び新設 B10: 仕上・下地共撤去・新設 LGS新設 ※W4塗装面のひび割れに対するタイル薄塗補修は仕上塗装面面積の1/4を想定とする。	腰・壁	W1: 現況仕上の上のまま W2: 現況仕上 撤去・新設 W3: 現況仕上・下地共 撤去・新設 W4: モルタル面 RB種(コケリ面) W5: ボード部 RB種 W6: 木部 RB種 W7: 現況仕上・下地共撤去・新設 LGS新設 W8: 現況仕上・下地共撤去・新設 直貼り(GL)工法 W9: 現況仕上の上カバー工法及び新設 W10: 現況仕上の上下地・仕上新設 直貼り(GL)工法 W11: 仕上・下地共撤去・新設 W12: 現況仕上の上カバー工法及び新設	天井	C1: 現況仕上の上のまま C2: 現況仕上 撤去・新設 C3: 現況仕上・下地共 撤去・新設 C4: モルタル面 RB種 C5: ボード部 RB種 C6: 現況仕上・一時取外し・再取付 C7: 現況仕上・下地共撤去・新設 LGS新設 C8: 現況仕上の上カバー工法及び新設 梁型 G1: 現況仕上の上のまま G2: 現況仕上 撤去 新設 G3: モルタル・プラスター面 RB種

備考	第一・護國共同企業体			総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称	縮尺	A1版	A3版	整理分類番号	図面番号	
	(代表) (有) 第一設計総合事務所			第一設計総合事務所	基本・監理・構造・設備	上越市総合体育館等大規模改修工事	上越市総合体育館・渡り廊下	—	—	—	—	総12 総78	
	管理建築士一級建築士登録 第一〇六〇四六号 齊藤博			第一設計総合事務所	第一設計総合事務所	齊藤博	【改修前・後】内部仕上表 (2)	年月日	令和3年2月			合計枚数	120枚
				齊藤博	齊藤博								

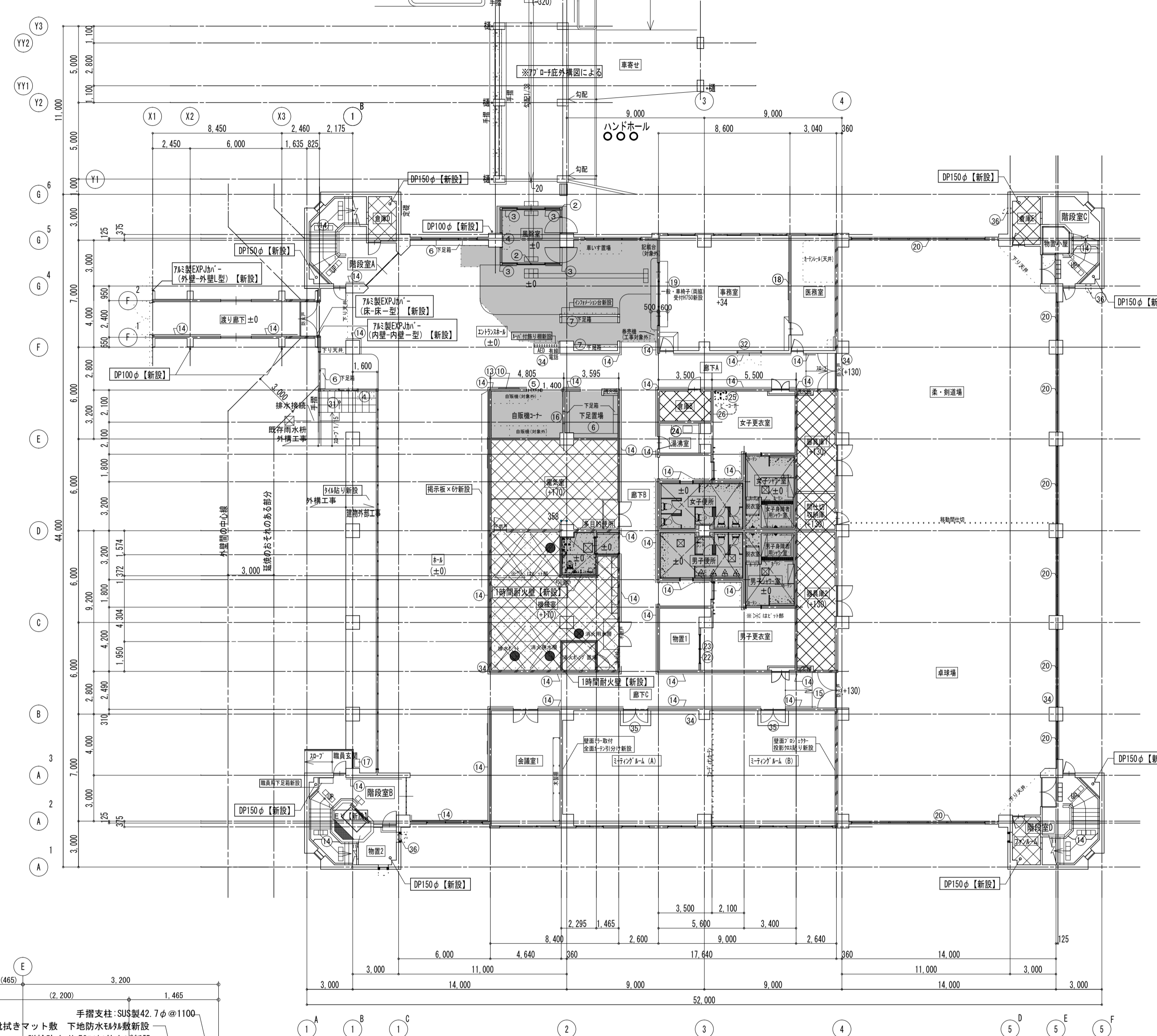
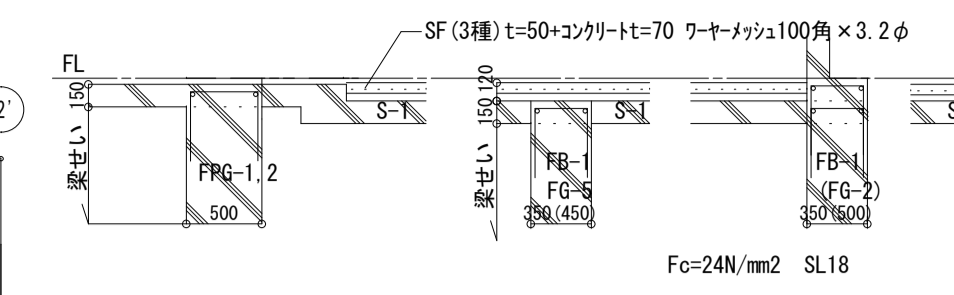




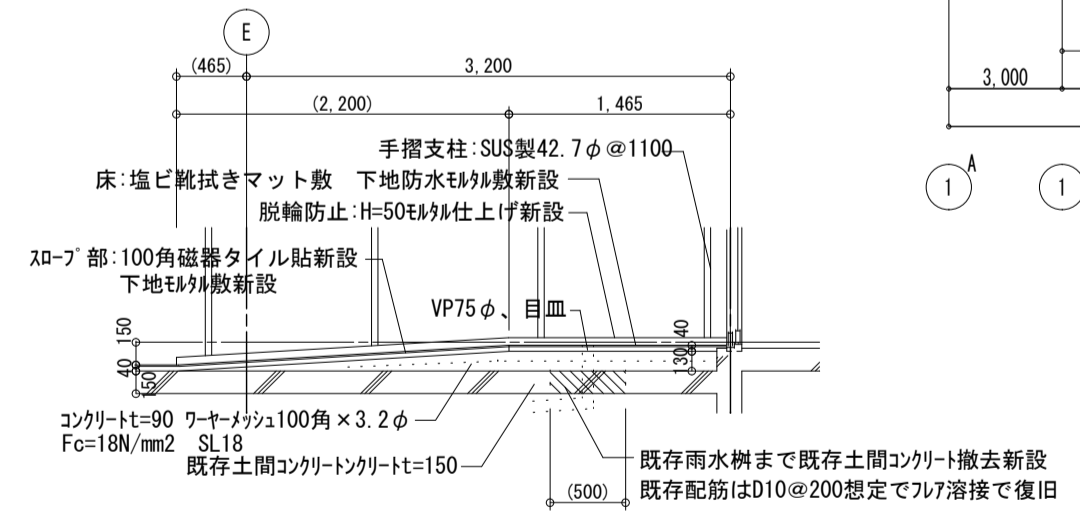
【改修前】1階平面図 S=1:200

風除室基礎梁上外廻り:  
コンクリート打設t=110φケーシング100角×3.2φ  
あと配工アルミD10φ200L=165  
(有効埋込み84+1d)  
端部311-D10埋込

エントランスホールスラブ段差部



【改修後】1階平面図 S=1:200

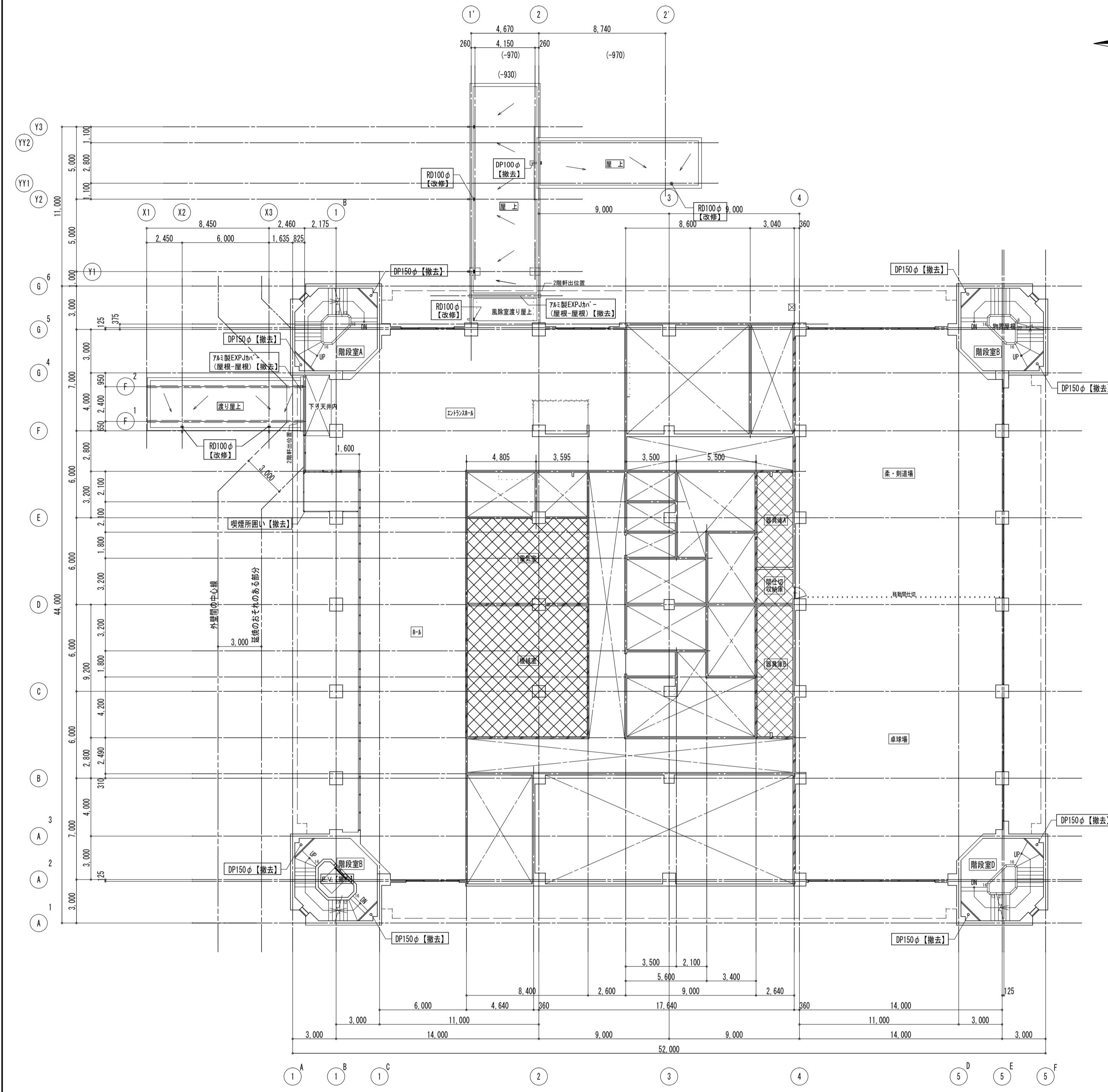
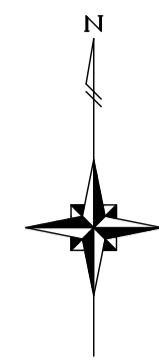


中庭入口断面図

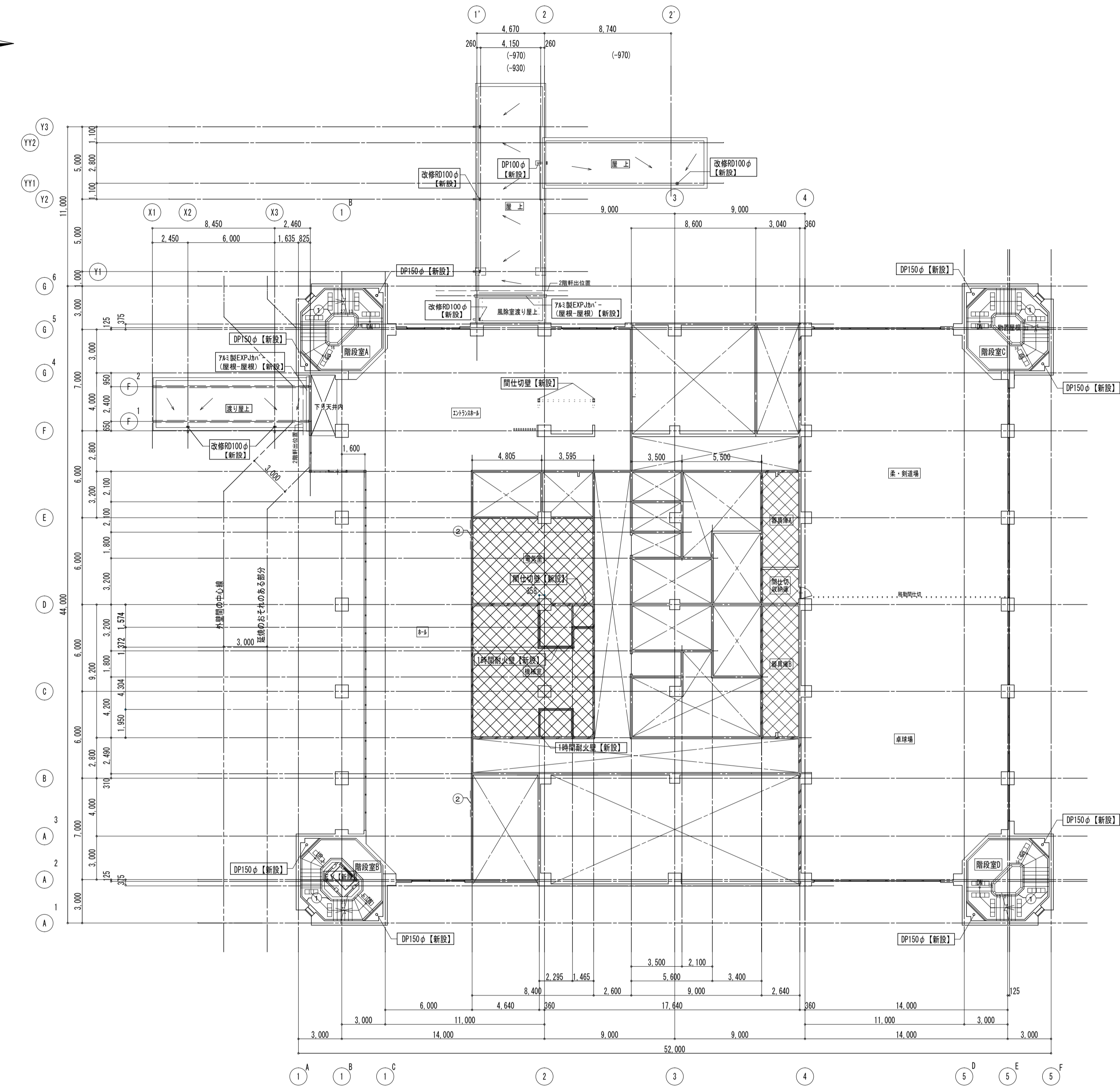
- 凡例**
- 撤去部分
  - 全面改修範囲
  - 既存のままの部分
  - 改修内容(概略) 丸数字はリスト表による
  - ※全面改修及び現状のまま以外の各室は内部仕上の改修を行う。(仕上げ表参照)
  - ※特記なき床レベルはFL(±0)とする。( )なしは改修後レベル
  - 防火区画(面積区画)※階段室は堅穴区画
  - ただし機械室は消防上の防火区画

改修内容リスト表

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>1) 157 段差解消</p> <p>2) 既存建具【撤去】自動ドア【新設】※詳細は建具表による</p> <p>3) 自動ドア巻込み防止差手摺:SP442.7φ【新設】</p> <p>4) かさ立てH1050×D450×H500(工事対象外)</p> <p>5) 出入口新設部躯体【撤去】 入り目【新設】</p> <p>6) 下足箱(木製脚)【新設】</p> <p>7) 下足箱(木製脚)【撤去】 下足箱(木製脚)【新設】</p> <p>8) 電話台カケル(55x化)化粧板3方枠ALC25×40【新設】※部分詳細による</p> <p>9) 雨戸板H900×H1800(2箇所)【撤去】</p> <p>10) 案内板H900×H1500【撤去】 H1200×H1500【新設】</p> <p>11) 本日の予定表板H1.800×H900【撤去】</p> <p>12) 月間行事のり付板 H1.800×H900【撤去】</p> | <p>13) 28"ラック撤去【取外し、再取付】</p> <p>14) 歩行者用車輪(廊下下段、階段1段)・半硬樹脂製40φ【新設】</p> <p>15) 20-φ1/13.5 コクリー増付(勾配調整)</p> <p>16) 建具(特共)【撤去】※詳細は建具表によるの上壁差ぎ部:GB-R強t=9.5+12.5(LGS50-50)</p> <p>17) 職員用下足箱(卓定共)(工事対象外)</p> <p>18) 月間行事のり付板(工事対象外)</p> <p>19) 受付カウンター及び建具(開口幅拡大部躯体)【撤去】 受付カウンター【新設】※建具表または部分詳細による</p> <p>20) 木製面格子脚置【塗装改修(取付金具より取外し塗装後再取付)】</p> <p>21) 出入口開口中拡大部躯体【撤去】</p> <p>22) 出入口開口【撤去・新設】</p> <p>23) マチタシ【撤去】 間仕切壁:GB-R強t=12.5+9.5 下地LGS100【新設】</p> <p>24) 流し台、吊戸棚、水切棚、レンジフード【撤去】※部分詳細による</p> | <p>25) おむつ交換台【新設】</p> <p>26) ベッドコート用椅子及び椅子【新設】</p> <p>27) 出入口新設部躯体【撤去】 SP443方枠【新設】</p> <p>28) 軽量コンクリート押入れ【撤去】(4ヶ所調整)</p> <p>29) ヴォール【撤去】 357 穴埋め</p> <p>30) 既存手摺【撤去】</p> <p>31) 中庭側入り口:塩ビ靴拭きマット敷450角【新設】</p> <p>32) 建具撤去【撤去】※詳細は建具表による</p> <p>33) 建具【撤去・新設】※詳細は建具表による</p> <p>34) 消火器表示板(塩ビ樹脂製)【撤去・新設】 消火器は鋼品(工事対象外)</p> <p>35) 床下排水パイプリペア調整</p> <p>36) 設備関係小床:下地処理の上UP塗装改修(250×500)</p> |
|---|--|---|



【改修後】中2階平面図 S=1:200



【改修後】中2階平面図 S=1:200

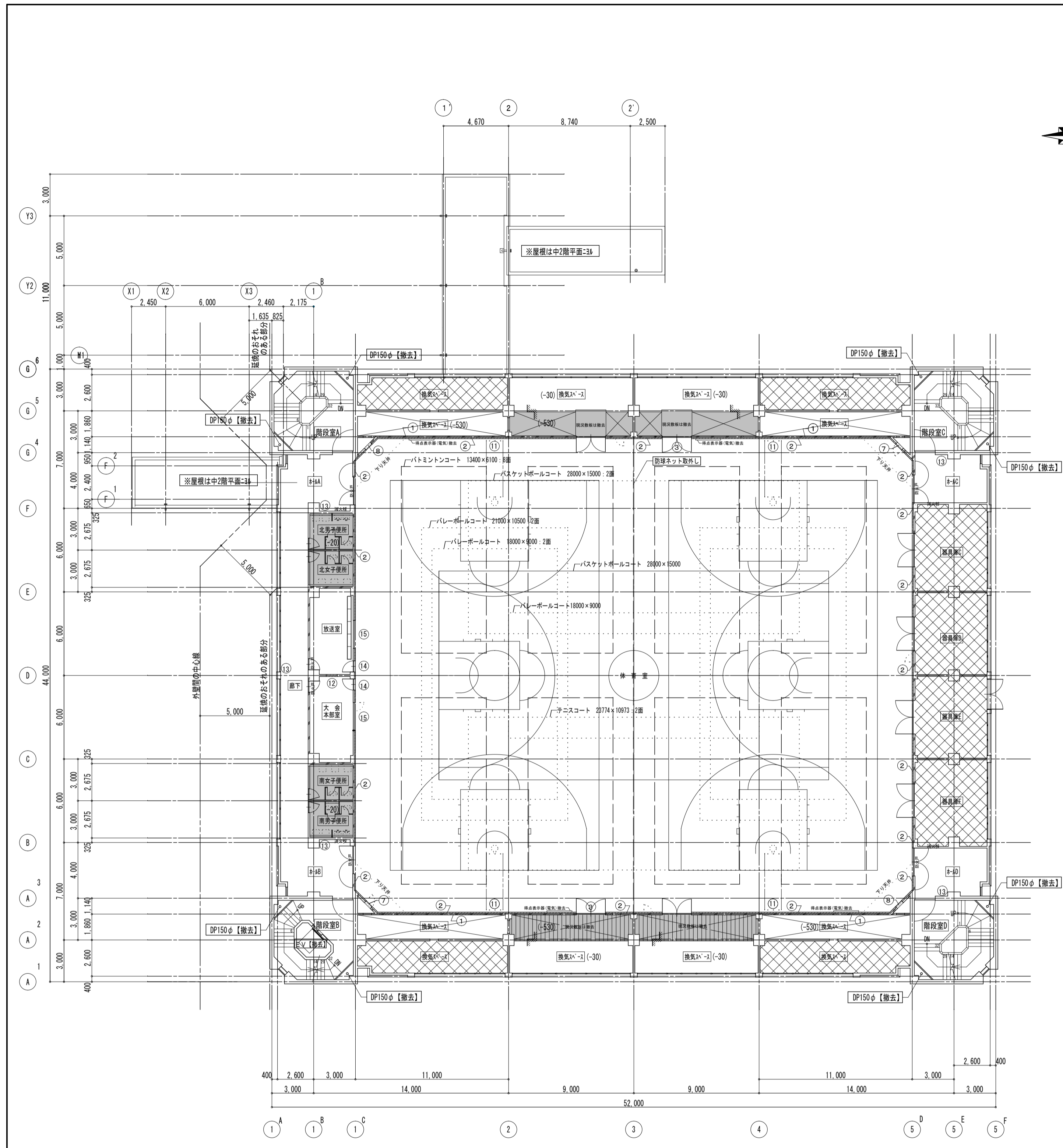
- 凡例**
- 撤去部分
  - 全面改修範囲
  - 既存のままの部分を示す。
  - 改修内容(概略) 丸数字はリスト表による
  - ※全面改修及び現状のまま以外の各室は内部仕上の改修を行う。(仕上げ表参照)
  - ※特記なき床いゝはFL(±0)とする。( )なしは改修後いゝ
  - 防火区画(面積区画) ※階段室は壁穴区画
  - ただし機械室は消防上の防火区画

**改修内容リスト表**

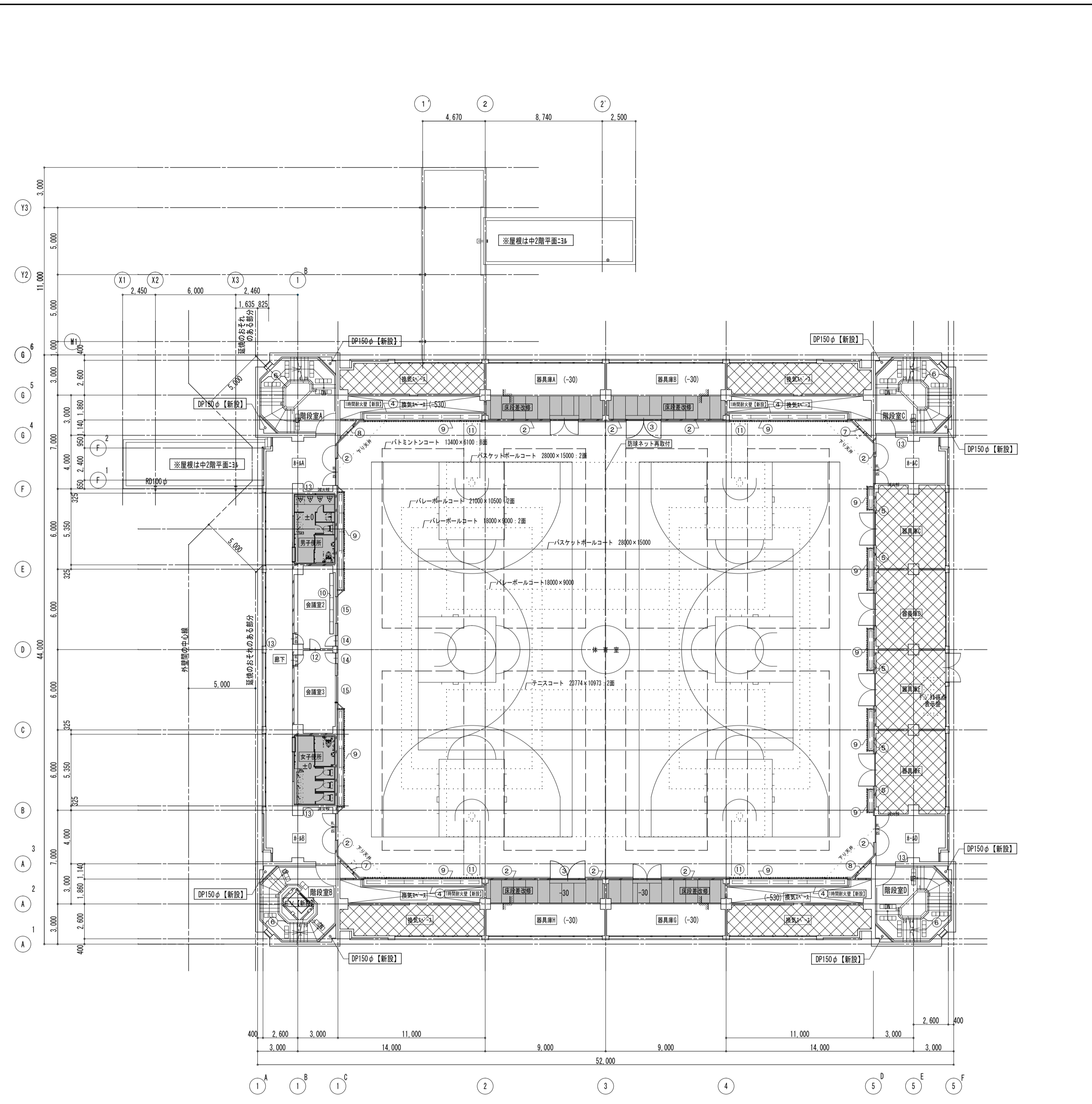
- ① 歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ(両側)
- ② 絵画用c'ファレ-ル(L=2m)及7ヶ用自在ファ2カ所
- ③
- ④
- ⑤

備考	第一・護国共同企業体	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称	縮尺	整理分類番号	図面番号
	(代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士：一級建築士登録 第106046号 齊藤 博	第106046号 術第一設計総合事務所 齊藤 博	基本(監)・構造・設備 術第一設計総合事務所 齊藤 博	上越市総合体育館等大規模改修工事	上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】中2階平面図	A1版 1/200 A3版 1/400	年月日 令和3年2月	⑤・構・電・衛 総15 浄・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚

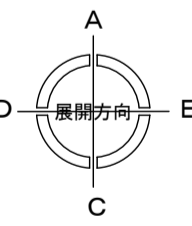




【改修前】2階平面図 S=1:200



【改修後】2階平面図 S=1:200

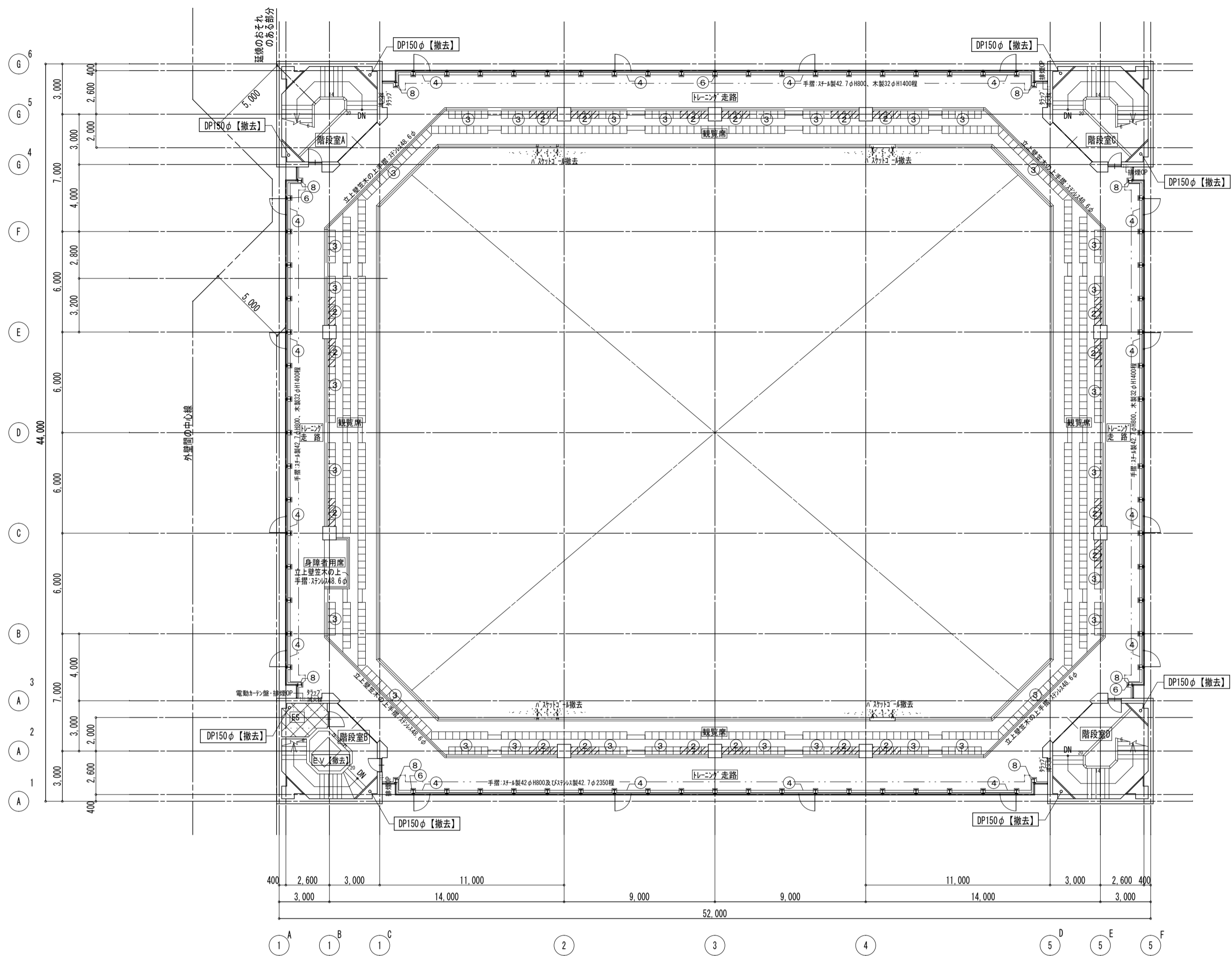
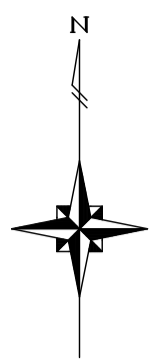


- 凡例**
- 撤去部分
  - 全面改修範囲
  - 既存のままの部分を示す。
  - 改修内容(省略) 丸数字はリスト表による
  - ※全面改修及び現状のまま以外の各室は内部仕上げの改修を行う。(仕上げ表参照)
  - ※特記なき床はF.L(±0)とする。( )なしは改修後レベル
  - 防火区画(面積区画)※階段室は壁穴区画
  - ただし機械室は消防上の防火区画

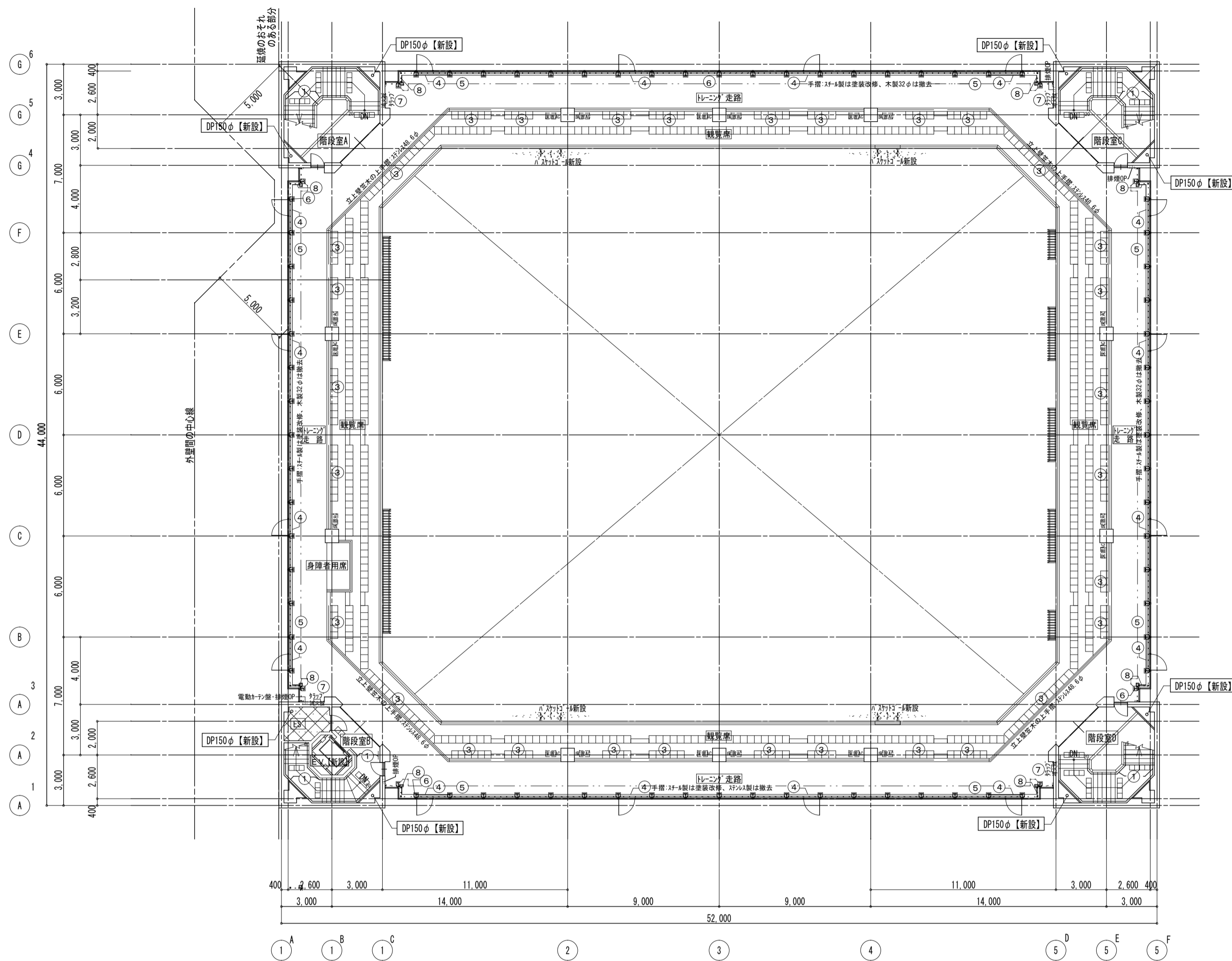
**改修内容リスト表**

- |   |   |
|---|---|
| <p>① 空調設置開口部撤去【撤去】</p> <p>② 化粧合板t=6 下地フッ合板t=9 杉間張: 45×36@450 横間張: 25×60@900【撤去】</p> <p>天然木化粧複合20・70F t=12【新設】</p> <p>③ 開口部拡張躯体 建具巾2090mm~2600mm (器具庫・H) 建具【撤去】建具【新設】※詳細は建具表による</p> <p>④ 空調設置裏面仕切: F貼t=6.0-GF-F 2重貼t=21+21【新設】</p> <p>⑤ 空調設置裏: 化粧0.6FK貼t=6 下地石膏板t=12.5【新設】</p> <p>⑥ 歩行者用手摺: 手摺質樹脂製40φ【新設】</p> <p>⑦ ガラリ、下部建具【撤去】、ガラリ(ダンパー付き)【新設】※詳細は建具表による</p> <p>⑧ ガラリ【撤去】、ガラリ(ダンパー付き)【新設】※詳細は建具表による</p> <p>⑨ 空調防露機【新設】ナラ材製</p> <p>⑩ 配線ビッド 78×溝蓋250×90は仕上-F3張替</p> | <p>⑪ バックライト【撤去・新設】東面コト: 既存躯体の引出し750×450(4か所×2)止め切断の上、樹脂貼付補修仕上</p> <p>西面コト: 既存躯体の引出し750×450(4か所×2)止め切断の上、樹脂貼付補修仕上(想定) 目隠し貼付(樹脂製)撤去</p> <p>新規(セノ-D0115500同等品)受付受材及び接合はナラの仕様による。</p> <p>⑫ 出入口開口新設部躯体【撤去】 建具【新設】※詳細は建具表による</p> <p>⑬ 消火器表示板【撤去・新設】</p> <p>⑭ 木製三方枠【撤去・新設】</p> <p>⑮ 木製四角枠【撤去・新設】</p> |
|---|---|

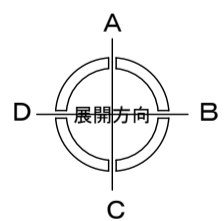
<p>備考</p>	<p><b>第一・護国共同企業体</b></p> <p>(代表) (有)第一設計総合事務所</p> <p>管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博</p>	<p>総括・一級建築士</p> <p>第106046号</p> <p>南第一設計総合事務所</p> <p>齊藤 博</p>	<p>担当事務所長</p> <p>基本〈意匠〉構造・設備</p> <p>南第一設計総合事務所</p> <p>齊藤 博</p>	<p>工事名称</p> <p><b>上越市総合体育館等大規模改修工事</b></p>	<p>図面名称</p> <p><b>上越市総合体育館・渡り廊下</b></p> <p><b>【改修前・後】2階平面図</b></p>	<p>縮尺 A1版 A3版</p> <p>1/200 1/400</p>	<p>整理分類番号</p> <p>年月日 令和3年2月</p>	<p>図面番号</p> <p>①・構・電・衛 総16</p> <p>②・厨・外・空 総78</p> <p>合計枚数 120枚</p>
-----------	---	---	--	--	--	--------------------------------------	---------------------------------	--



【改修前】3階平面図 S=1:200



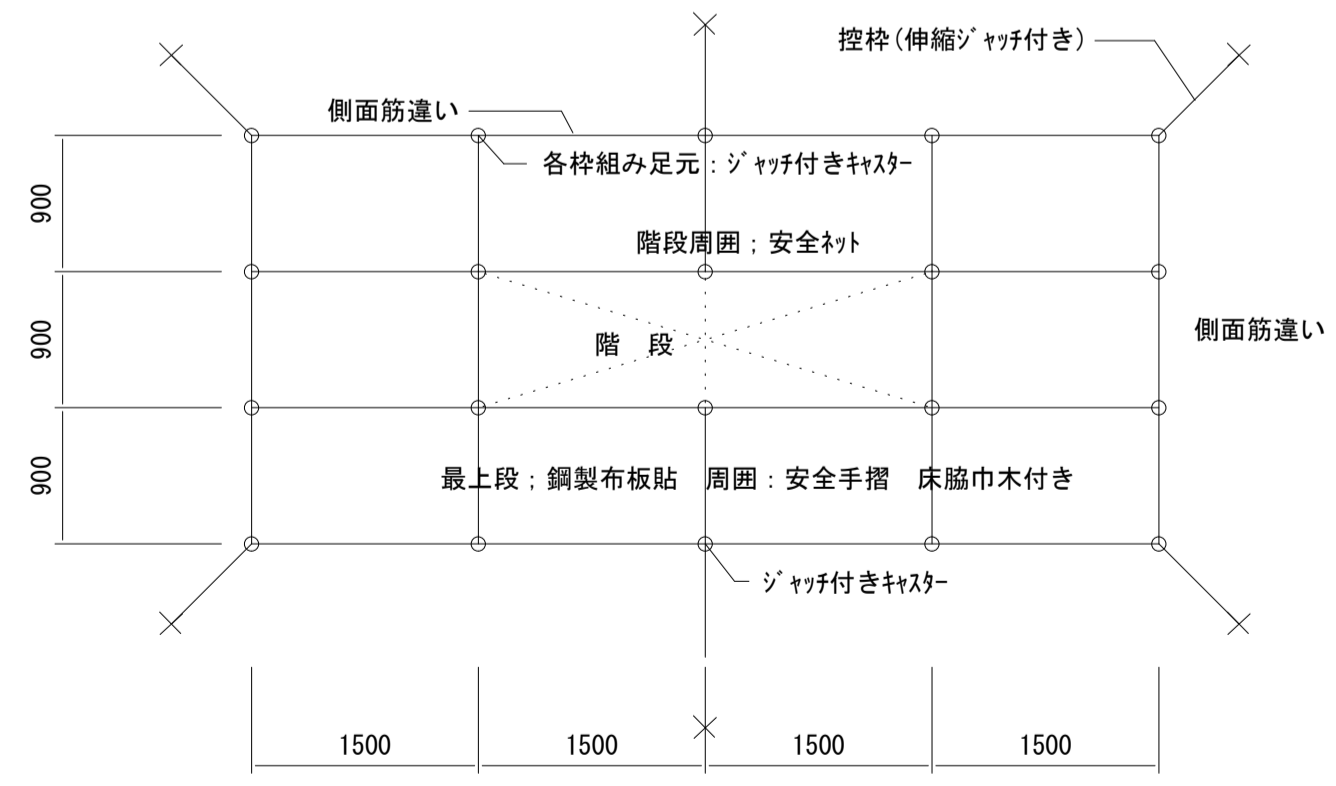
【改修後】3階平面図 S=1:200



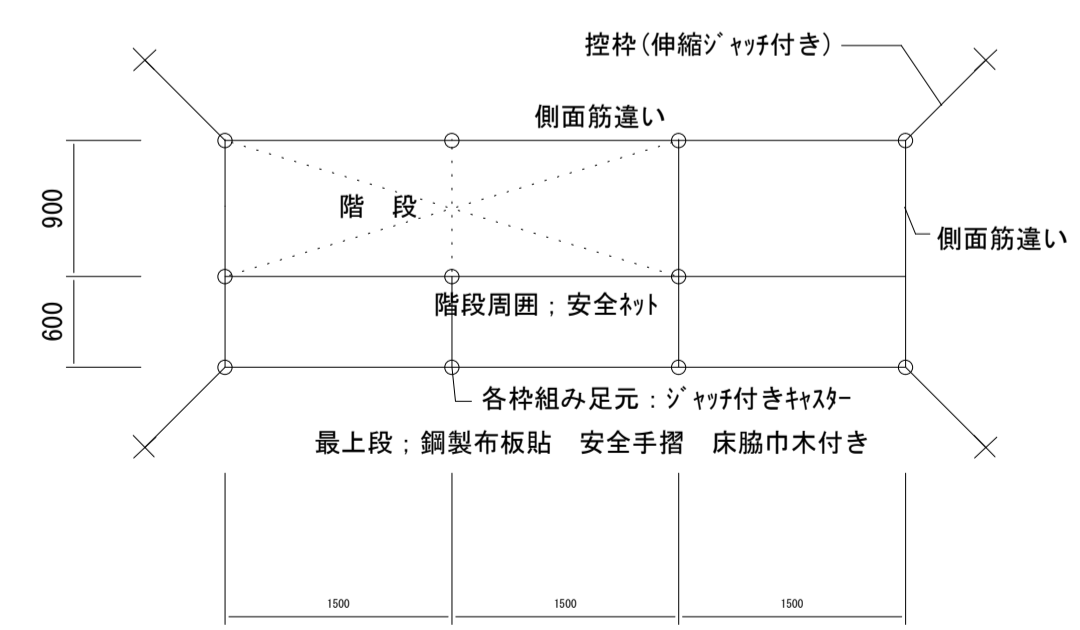
- 凡例**
- 撤去部分
  - 全面改修範囲
  - 既存のままの部分を示す。
  - 改修内容(概略) 丸数字はリスト表による
  - ※全面改修及び現況のまま以外の各室は内部仕上げるの改修を行う。(仕上げ表参照)
  - ※特記なき床材はFL(±0)とする。( )なしは改修後いへ
  - 防火区画(面積区画)※階段室は壁穴区画
  - ただし機械室は消防上の防火区画

改修内容リスト表

- ① 歩行者用手摺：半硬質樹脂製40φ(両側)
- ② 観客席撤去(残る部分とが一体で足位置が不均等の為空調設置位置により取り外し再取付で足位置調整)
- ③ 観客席取り外し再取付
- ④ 代替出入口窓前手摺H800撤去 木製手摺40φ新設(取外し式)
- ⑤ 3-Fホール鉄骨受柱：3段目F1X~排煙窓下無目まで断熱パネル新設(下部開口部カテナボックサ-7&1=2.0加工新設 カテナボックサ鉄骨受柱：SOP塗替 既存SCB-PL-1.6 SOP塗替改修 カテナボックサ(片引き)カテナ新設
- ⑥ 消火器表示板【撤去・新設】消火器は備品(工事対象外)
- ⑦ 3-F及び屋根裏出入手摺SOP塗替
- ⑧ 3-F手摺コーナー支柱撤去 手摺4-F製42.7φ SOP新設(溶接接合復旧)



2階体育室 H=11.5m

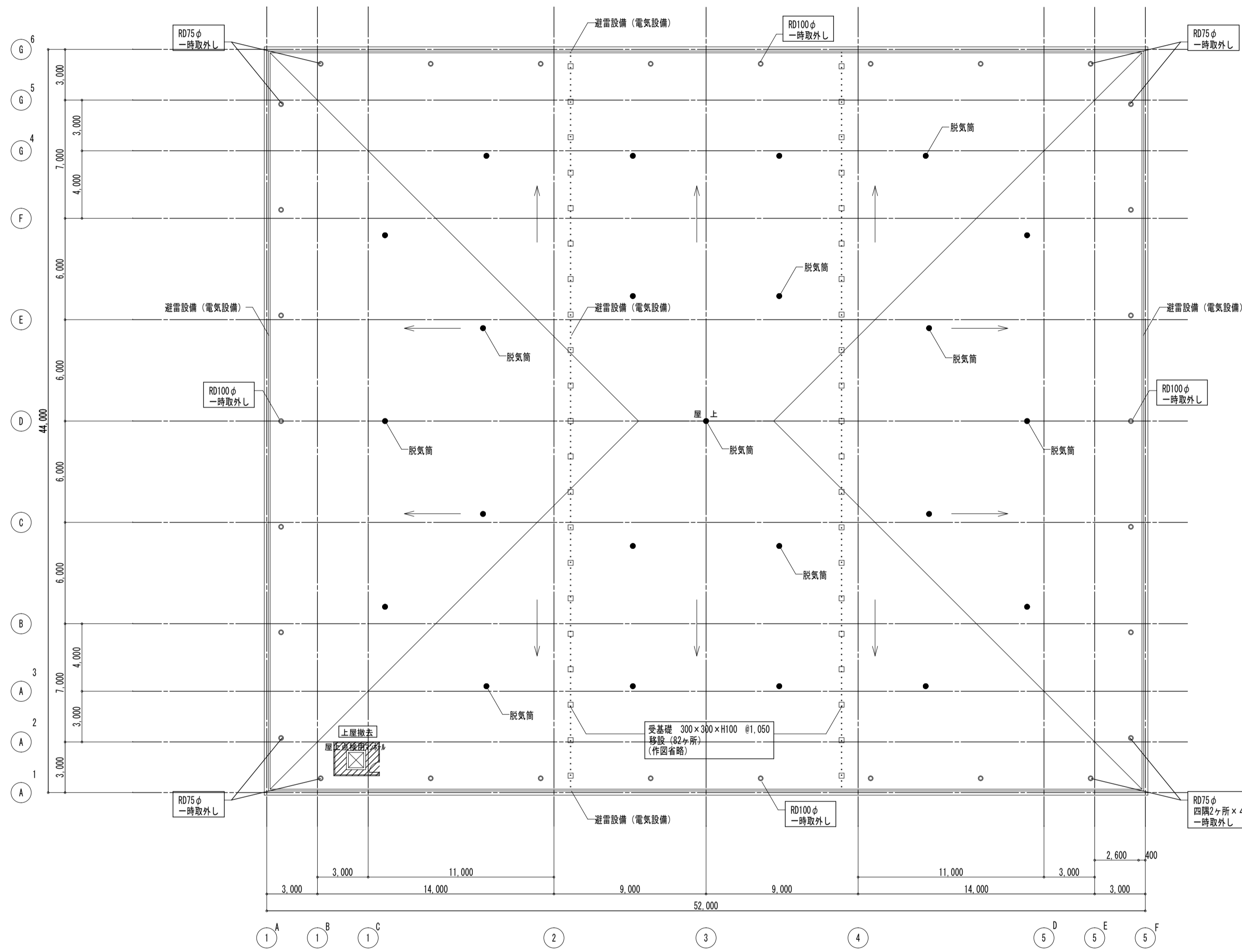
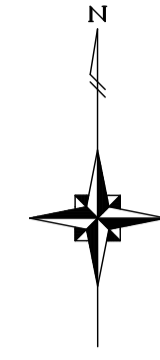


3階リング 走路 H=8.0m

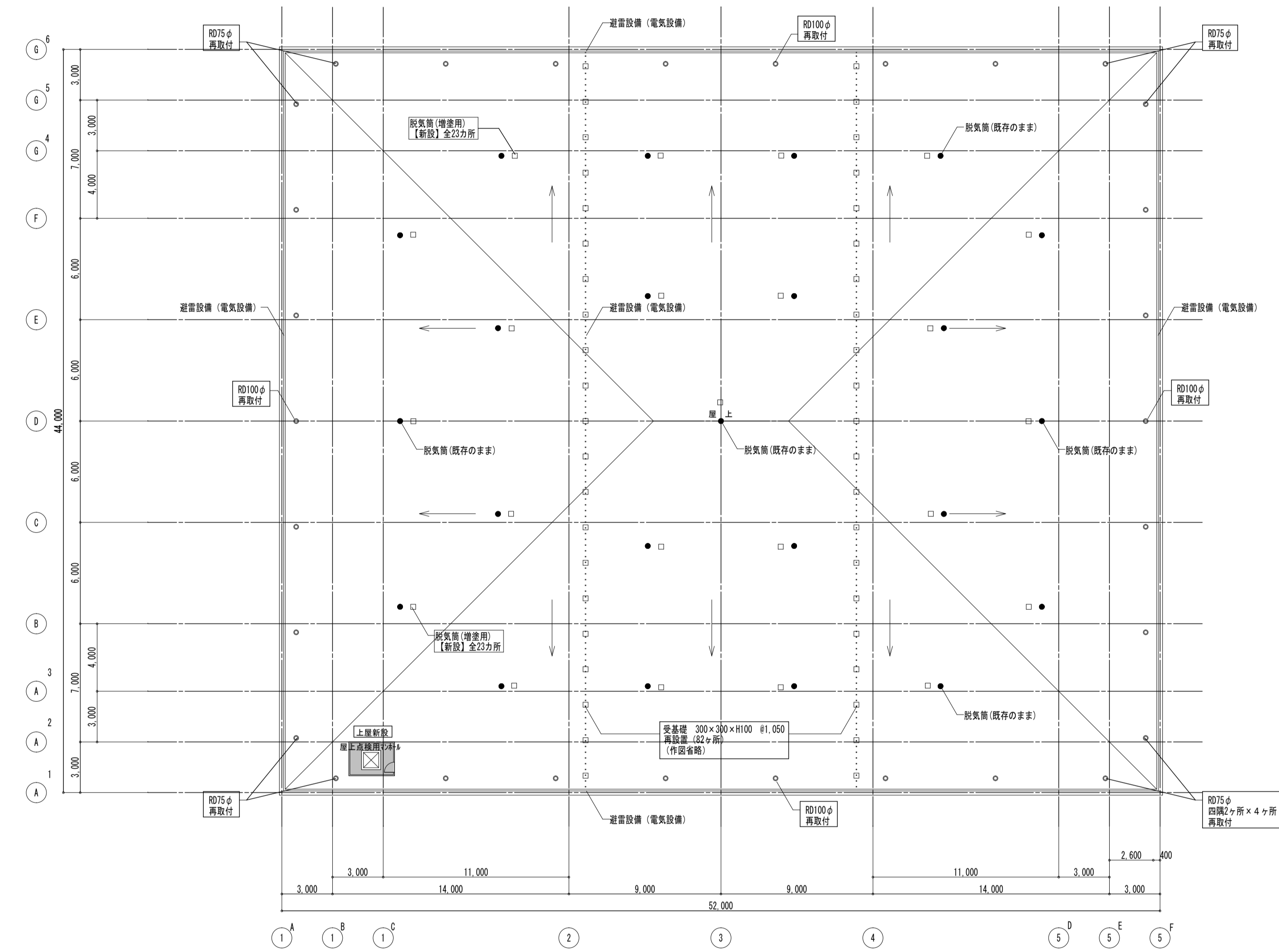
ローリングタワー参考図

※2階体育室に使用するローリングタワー(大)は2台とし、床養生は体育室の1/4面施工とし、3回転用とする。

備考	第一・護国共同企業体 (代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博	総括・一級建築士 第106046号 南第一設計総合事務所 齊藤 博	担当事務所長 基本(意匠)・構造・設備 南第一設計総合事務所 齊藤 博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】3階平面図	縮尺 A1版 1/200 A3版 1/400	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図面番号 ①・構・電・衛 総17 ②・浄・厨・外・空 総78	合計枚数 120枚



【改修前】R階平面図 S=1:200



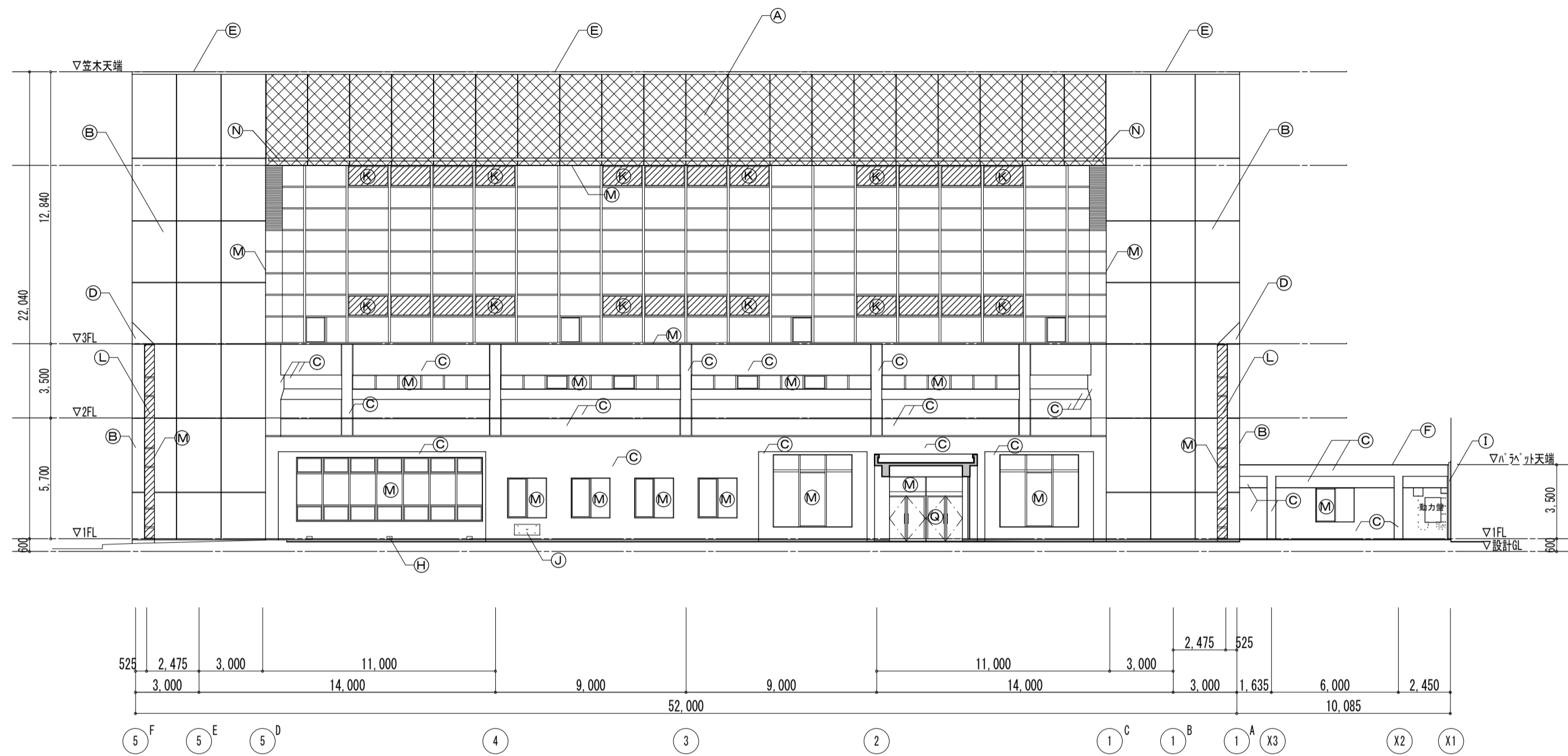
【改修後】R階平面図 S=1:200

凡例

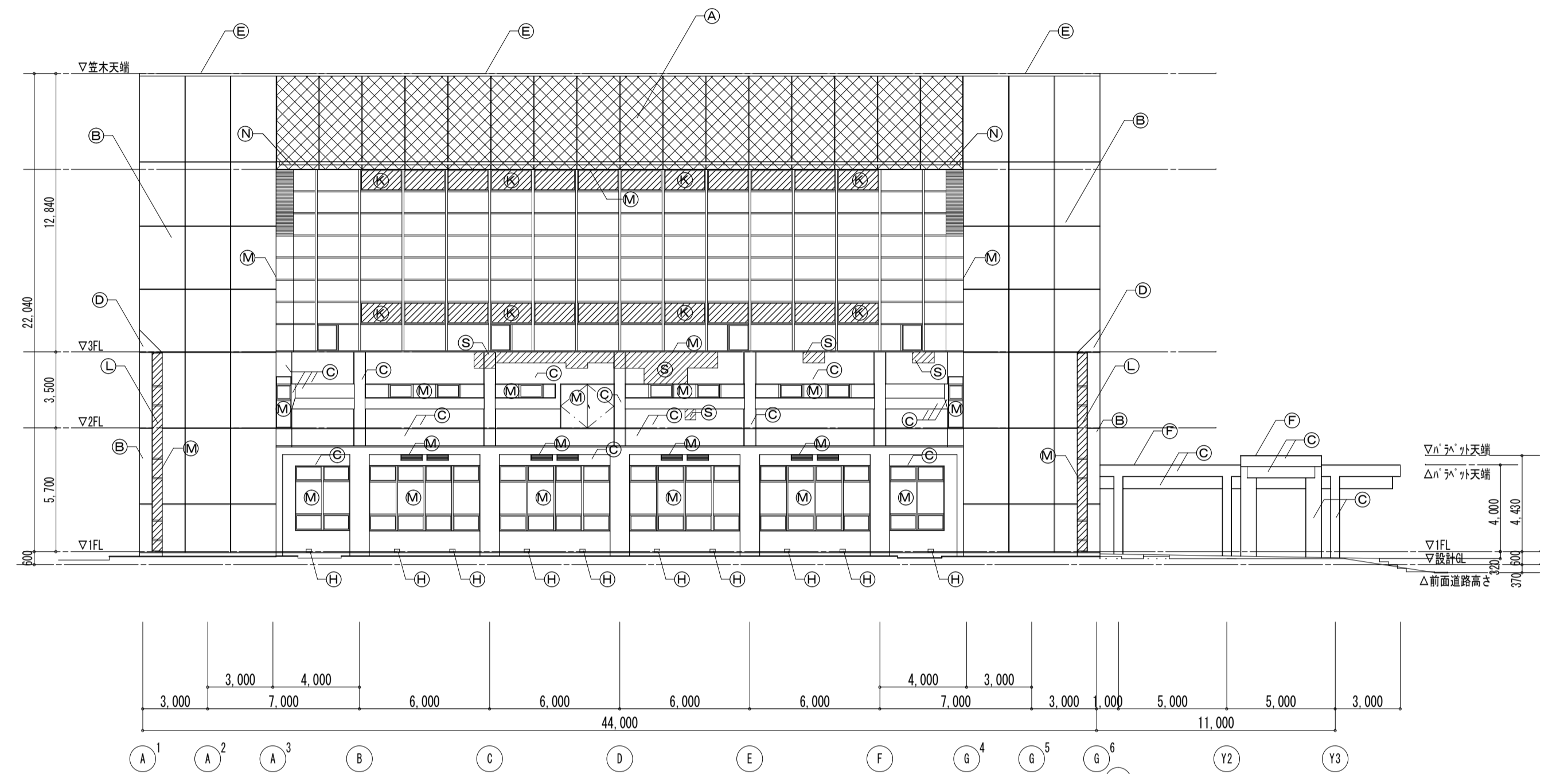
- 撤去部分
- 全面改修範囲
- 改修内容 (概略)

備考	第一・護国共同企業体	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称	図面名称	縮尺	整理分類番号	図面番号
	(代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博	第106046号 南第一設計総合事務所 齊藤博	基本・(意匠)・構造・設備 南第一設計総合事務所 齊藤博	上越市総合体育館等大規模改修工事	上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】R階平面図	A1版 1/200 A3版 1/400	年月日 令和3年2月	①・構・電・衛 総18 ②・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚

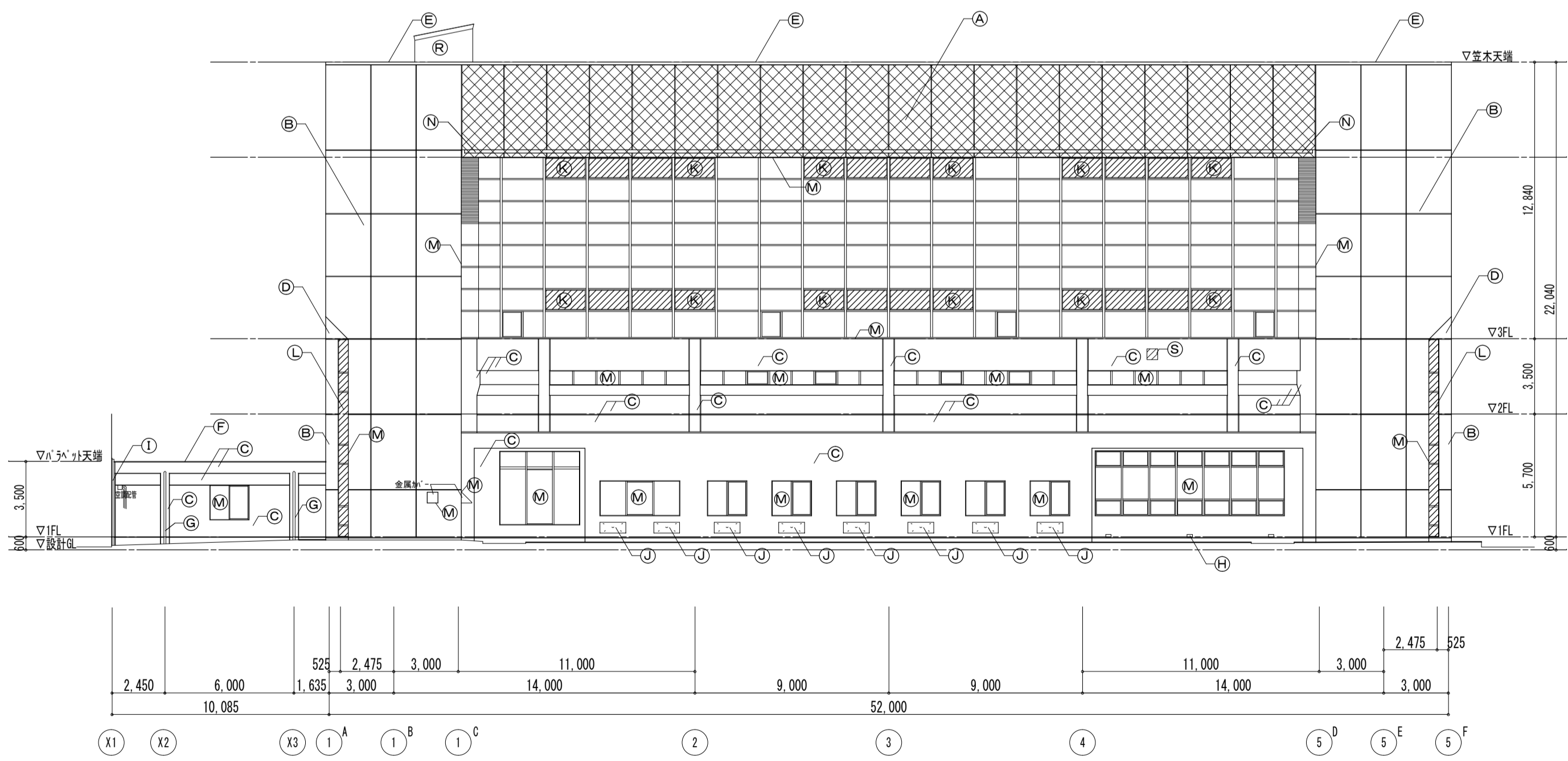
凡例	
(A) 外壁	小口磁器貼り込 下地PC版 【好15×10目地撤去】
(B) 外壁	小口磁器貼り込 下地磁器塗り 【好15×10-3020×10目地撤去】
(C) 外壁、柱型、梁型	吹付材(セキ系)下地コンクリート打放し 【好15×10-3020×10目地撤去】
(D) 外壁階段室窓上軒裏	小口磁器貼り込 下地磁器塗り 【小口磁器貼り撤去】
(E) ハブ・ト天端	PC笠木H=250かぶせ挿え 【目地15×10-リグ撤去】
(F) 渡り廊下・77 D-1底	笠木 防水磁器塗り
(G) 雨樋	好種 SGP100A OP【撤去】
(H) 地盤	床下換気口 W450×H150 水切り防水磁器貼上
(I) 外壁	78:製EXPJb(セキ系)用、コー役物(78:製作品)【撤去】
(J) 窓下開口部	空調設備ユニット等【機械設備撤去】
(K) トライバル	78:サリ挿、換気開口部等【撤去】(斜線部)
(L) 階段室	FIXのサリ挿レリグ【撤去】(斜線部)
(M) 開口部	ドア、サリ挿り等サリグ:PS-2 10×15程度【撤去】 (換気フード、設備配管、通気口等含む)
(N) 外壁(セキ系)上部	コンクリート用セキ H=150×75×5×7 取付・付属金物共【撤去】
(O) 77 D-1底	防雨・防雪目隠し【撤去】
(P) 開口部	サリ挿出入口ドア等共【撤去】
(Q) 付属物	屋上点検口廻り上屋【撤去】
(R) 外壁	吹付材(78:系)含有) 剥離剤塗布除去(斜線部)



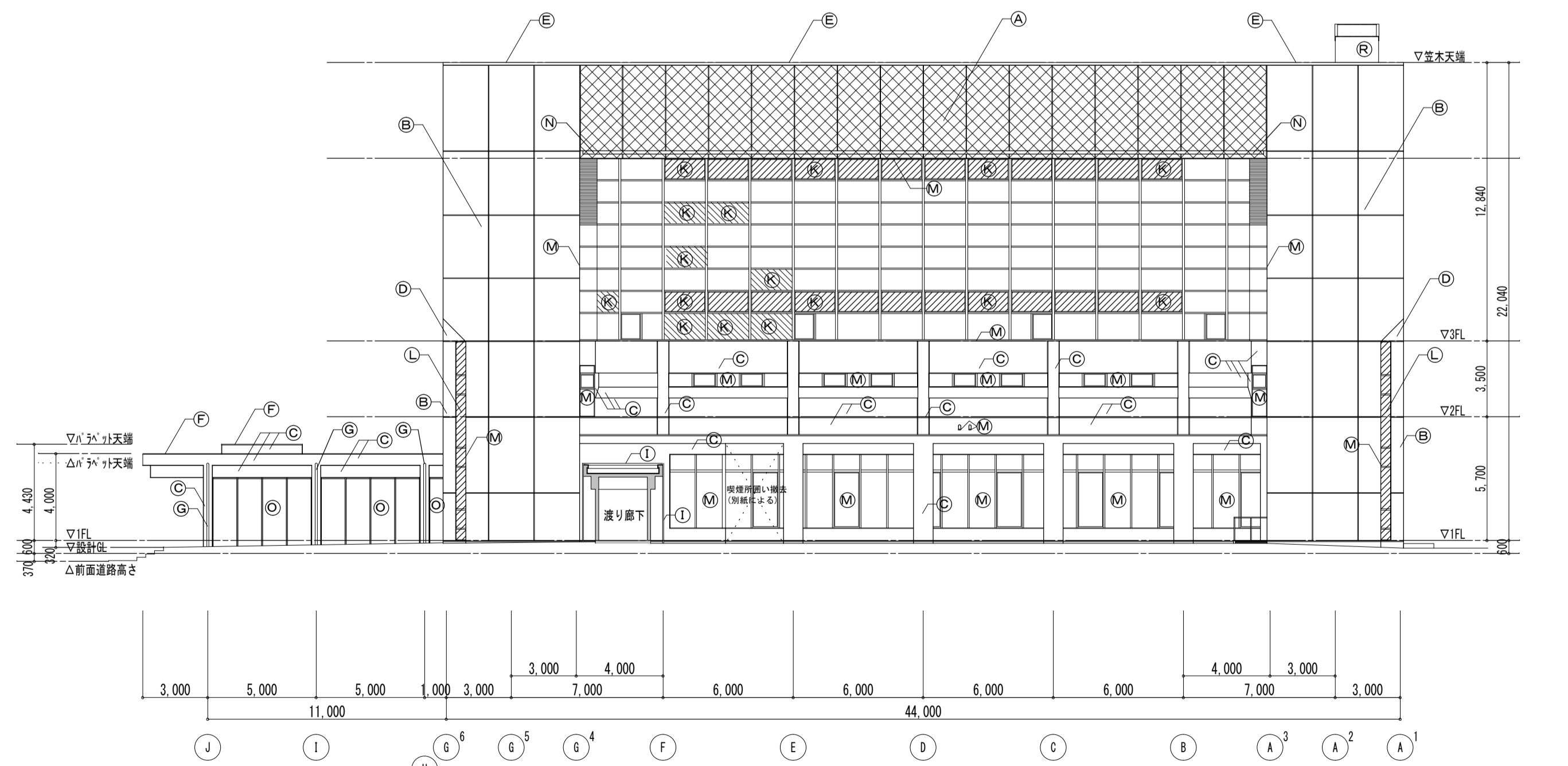
【改修前】北側立面図 1:200



【改修前】東側立面図 1:200



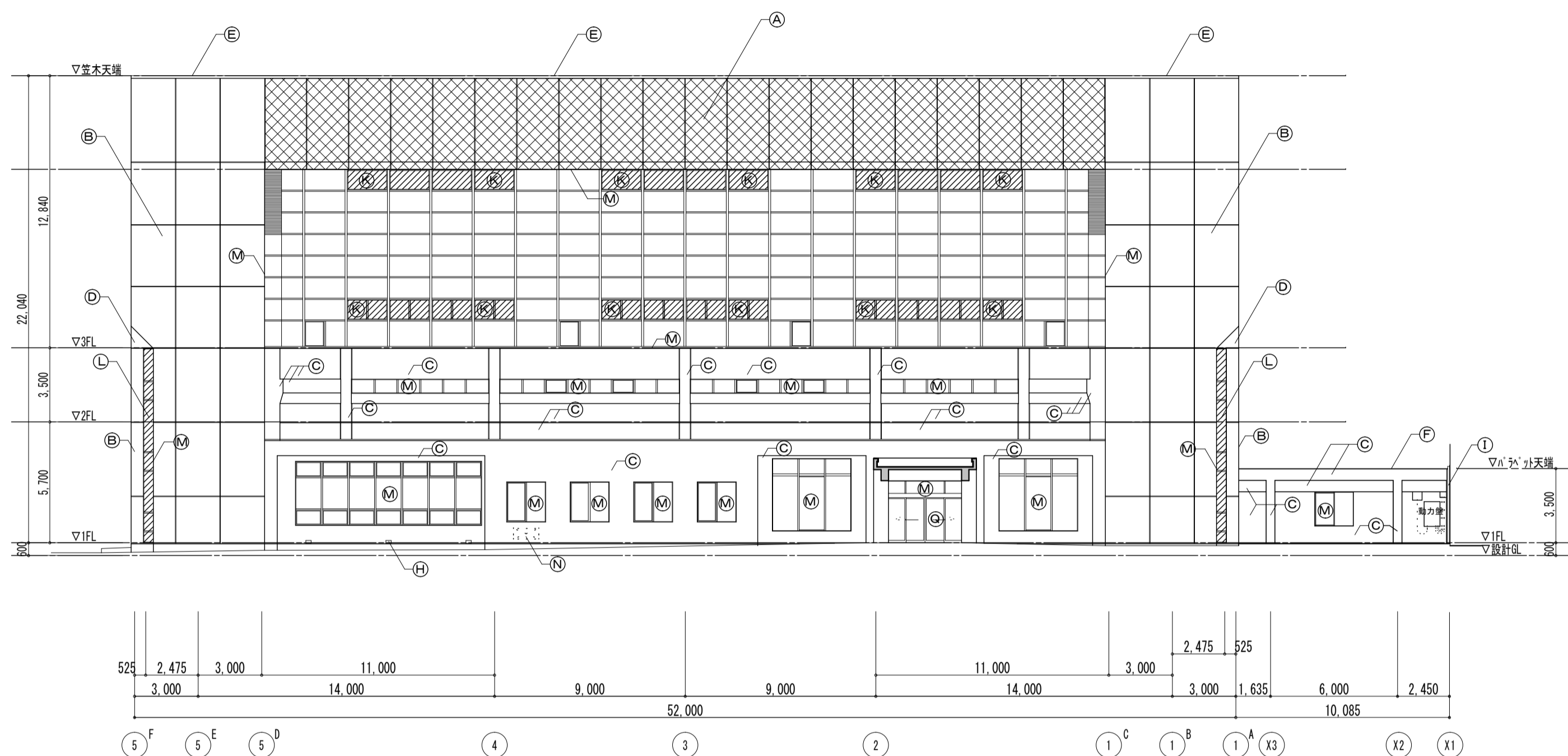
【改修前】南側立面図 1:200



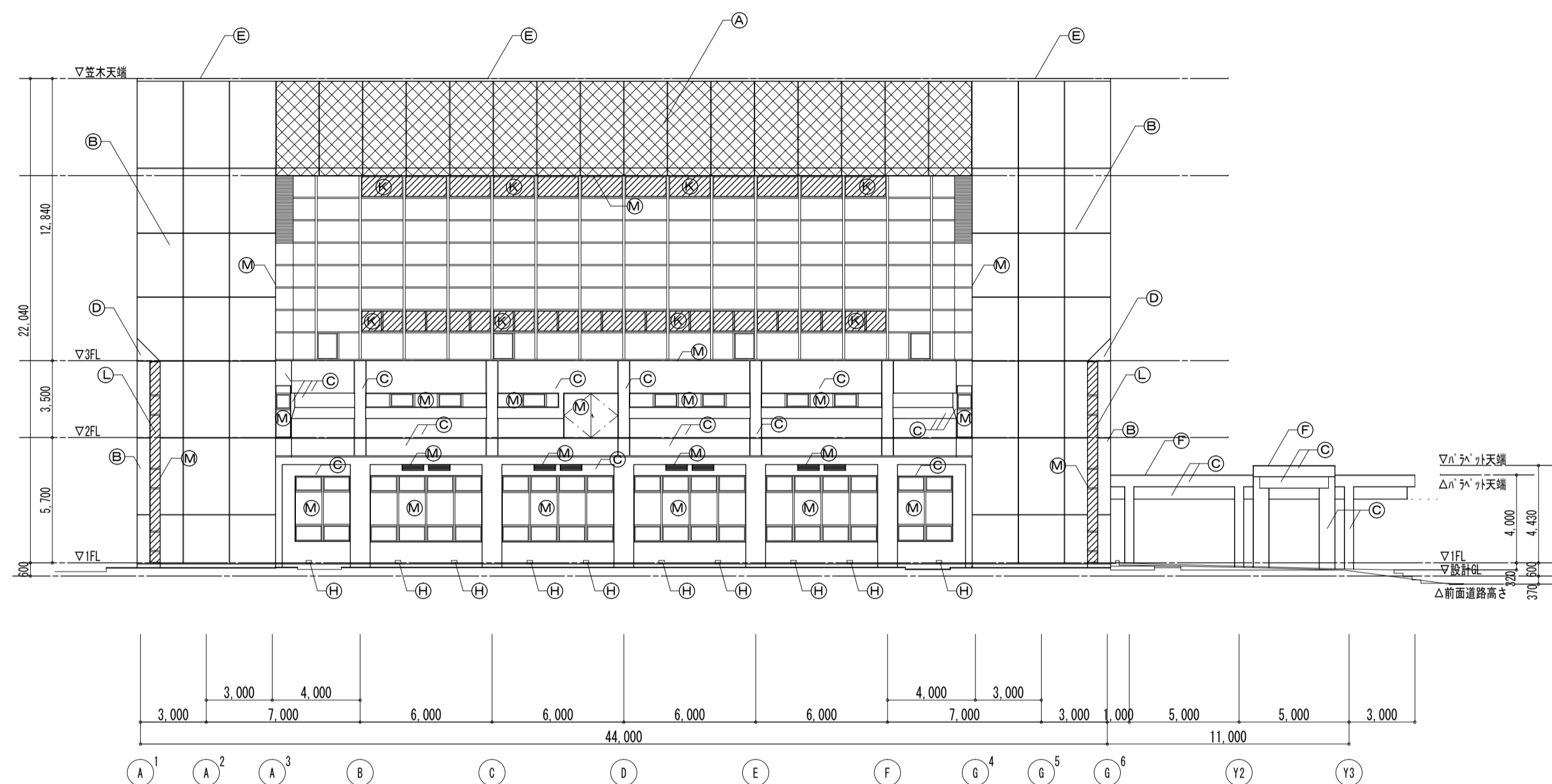
【改修前】西側立面図 1:200

備考	第一・護国共同企業体 (代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博	総括・一級建築士 第106046号 齊藤博	担当事務所長 基本(意匠)・構造・設備 齊藤博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前】立面図	縮尺 A1版 1:200 A3版 1:400	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図面番号 総19 総78 合計枚数 120枚

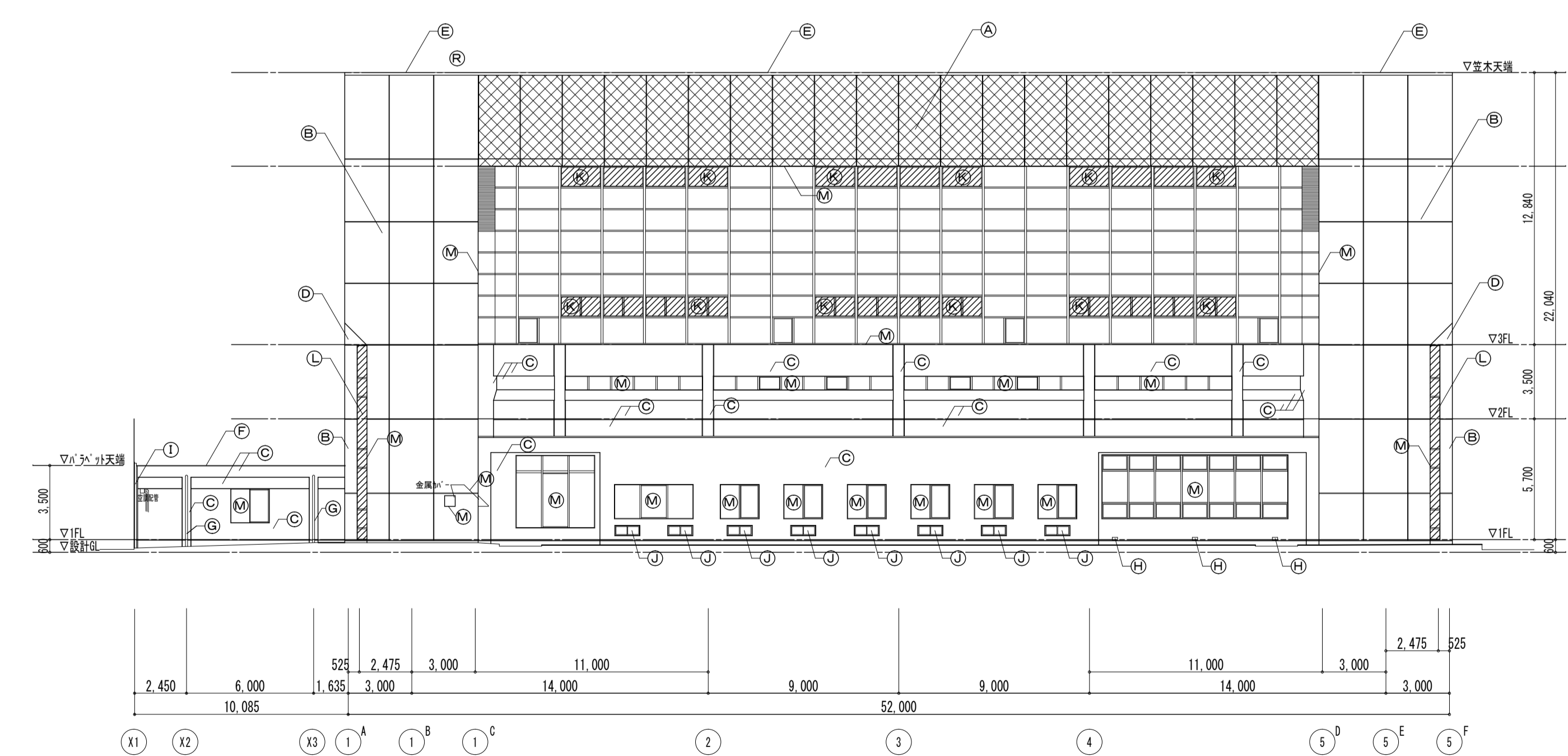
改修凡例					
Ⓐ	外壁	小口磁器タイル打込現況面：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)、タイル用洗浄剤による汚れ除去処理、タイル面保護塗料塗り(ε533α浸透性吸水防止材仕上2回塗) 行目地シリンク:MS-2 15×10程度【新設】	Ⓘ	外壁	7&S製EXPUbα-(外壁-外壁型、軒裏-軒裏型 9975α50用)、コーナ役物(7&S製)、シリンク:MS-2 15×10【新設】
Ⓑ	外壁	小口磁器タイル貼り現況面：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)、タイル用洗浄剤による汚れ除去処理、タイル面保護塗料塗り(ε533α浸透性吸水防止材仕上2回塗) 現況面浮き：タイル面7&Kαベタシリンク 行目地シリンク:PS-2 15×10程度、30目地シリンク:PS-2 20×10程度【新設】	Ⓛ	窓下開口部	7&Sタイル建具【新設】全面が5&Kαベタシリンク
Ⓒ	外壁、柱型、梁型	吹付タイル 現況面：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)、変化物補修(タイル等)、おむす(1.2kg)吹付 複層塗材RE(7&Kα系) 凹凸仕上 現況面30目地シリンク:PU-2 20×10程度、行目地シリンク:PU-2 15×10程度【新設】	Ⓜ	階段室	7&Sタイル建具(カバー)工法【新設】(斜線部) 全面が5&Kαベタシリンク
Ⓓ	外壁階段室窓上軒裏	樹脂タイル補修、複層塗材RE(7&Kα系) 凹凸仕上【新設】	Ⓝ	開口部	ドア、サッシ廻り等シリンク:MS-2 10×15程度【新設】 全面が5&Kαベタシリンク (換気フード、設備配管、通気口等含む)
Ⓔ	ハコノリ天端	笠木現況面：目地シリンク:MS-2 15×10【新設】	Ⓞ	窓下開口部	開口部廻りアクリル打設の上D10縦横シリンクφ200αクリ+Fc=24N/mm2塞ぎ(上縁間は無収縮タイル注入) 仕上げ複層塗材RE(7&Kα系) 凹凸仕上
Ⓛ	渡り廊下・77αノリ庇	笠木 仕上現況面：高圧水洗浄(水圧15Mpa程度)、全面樹脂タイル塗り下地処理 環境対応型タイル塗膜防水X-2工法(非歩行、標準トップ仕上)(10年保証) 端部止め7&SαシリンクφL=50×50×1.7αシリンクβ工法	Ⓟ	77αノリ庇	防風・防雪目隠し壁【新設】
Ⓜ	雨樋	行樋 SGP100A及び支持金物、SOP塗り【新設】	Ⓠ	開口部	タイル自動タイル5&Kα共【新設】 全面が5&Kαベタシリンク
Ⓝ	地覆	床下換気口 W450×H150現況のまま水切り防水タイル補修、側、上面は複層塗材RE(7&Kα系) 凹凸仕上【新設】	Ⓡ	付属物	屋上点検口廻り上屋【新設】



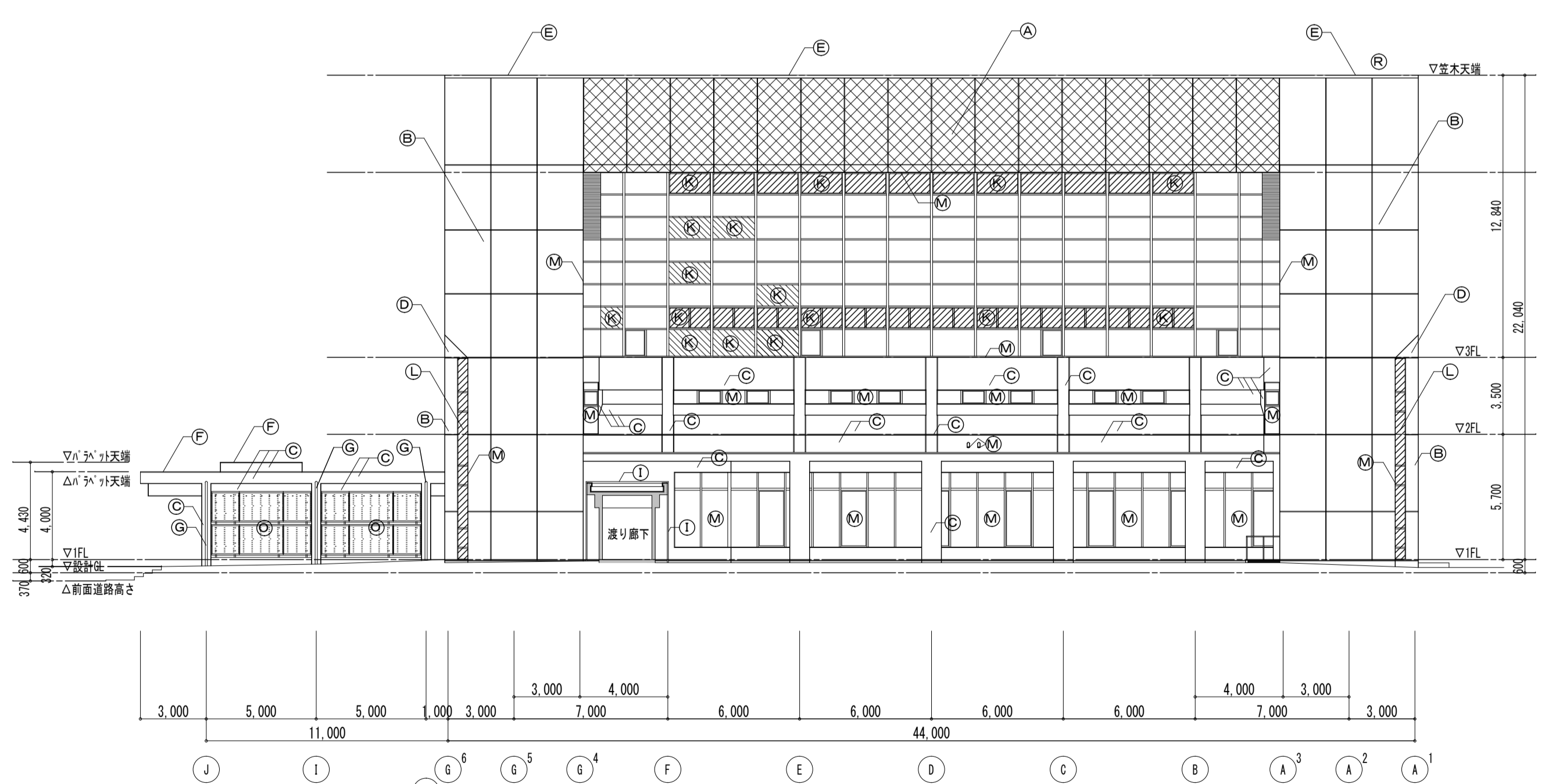
【改修後】北側立面図 1:200



【改修後】東側立面図 1:200

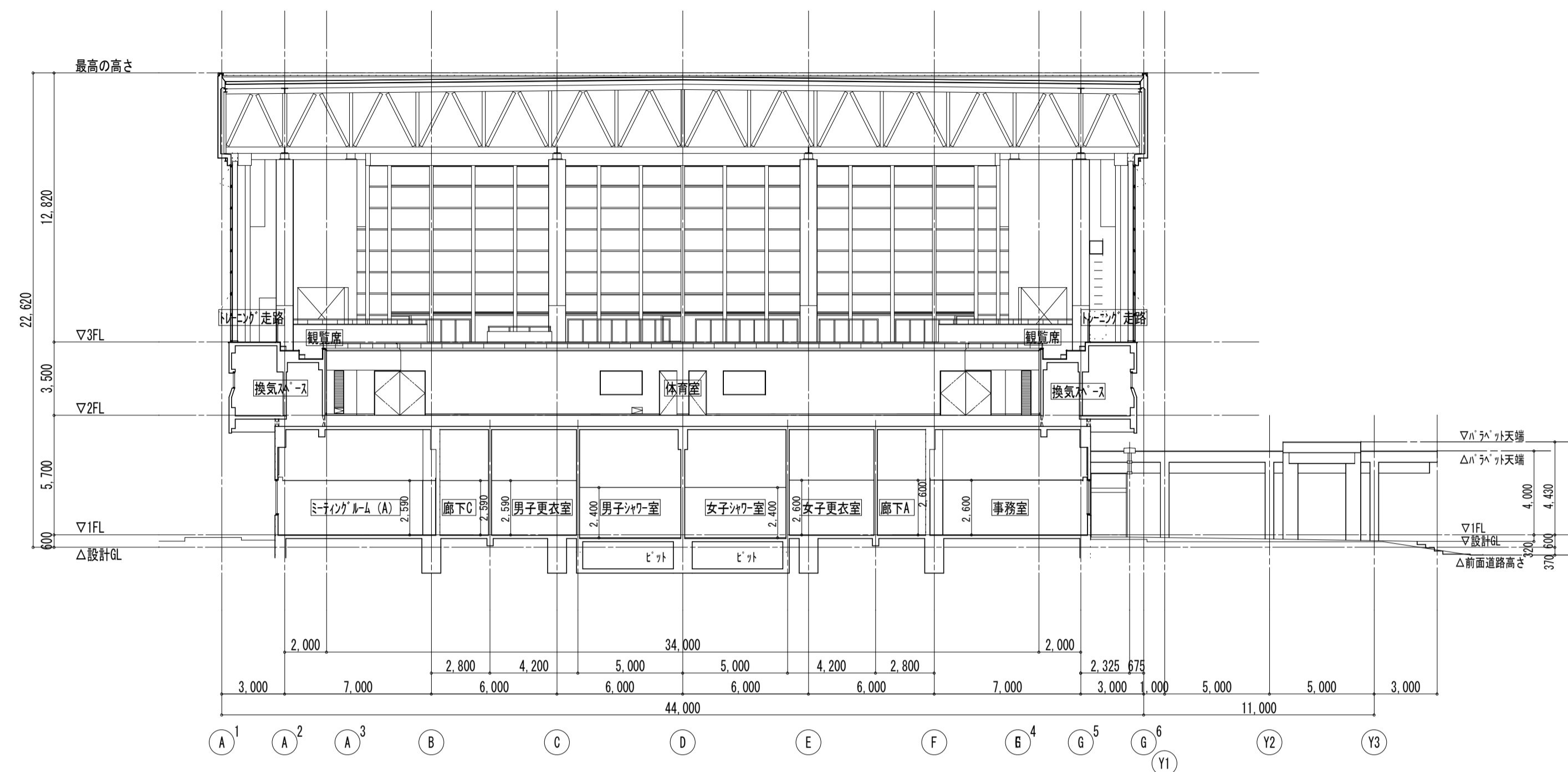


【改修後】南側立面図 1:200

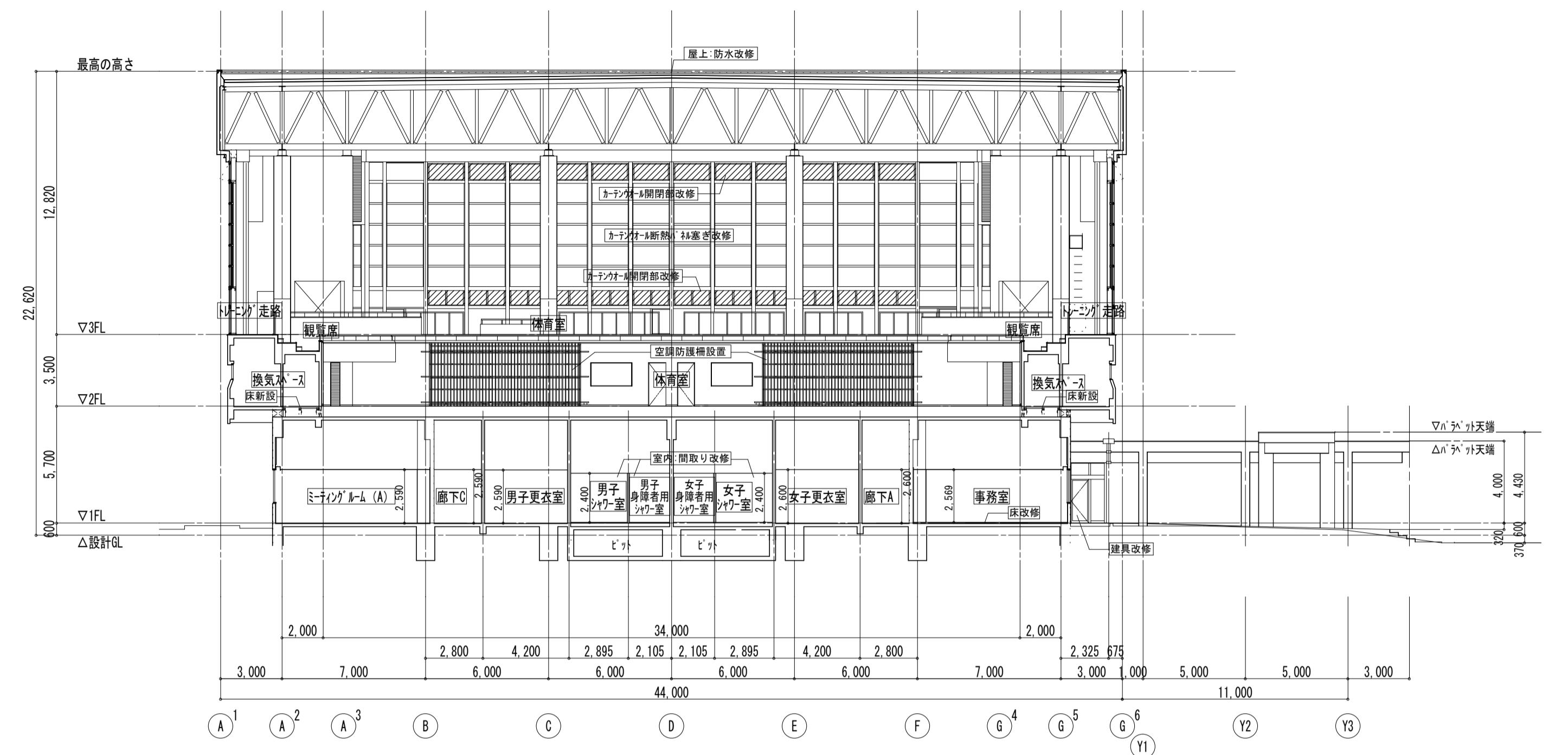


【改修後】西側立面図 1:200

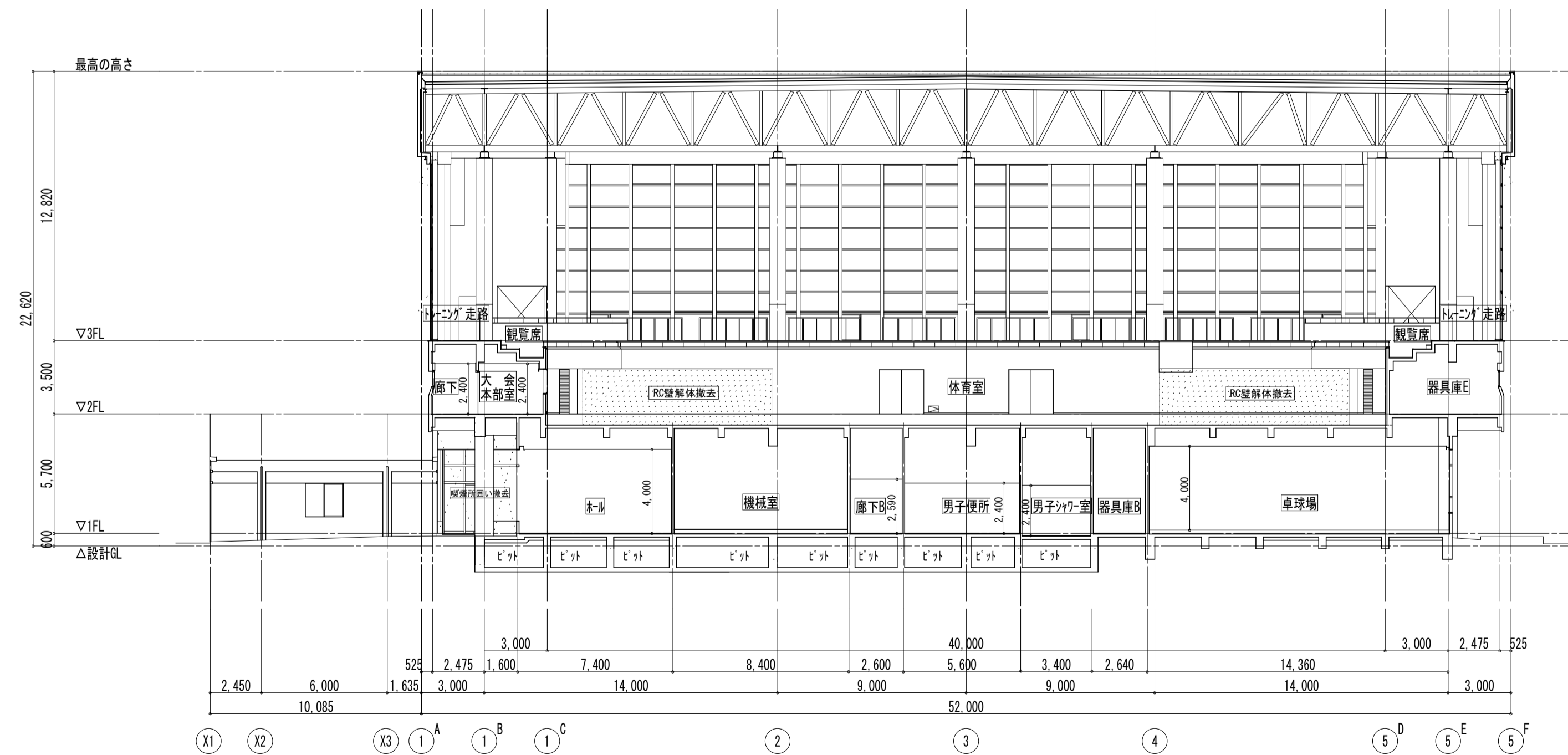
備考	第一・護國共同企業体 (代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤 博	総括・一級建築士 第106046号 第一設計総合事務所 齊藤 博	担当事務所長 基本・(監理)・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤 博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修後】立面図	縮尺 A1版 1:200 A3版 1:400	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図面番号 (建)・構・電・衛 総20 浄・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚



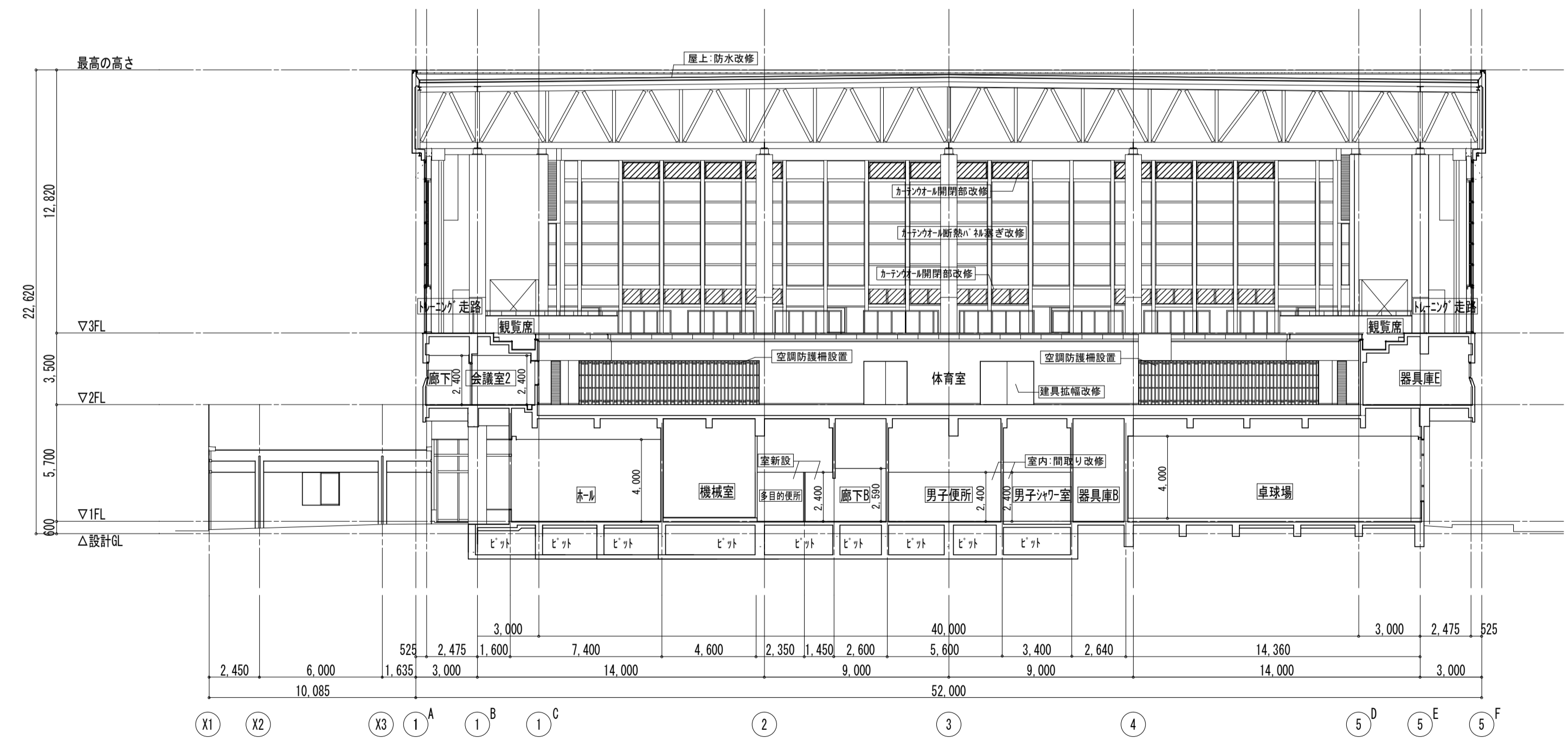
【改修前】北-南断面図 1/200



【改修後】北-南断面図 1/200



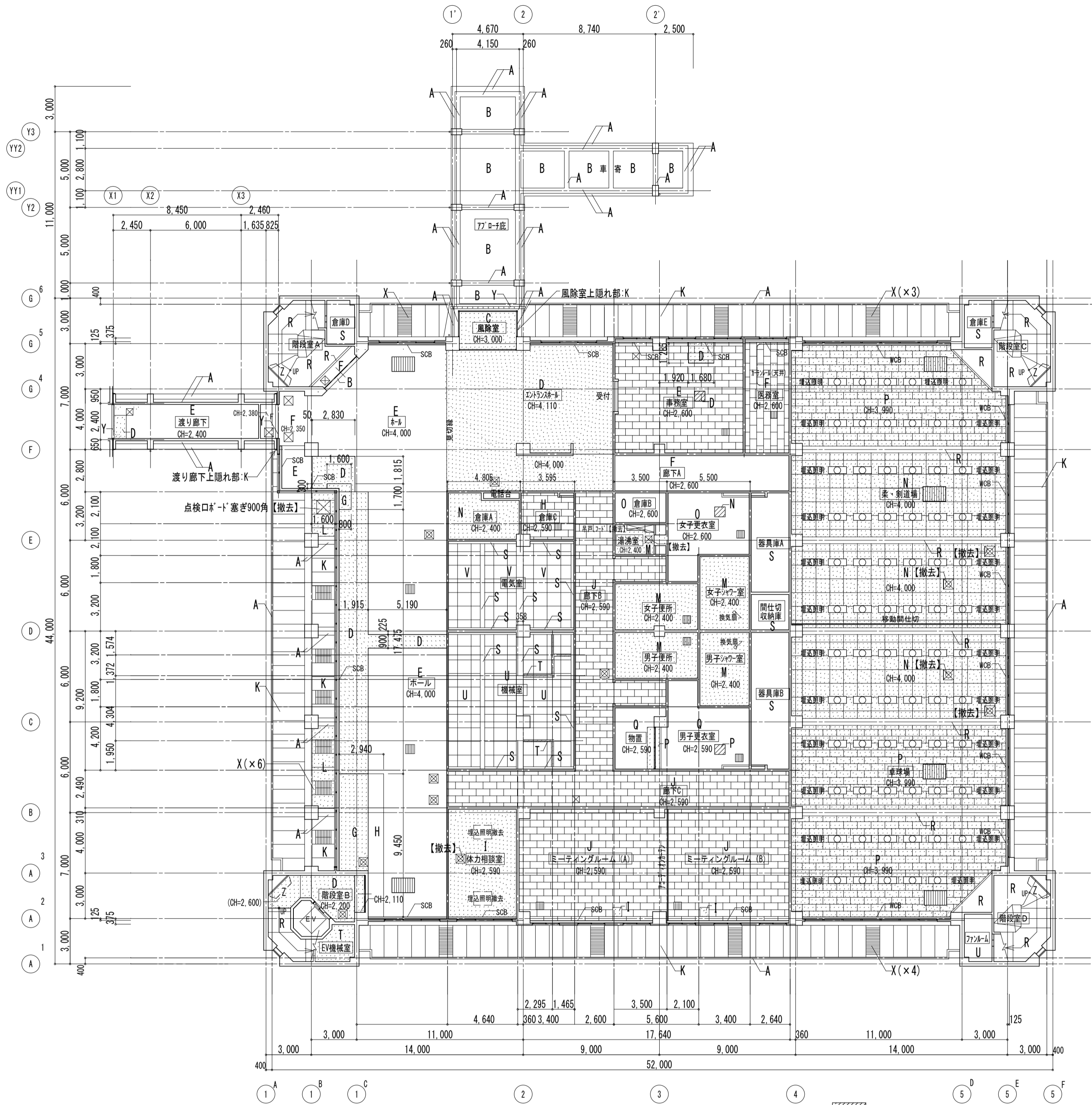
【改修前】東-西断面図 1/200



【改修後】東-西断面図 1/200

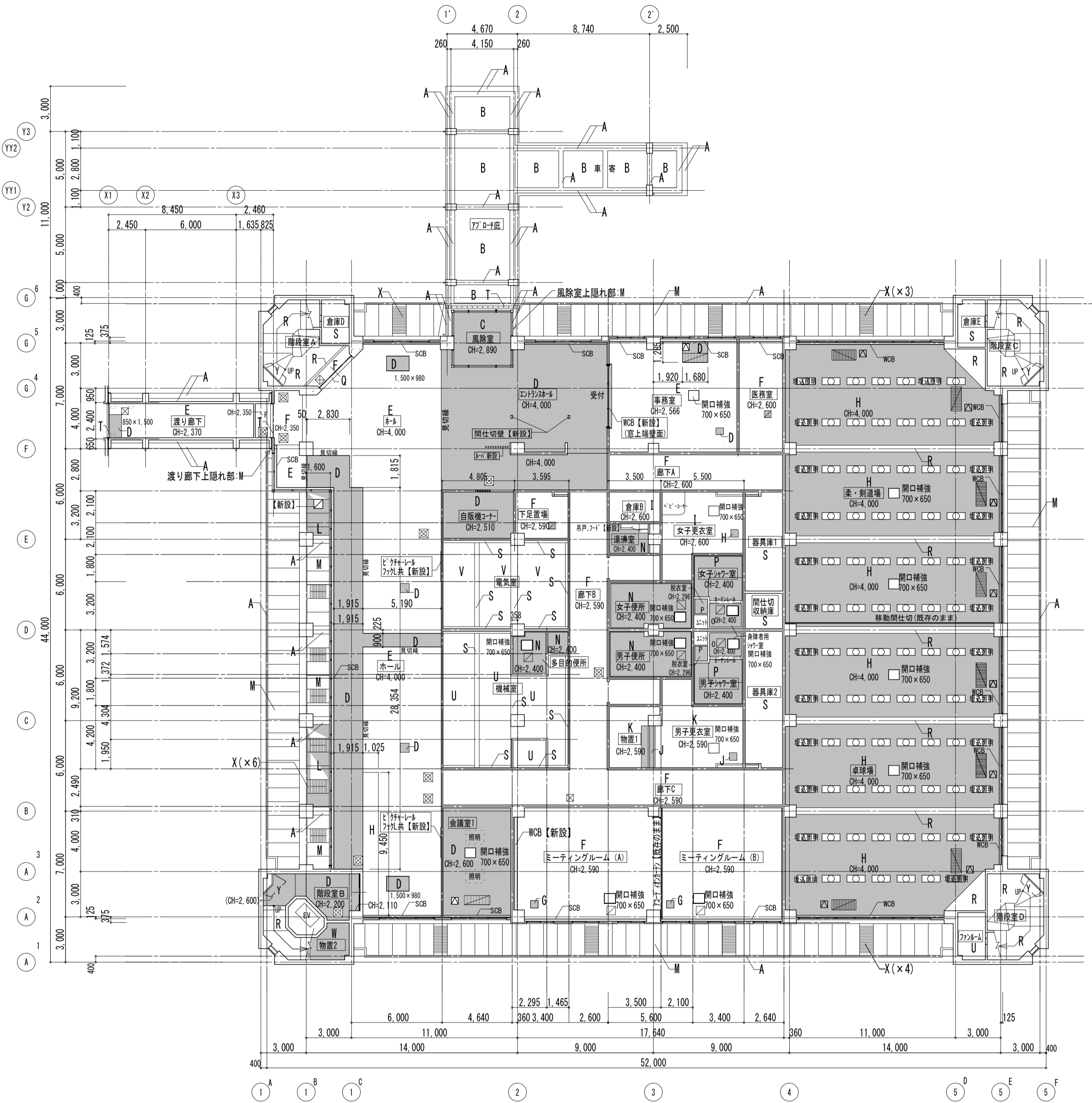
凡例  
 [ ] 改修内容(概略)  
 ただし、仕上げ改修についての記載は他図により省略する。

備考	第一・護国共同企業体 (代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博	総括・一級建築士 第106046号 齊藤博	担当事務所長 基本(意匠)・構造・設備 齊藤博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】断面図	縮尺 A1版 1/200 A3版 1/400	整理分類番号 令和3年2月	図面番号 ①・構・電・衛 総21 ②・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚



【改修前】1階天井伏図 S=1:200

撤去範囲を示す

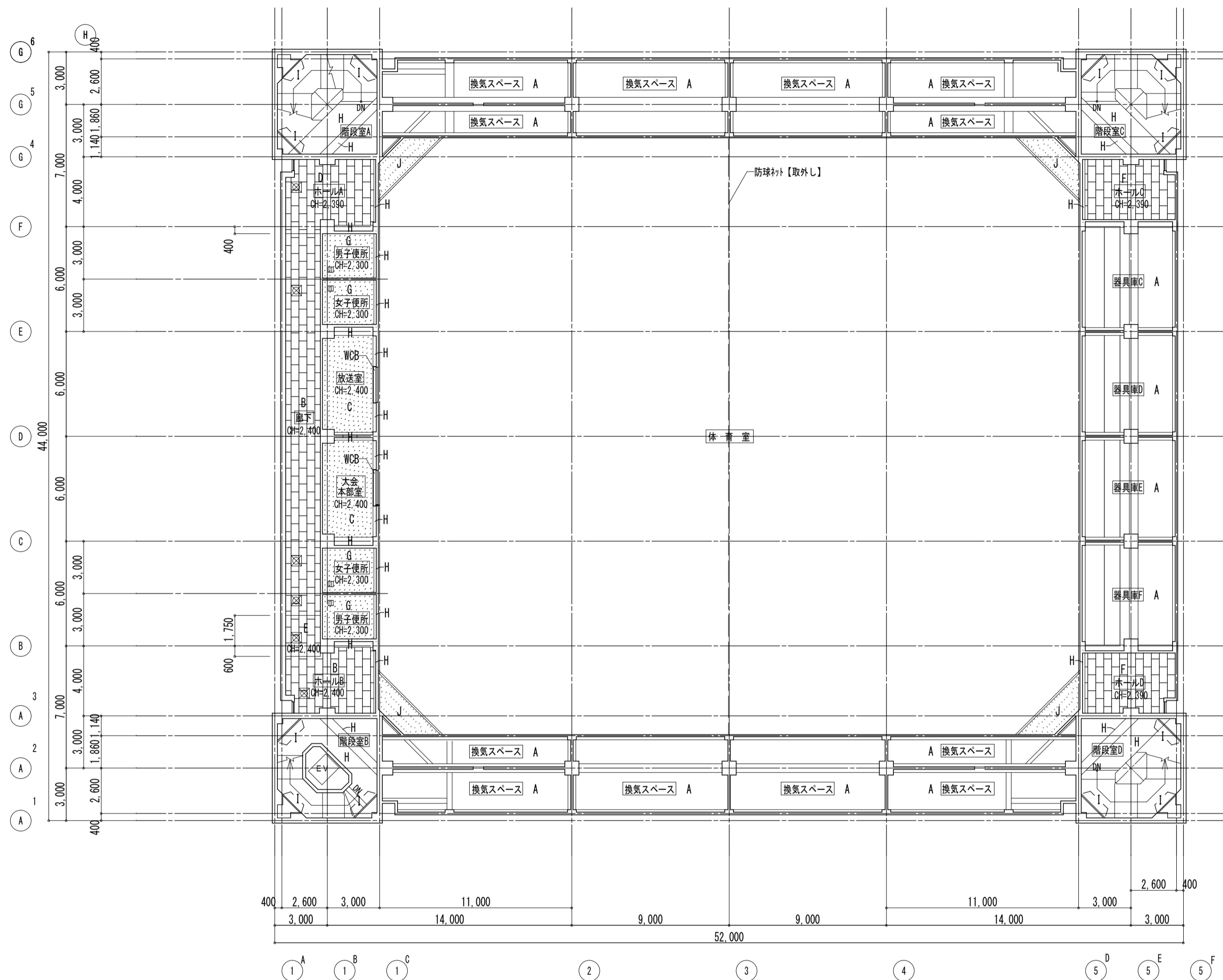


【改修後】1階天井伏図 S=1:200

天井新設範囲を示す  
※「ト」新付は既存照明位置設置があるため、記載省略。

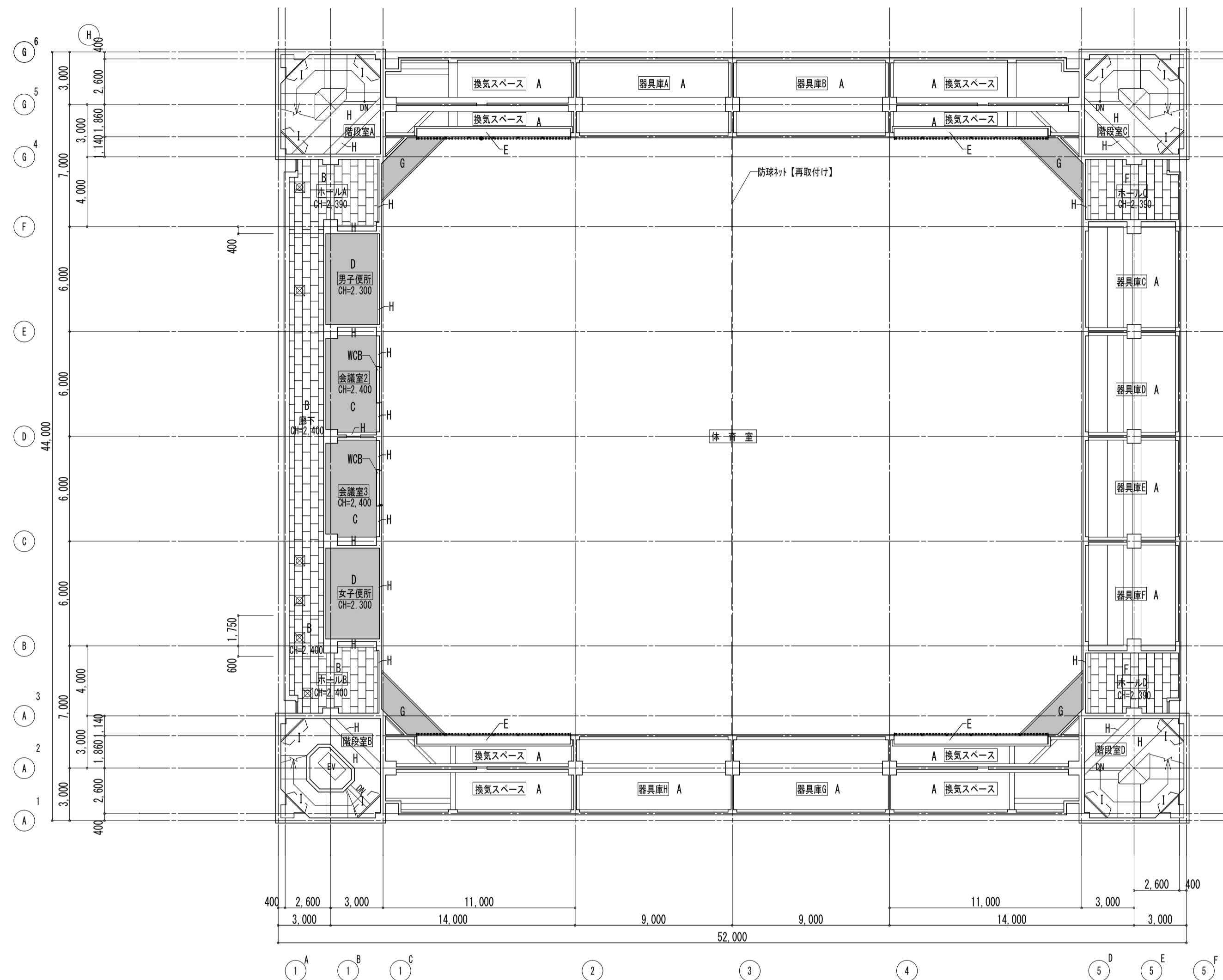
凡例		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z	
A	コックリ打放し 吹付け材 (2# 杉系)	P	GB-D張t=9.5 (加'-工法) 下地:GB-D張9.0 (H24年改修済) 【撤去】	Q	GB-D張t=9.5 (加'-工法) 下地:GB-D張9.0 (H24年改修済)	R	珪藻土 VP	S	コックリ打放し	T	GBt=20 【撤去】	U	GBt=20 【既存のまま】	V	コックリ打放し リン吹付	W	鉄骨 OP 【既存のまま】	X	S製が'リ 【取外し】	Y	EXPJh'-t=50用 【撤去】	Z	塩ビ製埋り縁 (堅種隠蔽部) 【撤去】
B	コックリ打放し 吹付け材 (7# 珪系)		※埋り縁-特記なき塩ビ製 天井全面撤去。壁面撤去部分撤去部は撤去 (壁面でない部分撤去の場合は既存のまま)		換気、空調機器位置 (※設備工事)		天井点検口450角		天井点検口600角														
C	岩綿吸音板張 (A)t=9 下地:GB-R張t=9 LGS共 【撤去】																						
D	岩綿吸音板張 (A)t=9 下地:GB-R張t=9 【撤去】																						
E	岩綿吸音板張 (A)t=9 下地:GB-R張t=9.0 【現状の上改修】																						
F	岩綿吸音板張 (A)t=9 下地:GB-R張t=9.0																						
G	化粧吸音板張t=9 下地:GB-R張t=9.5 (H24年改修済) 【撤去】																						
H	化粧吸音板張t=9 下地:GB-R張t=9.5 (H24年改修済)																						
I	化粧吸音板張t=9 (加'-工法) 下地:岩綿吸音板 (A)t=9+GB-R張t=9 (H24年改修済) 【撤去】																						
J	化粧吸音板張t=9 (加'-工法) 下地:岩綿吸音板 (A)t=9+GB-R張t=9 (H24年改修済)																						
K	NF (A)t=6 目隠し張り リン吹付																						
L	NF (A)t=6 目隠し張り リン吹付 【撤去】																						
M	NF (A)t=6 目隠し張り VP 下地:LGS共 【撤去】																						
N	GB-D張t=9 【撤去】又GB-D張t=9.5 (H24年改修済) 【撤去】 t=9は7#系あり																						
O	GB-D張t=9又GB-D張t=9.5 (H24年改修済)																						
		SCB	S製が'リ ヲカ OP																				
		WCB	W製が'リ ヲカ OP																				

凡例		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		
A	高圧水洗浄 (15MPa)、劣化部補修の上、珪藻土 (1.2kg/m <sup>2</sup> ) 吹付 補修材 (7# 珪系) 凸凹仕上げ、珪藻土 (1.2kg/m <sup>2</sup> ) PS-2 15×10程度 【新設】	P	0.8FK張t=6 目隠し張り 下地:LGS共 (野線間隔変更) 【新設】 EP 【新設】	Q	トアコート (水性) D-52回塗 下地処理珪藻土 (1.2kg/m <sup>2</sup> ) 吹付 【新設】	R	EP 珪藻土補修 下地処理RB種 【塗装改修】	S	コックリ打放し 【既存のまま】	T	EXPJh'-t=50用 【新設】	U	GBt=20 【既存のまま】	V	コックリ打放し リン吹付 【既存のまま】	W	EP 下地:珪藻土塗上の上 【塗装新設】	X	S製が'リ 【再取付】 SOP 【塗装改修】 ※詳細は建具表による	Y	塩ビ製埋り縁 (堅種隠蔽部) 【新設】	
B	高圧水洗浄 (15MPa)、劣化部補修の上、珪藻土 (1.2kg/m <sup>2</sup> ) 吹付 補修材 (7# 珪系) 凸凹仕上げ 【新設】																					
C	DR張t=9 下地:GB-R張t=9.5 下地:LGS共 【新設】																					
D	DR張t=9 下地:GB-R張t=9.5 【新設】																					
E	下地調整 RB種 【塗装改修】																					
F	岩綿吸音板張 (A)又は化粧吸音板張 【既存のまま】																					
G	DR張t=9下地:GB-R張t=9.5+9.5 【新設】																					
H	GB-D張t=9.5 【新設】																					
I	GB-D張t=9 【既存のまま】又GB-D張t=9.5 【既存のまま】																					
J	GB-D張t=9.5+GB-R張t=9.5 【新設】																					
K	GB-D張t=9.5 (加'-工法) 下地:GB-D張9.0 (H24年改修済) 【既存のまま】																					
L	繊維混入珪藻土t=6 目隠し張り 【新設】下地調整の上外装珪藻土 【新設】																					
M	現状の上下地処理:珪藻土調整材塗り、外装珪藻土t=6塗替え 【新設】																					
N	GB-D張t=9.5 下地:LGS共 【新設】																					
O	珪藻土浴室用天井材t=9 下地透湿・防水t=GB-S張t=9.5 LGS共 【新設】																					
		SCB	S製が'リ ヲカ SOP 【塗装改修】																			
		WCB	W製が'リ ヲカ SOP 【塗装改修】																			



【改修前】2階天井伏図 S=1:200 撤去範囲を示す

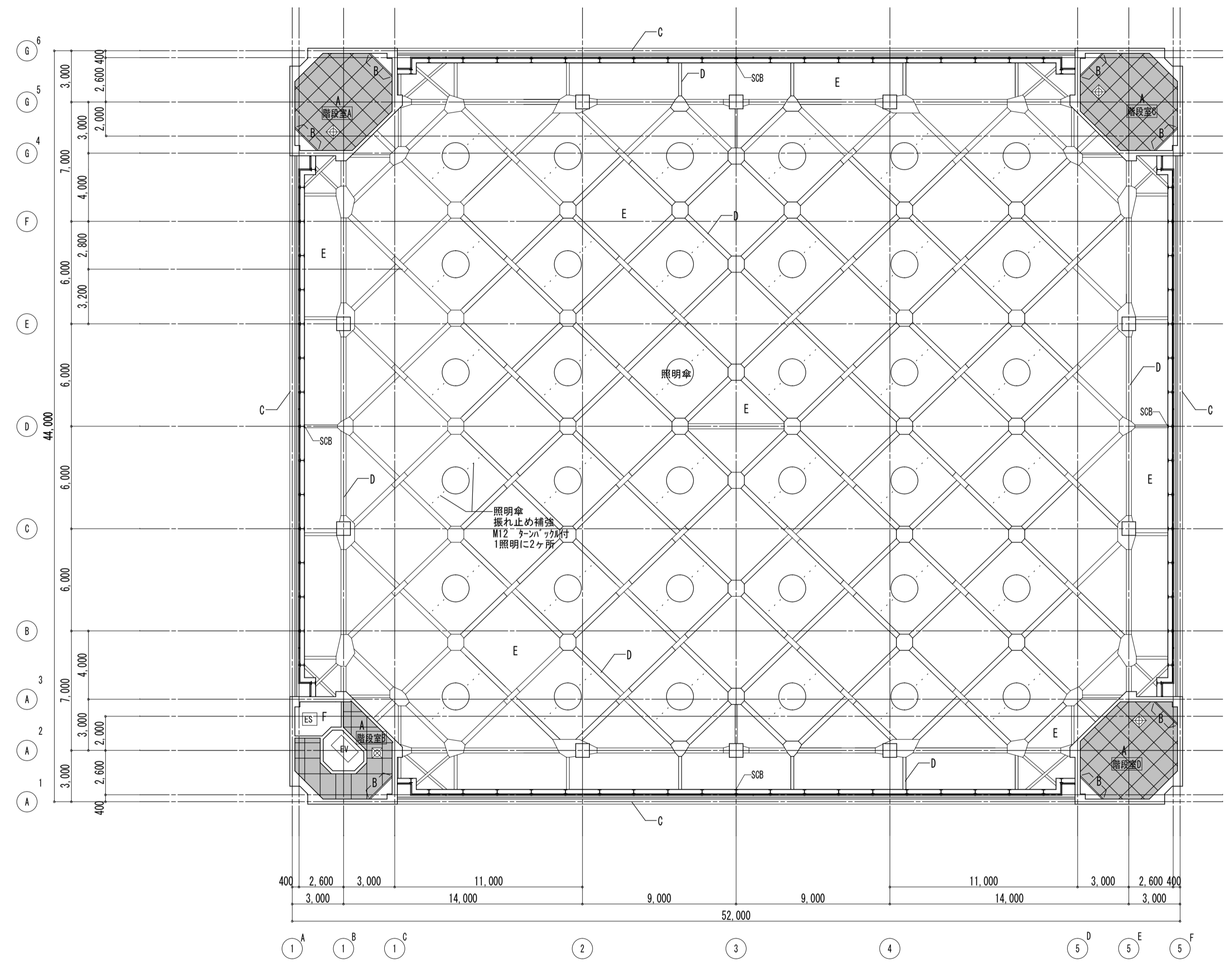
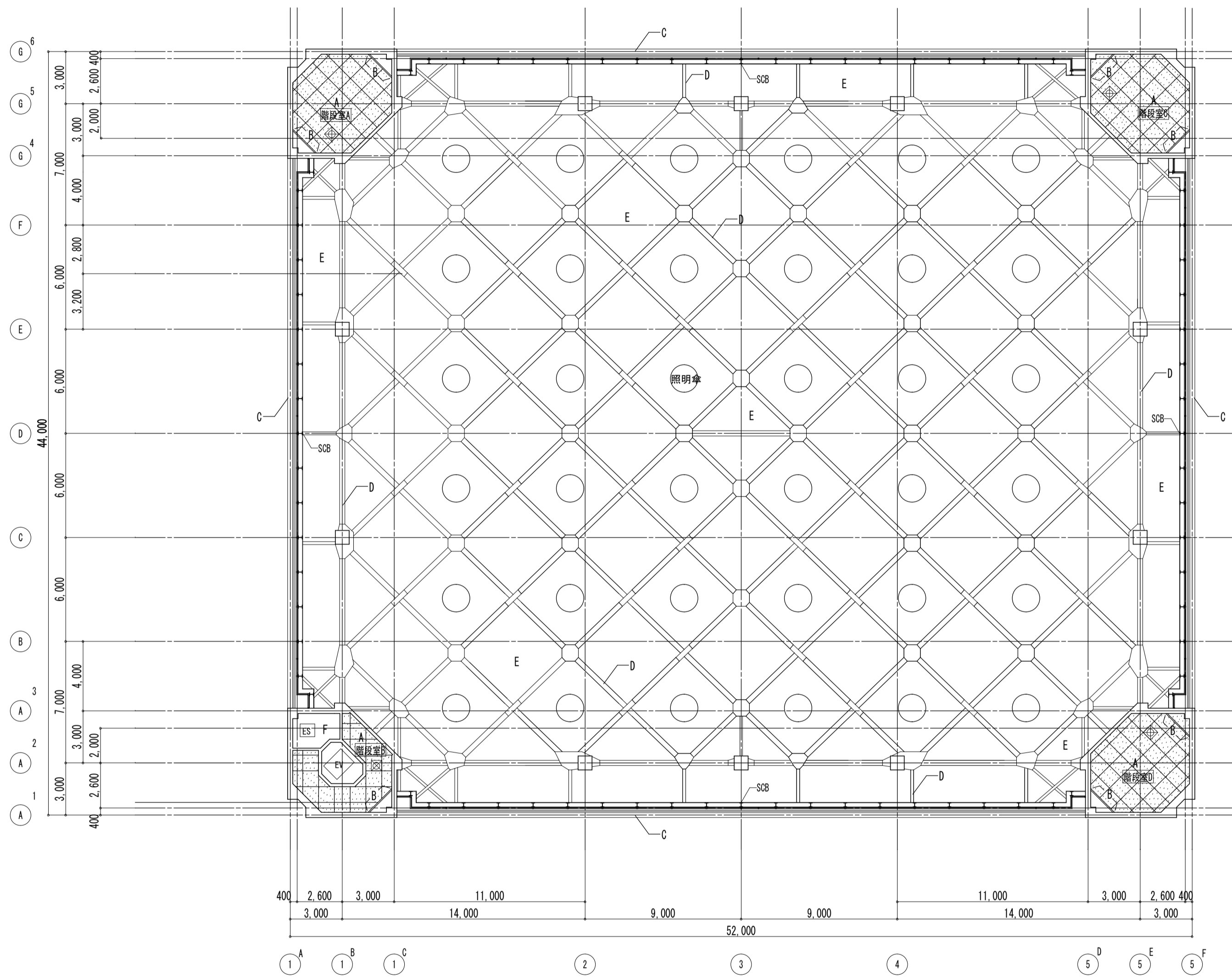
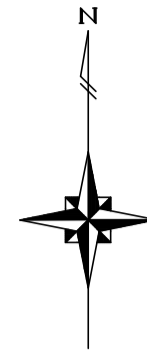
凡例	
A	コックリ打放し
B	岩綿吸音板張(A) t=9 下地:GB-R張t=9.0
C	岩綿吸音板張(A) t=9 下地:GB-R張t=9【撤去】
D	化粧吸音板張t=9 (加'-工法) 下地:岩綿吸音板t=9+GB-R張t=9 (H24年改修済)
E	化粧吸音板張t=9 下地:GB-R貼t=9.0 (H24年改修済)
F	GB-D張t=9.5 (加'-工法) 下地:GB-D張9.0 (H24年改修済)
G	NF(A) t=6 目隠し張り VP 下地LGS共【撤去】
H	モルタル塗 VP
I	塩ビ製廻り縁 (壁脚隠蔽部及びLGS壁高き部) 【撤去】
J	天然木化粧複合フローリングt=12【撤去】 木製見切り30×20程度【撤去】 木製廻り縁43×15【撤去】
WCB	W製3-7ホキカス OP
☒	天井点検口600角
■	換気、空調機器位置(※設備工事)
※廻り縁-特記なき塩ビ製 天井全面撤去、壁面接する部分撤去部は撤去 (壁面にない部分撤去の場合は既存のまま)	



【改修後】2階天井伏図 S=1:200 天井新設範囲を示す

凡例	
A	コックリ打放し【既存のまま】
B	岩綿吸音板張(A)又は化粧吸音板張【既存のまま】
C	DR張t=9 下地:GB-R張t=9.5【新設】
D	GB-D張t=9.5 下地:LGS19型【新設】
E	化粧0.8FK張 t=6+GB-R張t=12.5【新設】
F	GB-D張t=9.5 (加'-工法) 下地:GB-D張9.0 (H24年改修済) 【既存のまま】
G	天然木化粧複合フローリングt=12【新設】 木製見切り30×20程度【新設】 木製廻り縁43×15【新設】
H	EP 珪藻土塗補修 下地処理R種【塗装改修】
I	塩ビ製廻り縁 (壁脚隠蔽部及びLGS壁高き部) 【新設】
WCB	W製3-7ホキカス SOP【塗装改修】
☒	天井点検口600角【既存のまま】
■	換気、空調機器位置(※設備工事)
※廻り縁-特記なき塩ビ製 天井全面新設、壁面接する部分撤去部は新設 (壁面にない部分撤去の場合は既存のまま)	

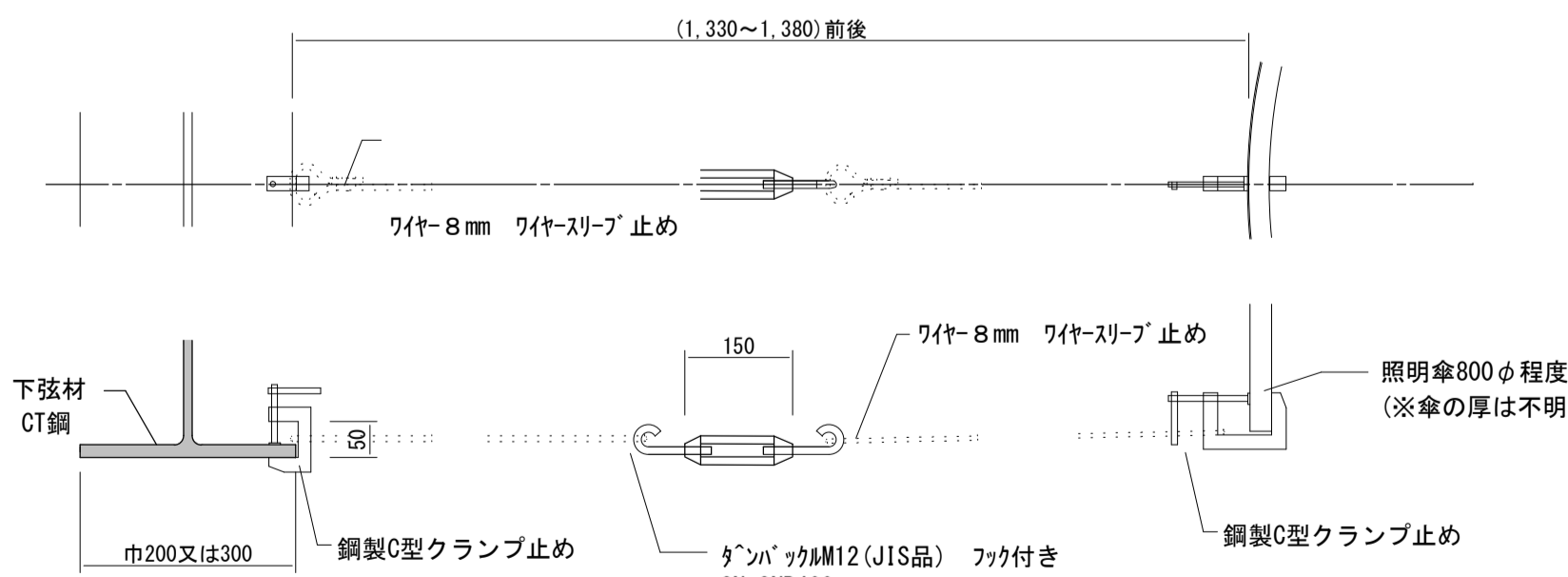




【改修前】3階天井伏図 S=1:200

撤去範囲を示す

凡例	
A	NF(A)t=6 VP【撤去】
B	塩ビ製遮り縁(縦横隠蔽部)【撤去】
C	PC板 小口磁器タイル打込
D	鉄骨現し OP
E	ALC板裏:GB貼t=20
F	コケット打放し
SCB	S製ナット OP
⊠	天井点検口600角



※C型クラブの耐力は下記ケーブルと同程度以上とする。  
 ナット:ナットM12(JIS品)保証荷重20.7KN<ワイヤー破断荷重31.5KN  
 ※下弦材と照明傘下端はほぼ同程度とみられるが、高さ調整ケーブルM12勾配にて行う。

ワイヤーナット止め補強 1/10

【改修後】3階天井伏図 S=1:200

天井新設範囲を示す

凡例	
A	DR強t=9 下地:GB-R強t=9.5【新設】
B	塩ビ製遮り縁(縦横隠蔽部)【新設】
C	PC板 小口磁器タイル打込部:高圧水洗浄(15MPa程度)、洗剤による水垢等汚れ除去処理、別面目地タイルPS-2 20×10程度【新設】
D	鉄骨現し OP【既存のまま】
E	ALC板裏:GB貼t=20【既存のまま】
F	コケット打放し【既存のまま】
SCB	S製ナット OP SUP【塗装改修】
⊠	天井点検口600角【既存のまま】

備考	
----	--

第一・護国共同企業体  
 (代表) (有)第一設計総合事務所  
 管理建築士一級建築士登録第106046号 齊藤博

総括・一級建築士  
 第106046号  
 (有)第一設計総合事務所  
 齊藤博

担当事務所長  
 基本(意匠)・構造・設備  
 (有)第一設計総合事務所  
 齊藤博

工事名称

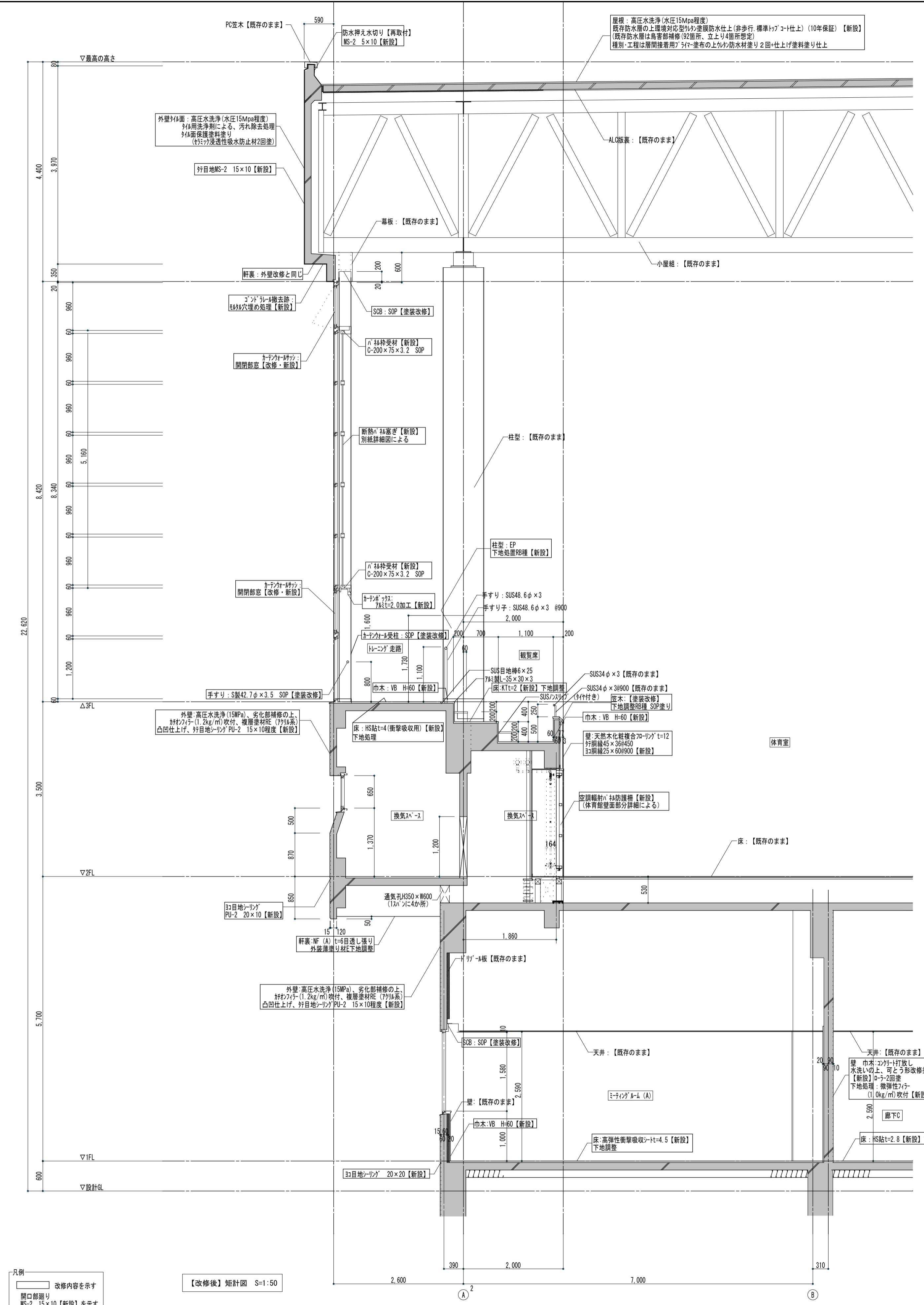
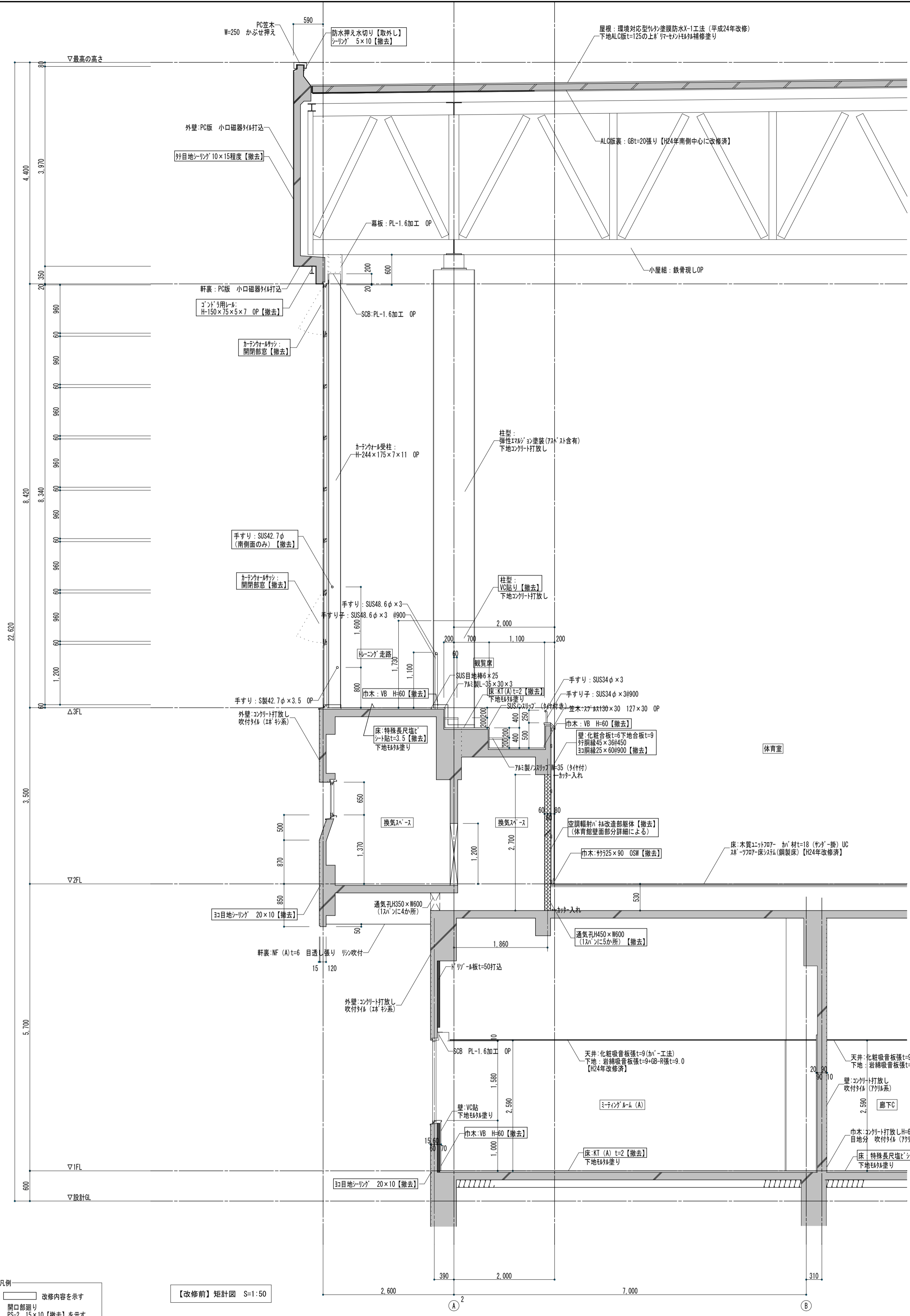
上越市総合体育館等大規模改修工事

図面名称

上越市総合体育館・渡り廊下  
 【改修前・後】3階天井伏図

縮尺	A1版	A3版
	1/200	1/400
年月日	令和3年2月	

整理分類番号	図面番号
	⑧・構・電・衛 総24 ⑧・厨・外・空 総78
合計枚数	120枚



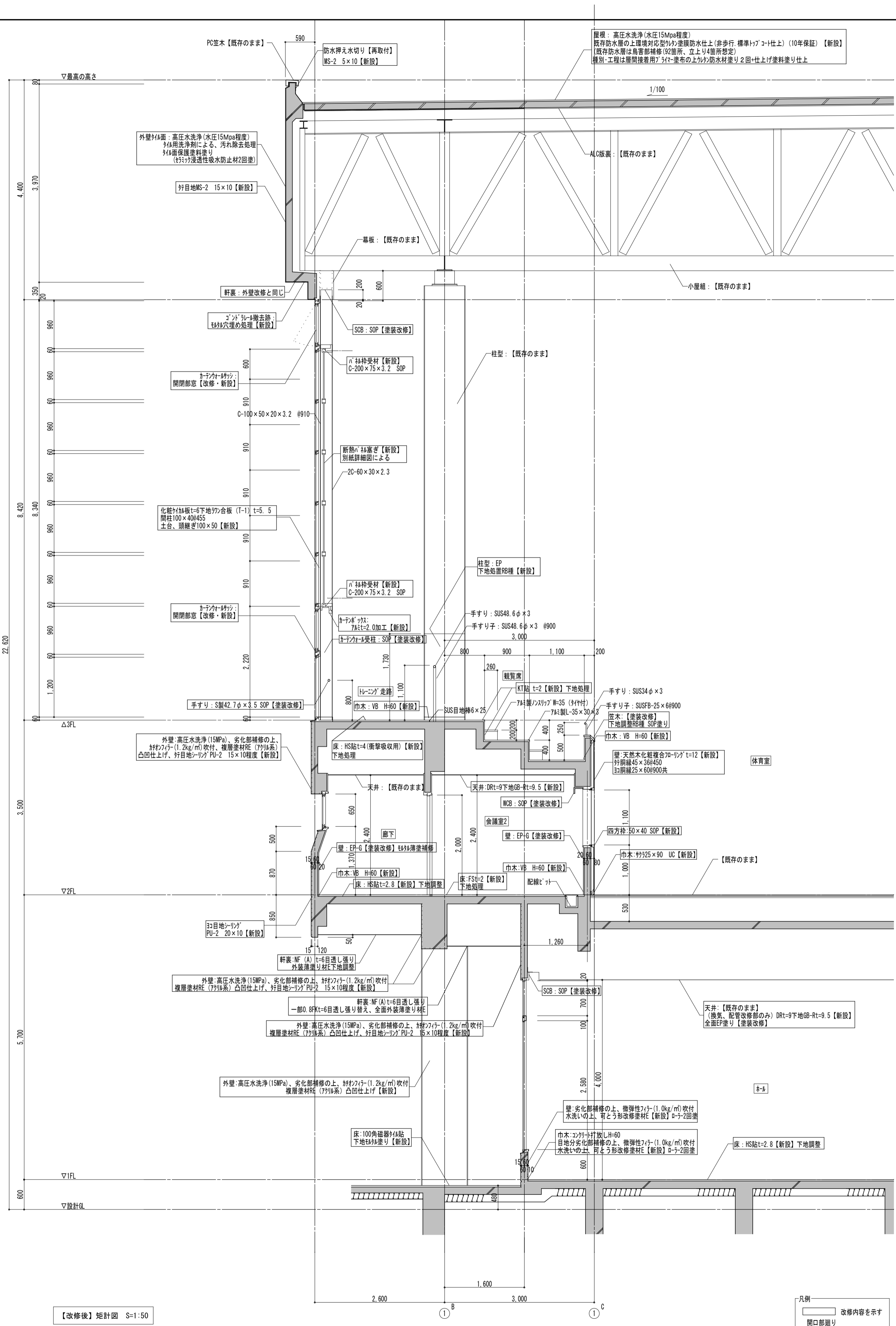
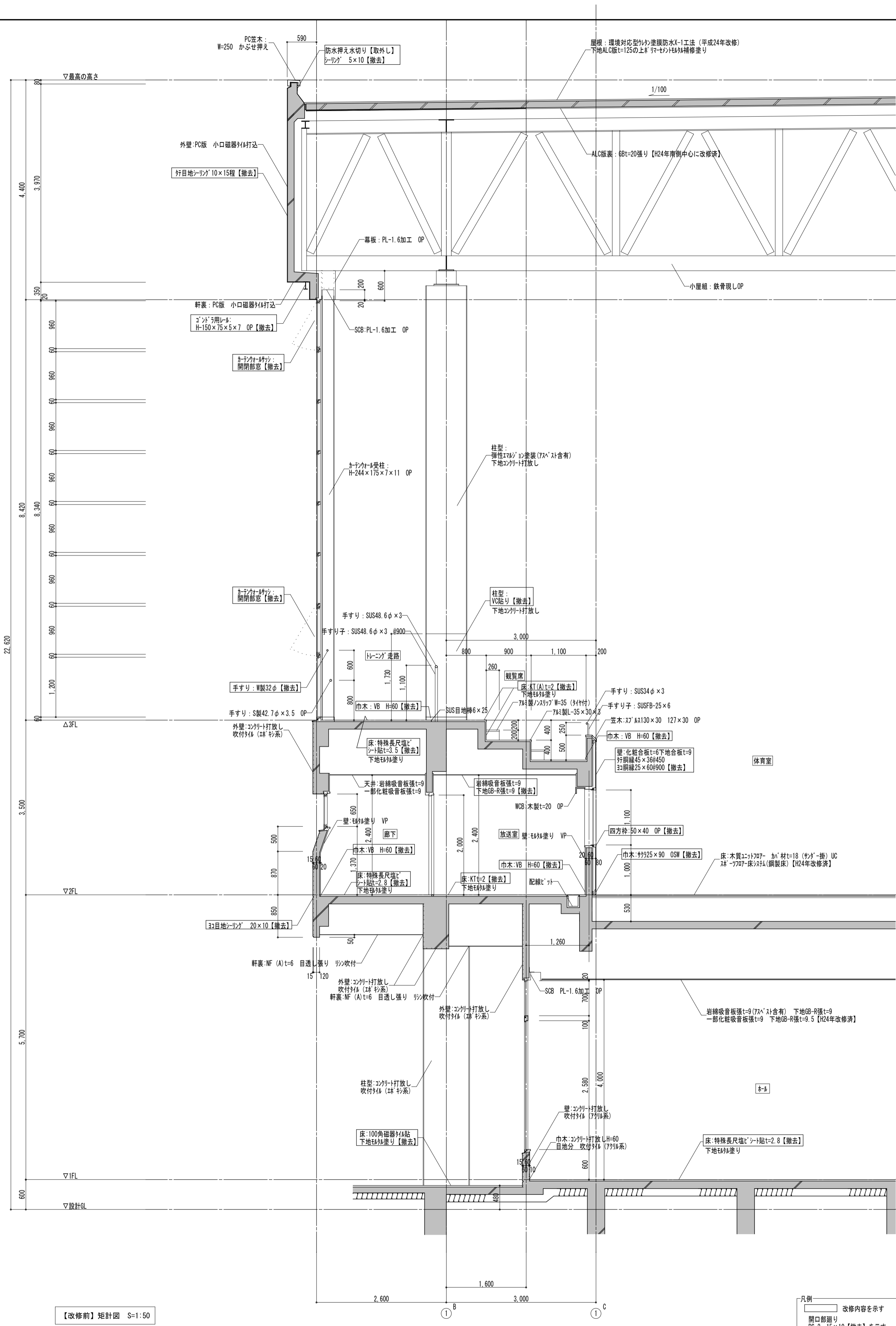
凡例  
 改修内容を示す  
 開口部埋り  
 FS-2 15×10【撤去】を示す  
 吹付厚縮りは集塵機付対応とする。

【改修前】矩計図 S=1:50

凡例  
 改修内容を示す  
 開口部埋り  
 NS-2 15×10【新設】を示す

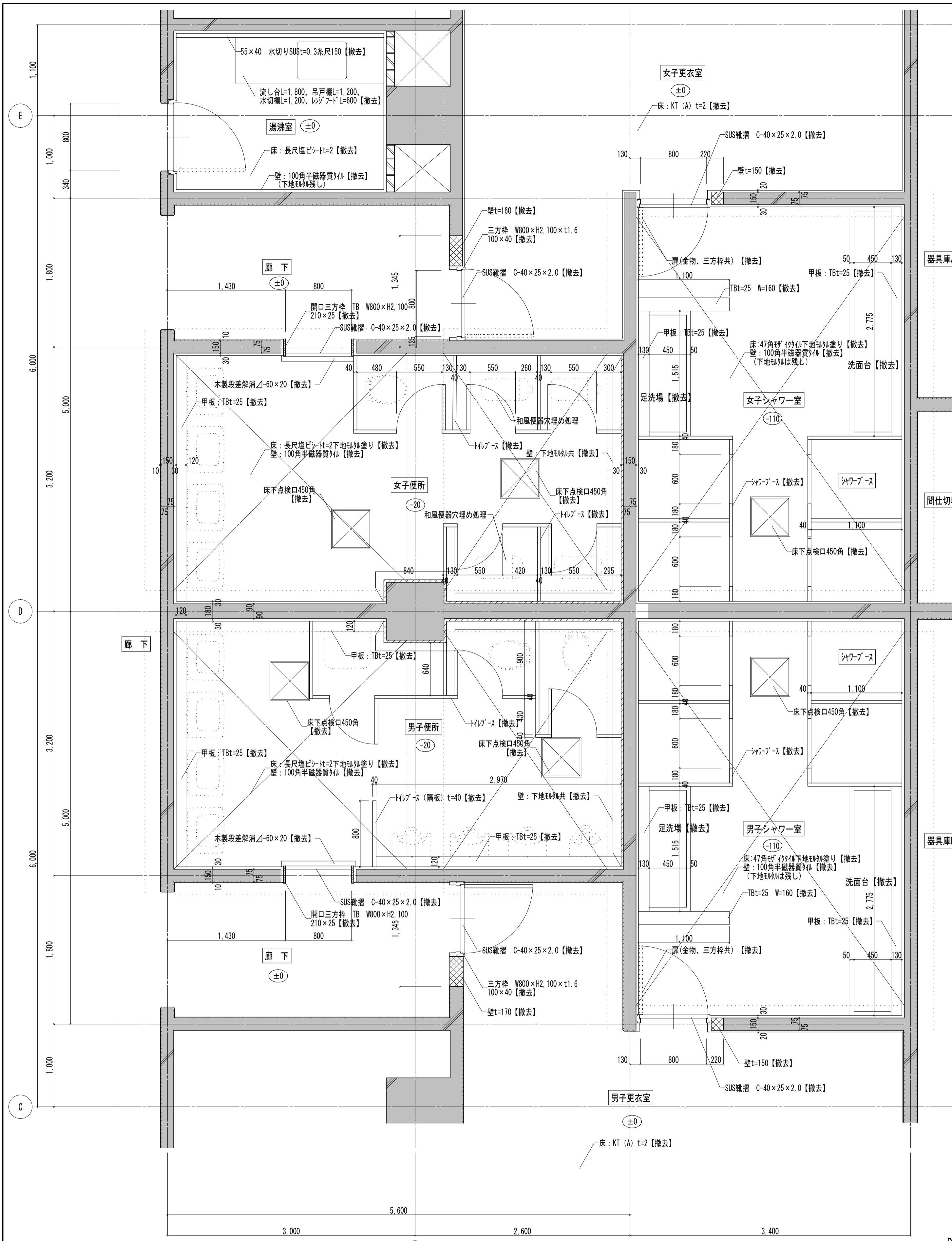
【改修後】矩計図 S=1:50

備考	第一・護国共同企業体 (代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤 博	総括・一級建築士 第106046号 第一設計総合事務所 齊藤 博 (印)	担当事務所長 基本・監理・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤 博 (印)	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】矩計図(1)	縮尺 A1版 1/50 A3版 1/100	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図面番号 建・構・電・衛 総25 浄・厨・外・空 総78 合計枚数 120枚



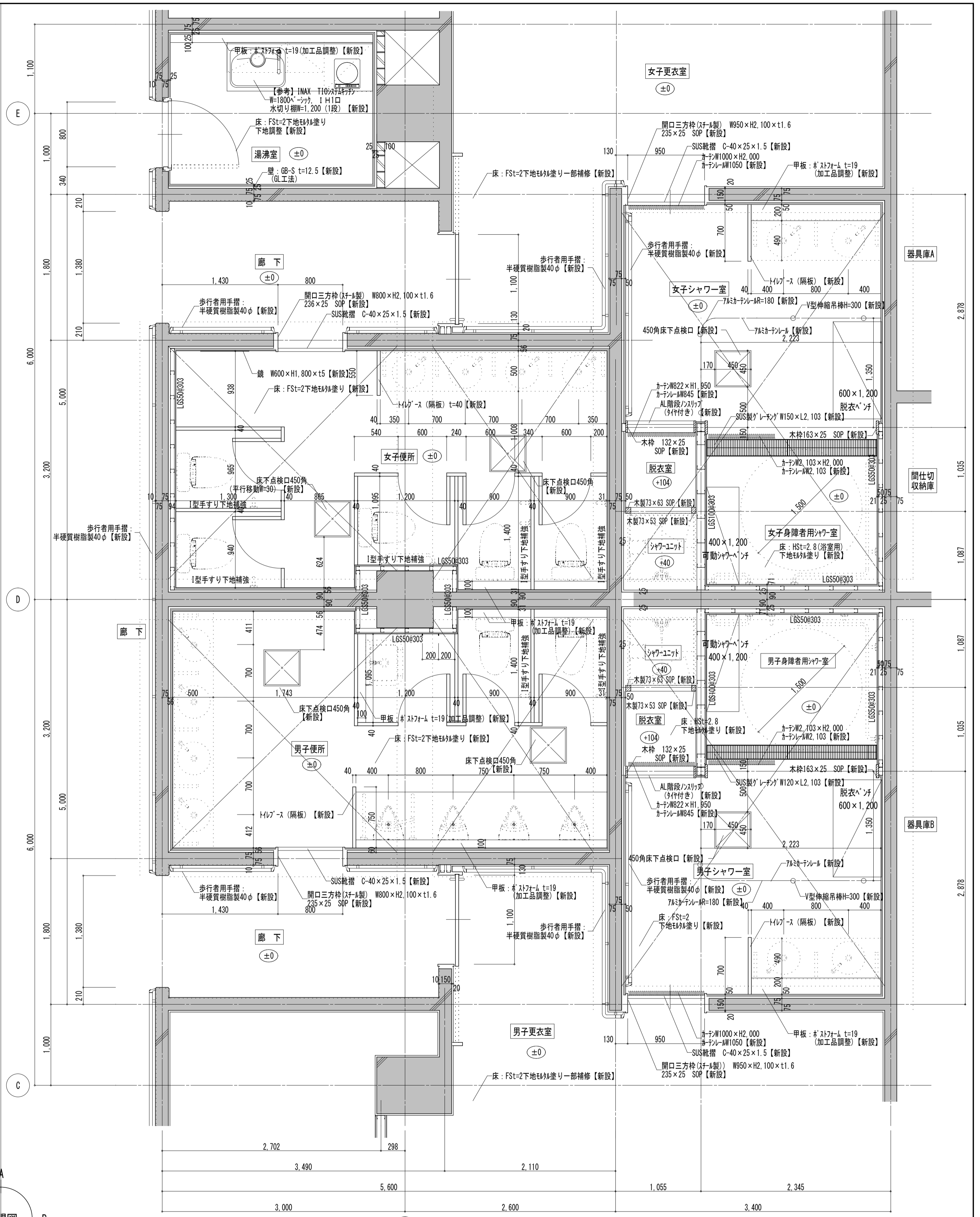
備考	第一・護国共同企業体 (代表) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博	総括・一級建築士 第106046号 第一設計総合事務所 齊藤博	担当事務所長 基本・企画・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】矩計図(2)	縮尺 A1版 1/50 A3版 1/100	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図番番号 ①・構・電・衛 総26 ②・厨・外・空 総78	合計枚数 120枚
	【改修前】矩計図 S=1:50	【改修後】矩計図 S=1:50	凡例 改修内容を示す 開口部取り PS-2 15×10【撤去】を示す 吹付材取りは裏層取付対応とする。	凡例 改修内容を示す 開口部取り PS-2 15×10【新設】を示す					





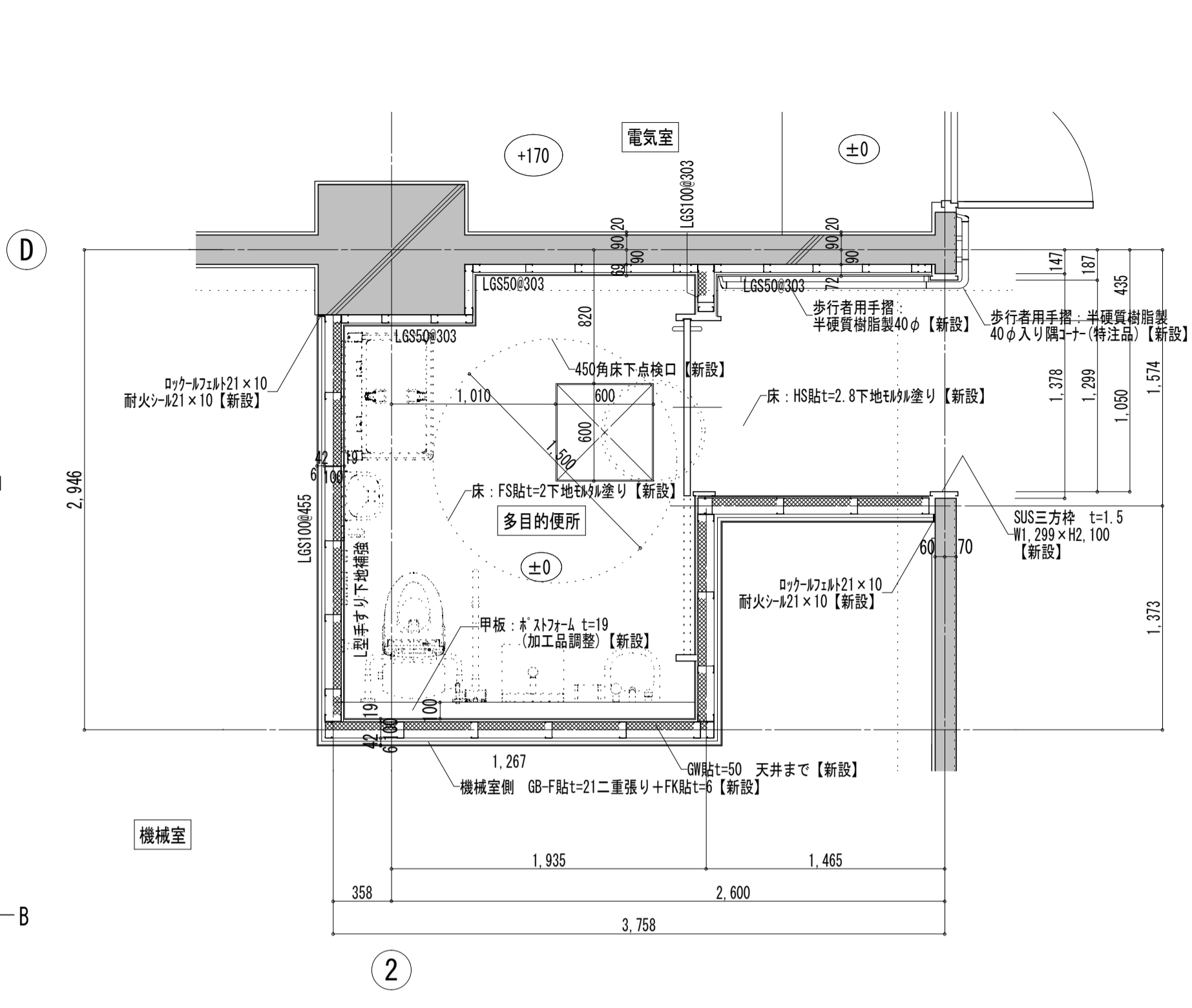
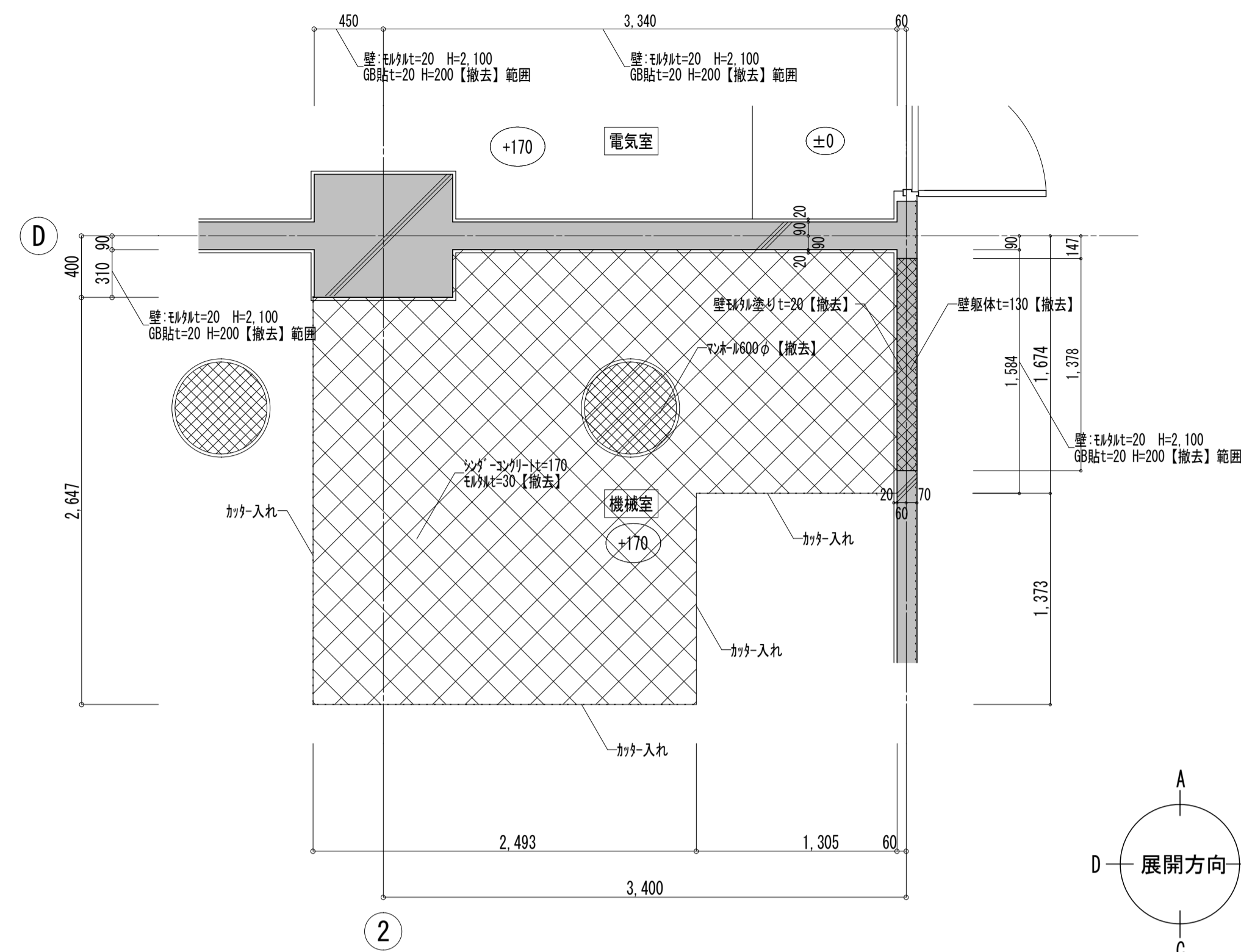
【改修前】1階便所廻り平面詳細図 S=1:30

※男子・女子便所 トイレ-ス【撤去】  
 ※男子・女子シャワー室 シャワー-ス【撤去】  
 ※はスラブ下ヒット部

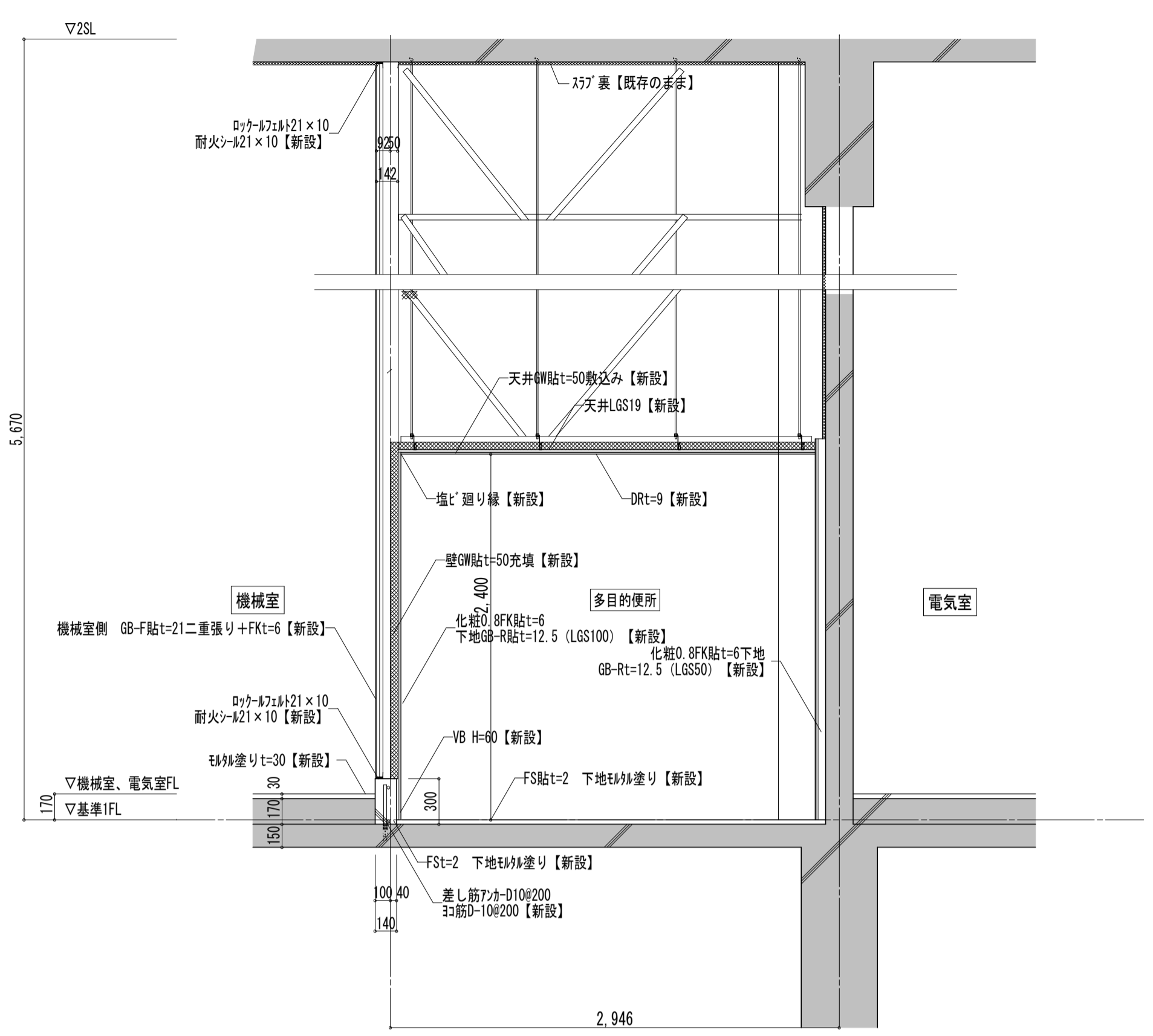


【改修後】1階便所廻り平面詳細図 S=1:30

備考	第一・護国共同企業体 (代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録第106046号 齊藤博	総括・一級建築士 第106046号 第一設計総合事務所 齊藤博	担当事務所長 基本・企画・構造・設備 第一設計総合事務所 齊藤博	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】1階便所廻り平面詳細図	縮尺 A1版 1/30 A3版 1/60	整理分類番号	図面番号 図・構・電・衛 総28 沖・厨・外・空 総78
	年月日 令和3年2月	合計枚数 120枚						



【改修前・後】多目的便所平面詳細図 S=1:30

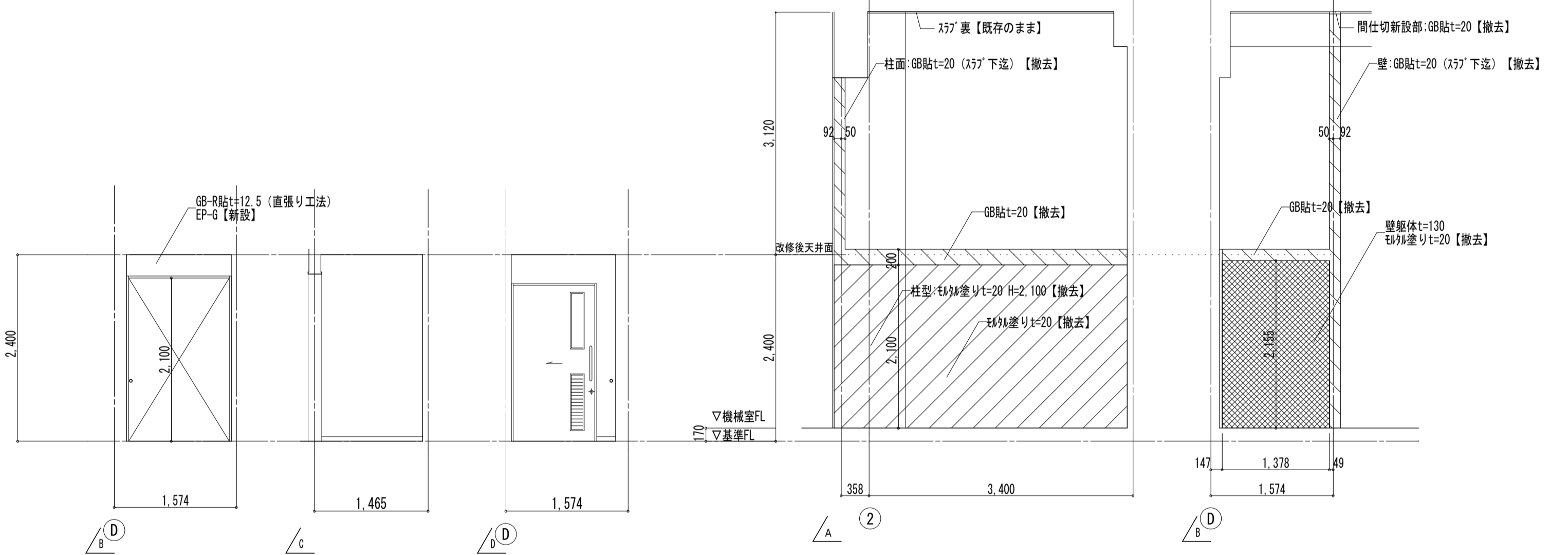


【改修後】多目的便所断面詳細図 S=1:30

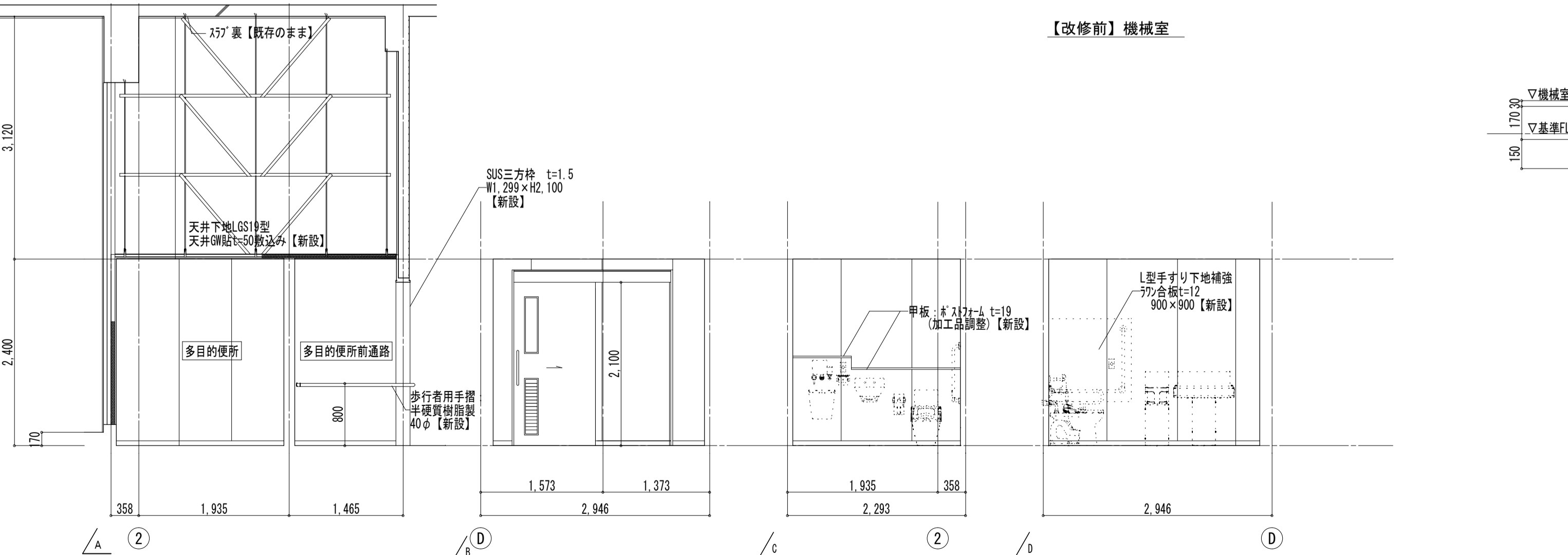
【改修前・後】展開図 S=1:50

多目的便所前通路	
床	FS貼t=2.8 下地珞外塗り【新設】
巾木	VB H=60【新設】
壁	GB-R貼t=12.5 EP-G (LGS100, 50) 一部GB-R貼t=12.5 (直張り工法) EP-G (巾木部含む)【新設】
天井	GB-D貼t=9.5 (天井下地LGS共) 天井断貼t=50敷込み【新設】
廻り縁	塩t'【新設】
備考	

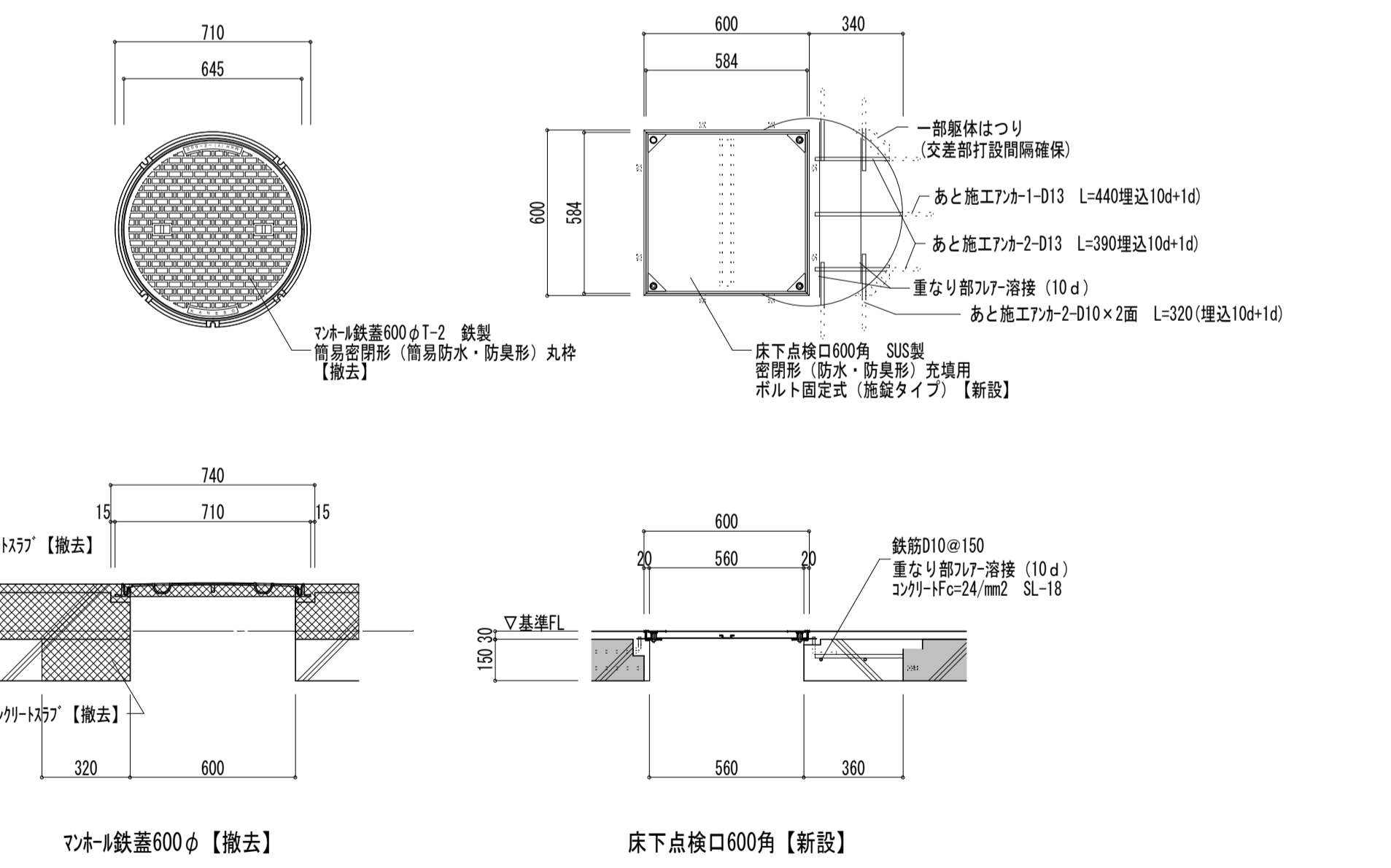
トイレ機械室間-1時間耐火間仕切壁：  
吉野耐火システムSカール(標準)程度 FPO60NP-0007



多目的便所	
床	FS貼t=2.0 下地珞外塗り【新設】
巾木	VB H=60【新設】
壁	化粧0.8FK貼t=6下地GB-R貼t=12.5 (LGS100, 50) 下地珞合板(タイプ1) t=12 (一部タイプ2部) LGS50【新設】
天井	GB-D貼t=9.5 (天井下地LGS共) 天井断貼t=50敷込み【新設】
廻り縁	塩t'【新設】
備考	甲板: 珞化粧珞タイプ-L t=19【新設】 L型手すり下地補強: 珞合板(タイプ1) t=12



【改修前】機械室



床下点検口【新設】詳細図 S=1:20